

Shiwasu no okina × JK × ProWrestling

SAKURA
MOOK 56

師走の翁

JKプロレス
イラストレーションズ
JK ProWrestling
Illustration

技 -GIGA- 画



コブラツイスト

相手の背後から絡み付き、腰や背中を締め上げる、通称アバラ折り。海外ではアブドミナル・ストレッチという呼称が一般的に用いられる。この技から必固めに以降するのがアントニオ猪木の必勝フルコースだった。コブラツイストの体勢のままグラウンドに倒れ込み、ピンフォールを狙うことも可能。

師走の翁 JKプロレス イラストレーションズ

Shiwasu no okina × JK × ProWrestling

技画-GIGA-

CONTENTS

■スープレックス系

- 04 フロントスープレックス
- 06 フィッシャーマンズスープレックス
- 08 ドラゴンスープレックス
- 10 バックドロップ
- 12 ブレーンバスター

■プロレスラーインタビュー

- 14 武藤敬司(W-1)

■コラム

- 18 百花繚乱!!読むプロレス

■ボム&ドライバー系

- 20 パワーボム
- 22 ツームストーンパイルドライバー
- 24 みちのくドライバーII
- 26 キン肉バスター
- 28 ダイヤモンドカッター
- 30 DDT

■漫画家インタビュー

- 32 みのもけんじ(プロレススターウォーズ)

■打撃系

- 36 ラリアット
- 38 スーパーマンパンチ
- 40 エルボードロップ
- 42 ドロップキック
- 44 スーパーキック
- 46 蒼魔刀
- 48 スピアー

■プロレスラーインタビュー

- 50 男色ディーノ(DDT)

■漫画家インタビュー

- 54 さかなこうじ
(俺のプロレスネタ、誰も食いつかないんだが。)

■サブミッション&丸め込み系

- 58 スリーパーホールド
- 60 サソリ固め
- 62 クロスヒールホールド
- 64 スモールパッケージホールド

■漫画家インタビュー

- 66 徳光康之(最狂超プロレスファン烈伝)

■飛び技系

- 70 フランケンシュタイナー
- 72 ダイビングボディアタック
- 74 ムーンサルトプレス

■プロレスラーインタビュー

- 76 清水愛(フリー)

■クリエイターインタビュー

- 80 PCブラウザゲーム『リングドリーム』
原作者でいしろう&松田プロデューサー

■その他

- 84 ヒップブッシュ
- 86 急所攻撃
- 88 リップロック
- 90 六次元殺法
- 92 3D

■コラム

- 94 リアルJC・JK世代の女子プロレスラーたち

■バックステージインタビュー

- 95 師走の翁

DON'T TRY THIS AT HOME

本書はフィクションであり、実在する人物・団体とは一切関係ありません。また本書に登場する女子高生たちは特別なトレーニングを積んでおります。決して真似をしないで下さい。

Round. 1

Suplex

スープレックス系

相手に組み付いて投げるスープレックス。ブリッジを効かせて3カウントフォールを狙うもよし、
脳天から叩き付けてKO勝ちを狙うもよし。スープレックスはプロレスの華だ!



フロントスープレックス

**Front
Suplex**

稲田 陸



フィッシャーマンズスープレックス

**Fisherman's
Suplex**

水無月 藍



ドラゴンズスープレックス

**Dragon
Suplex**

立浪 里香子



バックドロップ

**Back
Drop**

鉄川 美友



ブ레인バスター

**Brain
buster**

国生 綺羅々



ダメージポイント Damage Point

背中・腰

代表的な使い手 A Typical Wrestler

リック・スタイナー



強引に引っっこ抜いて放り投げるパワータイプと、柔軟性を活かしてブリッジをきかせるテクニシャンタイプに二分される。

プロレスでも多用される
アマレス式の反り投げ

FRONT SUPLEX

フロントスूपレックス
アマレス出身レスラーの代名詞
ベリー・トゥ・ベリー

様々な格闘技の技術を取り入れ
進化し続けるプロレスの投げ技

「プロレスが「プロフェッショナル・レスリング」の略称であることは言うまでもないが、そのスタイルは「アマチュア・レスリング」とは多岐に異なる。ここで言う「プロ・アマ」とは技術的な優劣ではなく、興行を行なう観客に試合を見せるビジネスとして成り立っているかの差異による。

だが、もちろんアマレス出身のプロレスラーは古くから多数存在する。古くは日本プロレスでデビューしたサンダー・杉山やマサ斎藤、さらにはジャンボ鶴田、長州力、谷津嘉章、馳浩、本田多聞など枚挙に暇がない。彼らの多くがスूपレックス（反り投げ）を得意とするが、その代表的な技として挙げられるのが、フロントスूपレックスだ。その名の通り、正面からヘアハッグの要領で相手の胸に組み付き、後方に反り投げる。海外ではベリー・トゥ・ベリーとも呼ばれるが、ベリーとは腹のことだ。

非常に高度な技術と柔軟性が要求される技だが、意外にもフィニッシュホールドとして用いる選手は決して多くない。あえて使い手を選ぶとすれば、90年代に日米を股にかけて活躍したスタイナーブラザーズ、とりわけ兄のリック・スタイナーのフロントスूपレックスだろう。強引に組み付き、力づくで引っっこ抜くように投げてしまうリックだが、さらにはコーナーポスト上の相手に仕掛ける雪崩式フロントスूपレックスも披露。仕掛けられた馳浩がまるで人形のように軽々とマットに放り投げられた様には会場中が背筋を凍らせた。

アマレスとは全く異なる技術系にあるプロレスではあるが、そのテクニクは着実に取り入れられ、リング上で用いられている。

師走の翁

Comment



最初に参考にしたのはゲリー・オブライトやリック・スタイナーの速いスープレックスなんですが、これはフワッと投げるカート・アングルのフロントスープレックスですね。

とりあえず強引に掴まえたらブン投げちゃうだけっしょ?

稲田 陸 × 吉田 透流

透流「陸ちゃんって見た目、完璧ギャルじゃん?」

陸「そうかな?」

透流「そうだよ! その割に結構ちゃんと部活も行ってるし、バイトもしてるし、クラスメイトの面倒見も良いし、なんつーかマジメだよな」

陸「あー、ウチさあ、妹が超テキトーなやつでさ。アタシの真似してレスリング始め

てみたと思ったら自分だけ強くなっちゃうし、そうかと思ったら高校デビューで派手なカッコにしてみたり、それも面倒くさくなったのか、最近はまた引きこもってみたりでさあ。そりゃ面倒見も良くなるっつーの」

透流「お姉ちゃんも苦労すんね……」



豪腕
ポメラニアン
稲田 陸 (18)
(いなだ・りく)

石川県出身。県立高校3年生
趣味/犬の散歩
部活/レスリング部
好きな食べ物/ビーフジャーキー
好みのタイプ/黒目パッチリ
座右の銘/よくわかんない

エキスプロイダー

専修大学アマレス部出身の秋山準のオリジナルホールド。裏投げと同じ要領で組み付き、ブリッジするように後方に投げる。裏投げが横方向に半回転させるのに対して、縦の回転で投げるのが特徴だ。

裏投げ

元は柔道の投げ技で、オリンピック金メダリストのショータ・チョンシビリはアントニオ猪木をKOしてみせた。また馳浩は捻りを加えたチョークスラムのように投げるサンボ流の裏投げを日本に持ち込んだ。

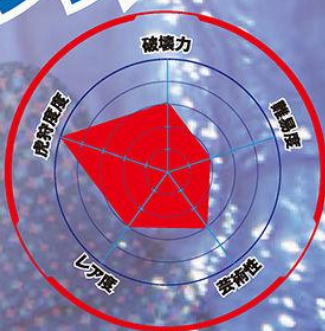


SHARPMAN'S SUPLEX

フィッシャーマンズ スープレックス

片足をフックしながら抱え投げ
そのままフォールを狙う
電光石火の綱打ち式原爆固め

破壊力に勝るフィッシャーマンバスターに押されて、使い手はやや減少傾向に。近年ではパーフェクトブレックスの名前で使うランザム★ヒロシがフィッシャーマンズスープレックスを復権させてつづける。



仇敵タイガーを釣り上げた
虎ハンター・小林邦昭の
オリジナルスープレックス

師走の翁 Comment



マットに叩き付けた場面でもいいんですが、足を抱えて持ち上げている瞬間を切り取りました。ちなみに清水愛さんの得意技でもあるんですが、DJの師匠が僕と同じなので、清水さんは姉弟子に当たります(笑)



フィッシャーマン バスター

獣神サンダー・ライガーが開発した垂直落下式の投げっぱなしフィッシャーマン。その後、ライガーはフィニッシュホールドを垂直落下式ブレンバスターにシフトするが、この新たな技は数多くの選手に愛用された。

形を変えつつ受け継がれた伝統の技

ブレンバスターのように相手の首を抱え込み、もう一方の手で片足をクラッチ。そのままブリッジするのがフィッシャーマンズスープレックス、別名・綱打ち式原爆固めだ。その元祖である小林邦昭は初代タイガーマスクとの抗争劇で名前を売って「虎ハンター」の異名で呼ばれたが、初代が引退後には2代目に狙いを付け、軌道に戦いを挑み、ついにはフィッシャーマンでNWAインタージュニア王座を奪取した。

その後、小林を超えるほどのフィッシャーマンの使い手は現れず、消える技になるかと思われたが、それを思わぬ形で復活させたのが獣神サンダー・ライガーだった。ライガーは首と片足をフックして抱え上げた相手をブリッジで後方に投げたのではなく、そのまま直下式で落とすフィッシャーマンバスターを考案。自身のフィニッシュホールドとして定着させる。

一方、思わぬ形で普及したのが女子プロレスの世界だ。同系統のノーザンライトスープレックスなどと比べると、片足を持つ抱え上げるため、力が弱くても仕掛けやすく重宝されたい。府川唯未はリストクラッチ式のフィッシャーマンズスープレックス、その名もサブマリナーズスープレックスを開発。釣り人ではなく潜水艦乗りという名称は横須賀出身であることに由来する。ちなみに府川は引退後、同じくプロレスラーの田中稔と結婚したが、田中はマスクマン時代にはリストクラッチ式のフィッシャーマンバスターを得意としていた。

投網のように大きな弧を描いて叩き付ける
リングに打ち上げられた魚は脱出不可!



アングラーガール 水無月 藍 16歳 (みなづき・あい)

東京都出身。県立高校1年生
趣味／釣り
部活／帰宅部(助っ人要員)
好きな食べ物／オニオンスープ
好みのタイプ／熱血漢
座右の銘／死ぬこと以外はかすり傷

今日は大漁!
ちやうど釣り上げ
ようつ!

ダメージポイント
背中・腰

代表的な使い手
小林邦昭
カート・ヘニング

水無月 藍 × 篁 美智

美智「食らってみて初めて分かったんだけどさ」
藍「うんうん」
美智「スカートでフィッシャーマンって固められた時の絵面と言
うか、アングルと言うか、なんかヤバない?」
藍「そんなことない! プロレスは神聖なものなのに、そういう
邪な目で見るからだよ!」
美智「そうかなあ……ちなみに他に藍の好きな技は?」
藍「ロメロスペシャルとか、レッグスプレッドとか、あとキン肉バス
ターもいいよねっ♥」



ノーザンライト スープレックス

相手の脇の下に頭を突っ込み、両腕ごと抱きかかえるようにクラッチして後方に投げる。開発した馳浩は遠征先のカナダのオーロラの美しさに感動して命名したという。綺麗なブリッジを描くには、かなりの柔軟性が要求されるため、難易度は高い。



ダメージポイント **首・肩**

代表的な使い手 **藤波辰爾**
ゲーリー・オブライト



羽交い締めから一発KO! 受身も取らせぬ禁断の必殺技

若き藤波辰巳が
殿堂MSGで披露した
飛龍原爆固めの衝撃

ドラゴン スープレックス

WWF、新日、UWF
あらゆる団体で炸裂

2015年3月28日、一人の日本人レスラーがアメリカンプロレス最大の権威であるWWEホール・オブ・フェイム、通称WWE殿堂へと迎えられた。

藤波辰爾。アントニオ猪木の愛弟子として、タイガーマスクと共に80年代の新日本プロレスを盛り上げた名レスラーである。

1978年1月23日、当時、海外修業の真っ最中だった藤波辰巳(当時)は、プロレスの殿堂と言われるニューヨークのマジソン・スクエアガーデンに登場。WWFジュニアヘビー級王座戦で王者カルロス・ホセ・エストラーダを相手にドラゴンスープレックスを初披露し、タイトル奪取に成功すると、帰国後にはドラゴンブームを巻き起こすこととなる。

「ドラゴン」の異名を持つ藤波のオリジナルホールドであることからドラゴンスープレックスと命名されたが、形としてはフルネルソン(羽交い締め)の体勢から後方への反り投げであり、フルネルソンスープレックスとも呼ばれる。両腕を固められているため、受身が取りづらい上に、かけられる側は自らのアゴが首にめり込んで呼吸困難に陥ってしまう。

本来は投げた直後もブリッジをほどかずにピンフォール勝ちを奪う技だが、90年代にUWFインターナショナルなどで活躍したゲーリー・オブライトは超高速の投げっぱなし式スープレックスでKO勝ちを量産した。

藤波の初披露以来、40年近くが経過しても、いまだに輝きを失わない一撃必殺の大技である。



タイガー スープレックス

ダブルチキンウイング式のジャーマン。初代タイガーマスク(佐山聡)が開発したが、その名を受け継いだ2代目タイガーマスク(三沢光晴)は腕のクラッチを変化させた、タイガースープレックス84'、85'などを用いた。

ジャーマン スープレックス

相手の胴を両腕でフックして後方に倒れ込むように投げる「プロレスの神様」カール・ゴッチが編み出したプロレスの芸術品。ゴッチは200キロ近い超重量級のアンドレ・ザ・ジャイアントすら投げ切ってみせた。



立浪里香子×倉科真琴

里香子「ゴッチ先生しかり、ロビンソン先生しかり、プロレスの基本はブリッジにあり。美しく弧を描き、しっかりと固めることで完成するというのに、昨今は何でも力任せの投げっぱなしばかり。ちょっと無責任すぎるんじゃないですか!？」

真琴「はあ、そんなもんですかね」

里香子「大体ですね、スープレックスというものは……」

真琴「あれ? 立浪センパイ、また前髪切りました?」

里香子「髪型の乱れは心の乱れ。キチンと整えられた身なりこそ、秩序だった暮らしのもとですよ」

真琴「いや、前髪メチャクチャ短くなってるじゃないですか」



炎の生徒会長 立浪里香子 (18) (たつなみりかこ)

大分県出身。県立高校3年生
趣味/城巡り
部活/史学研究部
好きな食べ物/おでん
好みのタイプ/篠原美直
座右の銘/Never Give Up

力任せのスープレックスは
スープレックスにあらず!

師走の翁

Comment



これは全体の中でも、ほぼ最初の頃に完成したイラストです。藤波辰爾とゲーリー・オブライトのイメージが強い技ですが、特にオブライトの「死ぬんじゃないか!?!」と思わせるドラゴンが好きです。

あのプロレスの英雄 力道山も下した 鉄人ルー・テーズの至宝



使い手によって様々な
バリエーションが存在する
プロレスを代表する必殺技

Back Drop

バックドロップ

鉄川 美友 × 木戸 心愛

心愛「みんな、バックドロップはヘソで投げるって言うじゃない？」
美友「そうだな、鉄人ルー・テーズの教えだから間違いない。ヘソの下に重心を置いて、こう、ブリッジするように投げる感じだな」
心愛「でも、あれって実際はテーズがそう言ったわけじゃなくて、プロレスマスコミの創作だったんだって」
美友「え!?!」
心愛「あとで本人がその話を聞いて「どうやってヘソで投げるんだ」って言うてたんだって」
美友「マジかよ……。でも、やっぱりバックドロップはヘソで投げるよなあ……」



抱え式 バックドロップ

バックドロップのバリエーションの一つで、ガッチリと片足を抱え上げることで、落とす角度を調整できるのがメリット。坂口征二など長身の選手はこの体勢から前方に落とすアトミックドロップを仕掛けることも。

後藤とウィリアムス
90年代の名手たち

カール・ゴッチのジャーナンスリーブ
レックスと並んで、プロレスの二大必
殺技とも言われるバックドロップ。こ
の特技を以て、アメリカマットで
936連勝(引き分けを挟んで)を
成し遂げた20世紀最強の鉄人、ル
・テーズの代名詞である。

ブリッジを効かせて投げるスタイ
ルと、相手の片足を抱え上げるスタ
イルがよく知られているが、長州力の
捻り式、三沢光晴の旋回式、瀧正信
の低空式、小川良成のホールド式な
ど、様々な掛け方が存在する。

バックドロップの名手と言えば、
テーズ直伝のジャンボ鶴田であろう
が、ここでは後藤達俊とステイブ・
ウィリアムスの名前を挙げておこ
う。1990年6月12日、後藤の捻
りを加えた垂直落下式バックドロッ
プは受け身を取り損なった馳浩を心
肺停止に追い込んだ。幸いにして馳
は一命を取り留めたものの、それ以
来、後藤がバックドロップの体勢にな
ると、客席からは悲鳴にも似たよう
な声があがるようになった。

ステイブ・ウィリアムスの殺人
バックドロップは落とし方の角度が
非常に鋭角で、相手を脳天からマッ
トに叩き落とす。1993年8月31
日、小橋健太との試合で見舞った危
険すぎるバックドロップは、その後の
全日本プロレスの光景を大幅に変え
てしまい、四天王プロレスの過激化
を加速させたとも言われている。だ
が、その命を削りながらも煌めく戦
いぶりに、多くのプロレスファンが魅
入られたのは間違いない。



桃色の若大将 鉄川美友 (18歳)

(てつかわ・みゆう)

山梨県出身。公立高校3年生
趣味／カラオケ
部活／バスケット
好きな食べ物／葡萄
好みのタイプ／器がデカイ人
座右の銘／無事之名馬

日プロ時代からの伝統技にして 今も輝きを失わないクラシック



バックドロップの破壊力はあくまで仕掛ける側と受ける側のパワーバランスによる。ここでは破壊力5としたが、バックドロップの名手は相手によって自在にダメージを変化させる。

ダメージポイント **首・肩**

代表的な使い手 **ルー・テーズ
ジャンボ鶴田**

捻り式、抱え式、旋回式に
バックドロップホールド
どれを食らって沈みたい？

師走の翁
Comment



非常に掛け方のバリエーションが豊富な技ですが、これはジャンボ鶴田をイメージしました。あとは後藤達俊のバックドロップもビデオで確認しましたね。四天王プロレスの過激なバックドロップが印象的です。



肅正委員長

国生 綺羅々(18歳)

(こくしょう・きらら)

京都府出身。私立高校3年生
趣味／占い
部活／ラクロス部
好きな食べ物／ヴァイスヴルスト
好みのタイプ／信念を持った人
座右の銘／山高きが故に尊からず

天衝く塔のごとく掲げた相手を
真つ逆さまにマットへ突き刺す

スナップを効かせて投げる
バーティカルスープレックスと
脳天碎きのブレンバスターは
似て非なる技

国生 綺羅々×雨宮 莉眞

莉眞「んーと、要するに垂直落下式じゃないブレンバスターはニセモノなのかな？」

綺羅々「そうとも言い切れないのよ。背中から落とすブレンバスターの元祖と言われているのがサイクロン・ネグロなんだけど、ネグロはキラ・カール・コックスとタッグを組んでチャンピオンになったこともある仲なのね」

莉眞「ん？ どういうこと？」

綺羅々「ブレンバスターは二人の共同開発だったという説もあるみたい」

莉眞「ええ!? なーんか嘘っぽくない？」

綺羅々「ハーリー・レイスのブレンバスターはネグロと同じスタイルだったけど、本物だと呼んでもいい威力だったけどね」

ダメージポイント Damage Point
首・背中

代表的な使い手 A Typical Wrestler
キラ・カール・コックス
ディック・マードック



雪崩式 ブレンバスター

現在では誰もが用いるようになった雪崩式。日本人レスラーの元祖は阿修羅・原だが、さらに遡るとアメリカのスコット&ビルのアーウィン兄弟が開発したもので、海外ではスーパーブレイクスと呼ばれる。



リバース ブレンバスター

ドラゴンスリーパーのように背後から相手の首をがぶって後方に放り投げ、腹を打ち付ける珍しい技。ウルティモ・ドラゴンのドラゴンカッターにも酷似しているが、この場合、仕掛ける側と受ける側は逆転する。

血の抗争劇を経て 受け継がれた大技

フロントヘッドロックに捕らえた相手の身体を高々と抱え上げて、そのまま背後へ叩き付ける。誰もが知るブレンバスターはごく普通の痛め技に過ぎないが、本来、この技は一撃必殺の超危険技であった。

その元祖と言われるのは60年、70年代に活躍したキラ・カール・コックスだ。コックスが開発したブレンバスターは相手を垂直に抱え上げ、尻餅をつくように落とす、現在の垂直落下式ブレンバスターだった。1966年、このあまりにも危険な技を引ッさげて日本プロレスに初来日したコックスは、吉村道明をKOして見せた。

もう一人、元祖ブレンバスターの名字として知られるのがディック・マードック。滞空時間の長さが特徴のマードックのブレンバスターだが、元々はコックスと抗争を繰り広げた間柄であり、その戦いを経て、やがて自らのものにしていった。

その後、ブレンバスターは前述の背中から落とす形が主流になり、海外ではバティカルスブレックス、スナプスブレックスの名前でも呼ばれるようになった。本書でも便宜上、スブレックスのカテゴリーに分類しているが、元祖ブレンバスターはパイルドライバーやDDTのような脳天砕きである。

ちなみにコーナーポスト上の相手を放り投げる技を総称して「雪崩式」と呼ぶが、最も最初に披露されたのは雪崩式ブレンバスターであった。もちろん、こちらは放り投げ式の背中から落とすタイプである。

背中から落とすブレンバスターが近年の主流となっているため、データ自体はやや控えめになった印象。だが元祖ブレンバスターは間違いなく必殺技だ。



師走の翁 Comment



垂直落下式ブレンバスターでマットに叩き付ける瞬間でも良かったんですが、これは高々と抱え上げている場面をセレクトしました。リック・フレアーの10秒くらい抱え上げている超滞空式のイメージです。

受け身の取れない
垂直落下式で行くわよ!

若手時代から注目された 優れた運動神経とセンス

——武藤選手の代名詞的な技といえば
ムーンサルトプレスと思われまふ。84年の
デビュー直後から使われていたましたが、当
時の新日本プロレスで派手な大技を使う
新人はいなかったで印象的でした。

「本来はダメだったんです。縦社会の圧力
というのがあったんだろうけど、上にいた
人たちがみんななくなった頃だったか
ら。UWFやジャパンプロレスに行っ
て。注意する先輩たちがみんない
なくなって、そういう意味でオレたちくら
いから、ちょっと自由にきたんですよ
ね。オレはデカい割には、ああいう動きが
できるので、使わない手はないなと思っ
て使い始めました」

——道場でムーンサルトの練習はされて

いたのでしょうか？

「やらない、やらない。ぶつつけ本番ですよ。
あの頃の新日本の道場に、練習用の柔ら
かいマットなんてないです。ムーンサル
トというのは、ガキの頃にやっていた仮面
ライダーごっこかの延長みたいなもの
で。近所の田んぼに行っ、藁を拾ってき
て乾燥させてクッション代わりにしてよ
くやってみました。小学校2、3年のとき
からバク転やってましたから、遊びの中
で。その延長ですよ」

——試合で初めてムーンサルトを出した
後、先輩レスラーたちはさぞかし驚かれ
たのでは。

「なんもないです。ただ、お客さんが、
わーって沸いてくれたので、いいんじや
ないのって思っ、それから使うようになっ
ちゃったんですよ。依存するようになっ
たんです」

プロレスラーインタビュー

K E I J I M U T O

武藤敬司

(W-1)



Profile

1962年12月23日生まれ。山梨県富士吉
田市出身。身長188cm 体重110kg。
1984年10月5日、新日本プロレスでデ
ビュー。その後、全日本プロレスを経て、W-1
を旗揚げ。

ムーンサルトプレス
足4の字固め
シャイニングウィザード

ムーンサルトの原点は、 仮面ライダーごっこ

アメリカで鍛え上げられ
誰もが認めるレスラーに

——そしてデビュー1年後の85年11月
には初めての海外遠征で、アメリカ・フ
ロリダへ行かれました。ムーンサルトを
初披露したときの反応は？

「アメリカではムーンサルトやるの、誰
もいなかったからね。当時のアメリカの
プロレス界は大型選手ばかりだった
から、日本のような細かいプロレスなん
て誰もやらなかった。だから、アメリカ
では日本の10倍ぐらい盛り上がった」

——観客ウケする技というのは、日本
と海外では違うものですか？

「ひとつひとつの技の意味がアメリカの
方が重いですね。日本は通りすがりの技
が多いですよ。オレ、テキサスのリング
に上がったときにね、テキサスといえ
ばフリッツ・フォン・エリックのファミ
リーがいるところで、そのときのストー
リーがオレの親父が日本でフリッツの
アイアンクローで仕留められたという。
そのリベンジでオレがテキサスに来たと
いう設定なんですよ。アイアンクローだ
けで魅せることができるという、エリッ
クの家族は凄いですよ。凄いい説得力があ
ります」

——アメリカでは他人のフィニッシュ
ホールドは使いませんよね。

「人の技を使うのはダメだから。暗黙の
了解ですからね。リック・フレアーがい

るときに、オレ、4の字なんて絶対やん
ないから。そういう意味で、日本の選手
はマナー悪いよ。ウケた技があると誰も
がマネするじゃないですか」

——武藤選手も日本では少なくなった
4の字固めの使い手です。

「あの4の字というのは、オレにとつての
一番の印象に残る試合の東京ドームで
の高田延彦戦。95年10月9日で生まれ
た技だから。元々、フレアーとよく戦っ
ていて、4の字という技の素晴らしさは
よく知っていたからさ。そろそろヒザが
悪くなってきて、肉体的ダメージが蓄積
されてきたときに、丁度いいタイミング
で生まれた技ですね」

——ドラゴンスクリーユからの4の字
という流れは新鮮に映りました。

「ドラゴンスクリーユは前座の頃から
やってたんだ。オレ、柔道やっていて、
ちよつと違うんだけど、一本背負いに近
い動きなんです。その感覚で、そう
いう回転の動きは得意だったんです。柔
道で打ち込みとか、そういう反復練
習いっぱいやってたから」

——そして今の武藤選手を象徴する技
ともいえるシャイニングウィザード。こ
の技の誕生のきっかけを教えてください。

「2001年に当時、オレ、新日本プロ
レスにいたんだけど、全日本プロレスが
東京ドームで試合をするということで
(1月28日)、出場を要請されたんだ。誰



間といつもは、
誤魔化し方なのかもね

とやるんだと聞いたら、太陽ケアと言われて。知らねえよ、そんなんの(笑)。試合をするメリットないよ、ヤダよと言って。結果的には出たんだけど。手の内を知らないわけだ、お互い初対面同士なので。で、試合の中でドラゴンスクリーューは出したけれど、ケアが立ってこないからさ、間が持たなくなつて、じれったくなつてヒザ蹴りかましたのが最初。そして、お客が、『ウォー!!』ってなつたからさ、この技、イけるんじゃないかなと思いましたよ」

——その後、フォームを改良するなど進化していきました。

「それからこの技を大事にしていこうと思ひ、使い続けていきました。当時は新日本にいたから、テレビ朝日が番組で技の名前を募集したんです。応募の中から、なんとかウィザードや、シャイニングなんとかというのがある。それを混ぜてシャイニングウィザードにしたんです」

——この技も他の選手からマネされるようになりましたが。

「そうですね、『名探偵コナン』も使ってますからね。出てくる女の子がやってるらしいですね。レスラーだけでなく、マンガでも使ってくるのは嬉しいですよ」

——ムーンサルトもいるいるな選手が使っているになりました。小橋建太選手も使い手のひとりですよ。

「ムーンサルトはオレが先だけど、オレンジのパンツは自分が先だと小橋は言ってるけど。当時の全日本と新日本は今と違って凄く遠い世界で、接点はないけど、比較だけはされたんです。四国に行つたとき、四国は全日本を中継していた日テレが強いけど、テレビ朝は弱いんだ。会場に行つたら、小橋のマネしてると言われて、カチンときたことがあった(笑)」

——当時、全日本プロレスでは、三沢光晴、川田利明、小橋建太、田上明の4人が激しい戦いを繰り広げた四天王プロレスが人気でしたが、どのように思われていましたか？

「多分、全日本と新日本の体質の違いがあつて、新日本とは求めているところが

世界中でブレイクしたスーパースター!! ダイナミックな技で 観客を魅了する!!

©WRESTLE-1



慢性的なヒザの痛みを抱えているものの、リングに上がると華麗なムーンサルトプレスで炸裂させる武藤。スーパースターに押し上げた技である

違うんです。四天王のプロレス、確かにいいかもしれないけど、同じメンバーで戦っているから。オレなんか、外人の新しい選手が来たときは、一番最初にやらされましたよ。初対面同士の手の内のわからない選手とやる難しさや面白さというのが、オレらのときにはあつた。そういう新日本の文化はありましたね、当時は」

——武藤選手は相手の後頭部を強打するパワーボム系やバックドロップ系の技は昔からあまり使われませんが、相手にケガをさせたくないからなのですか？

「オレ、アメリカ生活が長いんだけど、テレビ収録の試合のときには、いかにオレが強いかというところを見せるのが目的で、どうしても弱いレスラーが相手に

ドラゴンスクリューは二本背負いに近い技

なるんだ。素人なんだよ、ほぼ。こいつらって受けの美学とか何もない。だから、こいつらがドンくさくても、こいつらでもこなせる技を中心に使ったようになったんです。かといってアメリカ人、でかい奴もいるから、難しいよね」

——武藤選手は技以外に、間で魅せることがでるレスラーだと思います。

「うーん、そうっすねえ、休んでいるだけだよ(笑)。若いときは、恐怖もなく、息切れもなんもなくてたからさ。人にできない動きをすれば喜ばれるだろうなぐらいの感覚でやってたけど、段々とヒザが悪くなったり体力とかどうしても落ちてくるから。どうしても誤魔化しにいつちやうよね。間というのは、もしかしたら誤魔化し方なのかもしれないね」

——間の取り方のうまい人リック・フレアーなどと戦われたなかで身につけられたのでは？

「それはきつとあると思いますね。フレアーとは何回もやっているからね。ほぼ毎日っていうぐらい戦っていたときがあったから」

ハードからカジュアルに観客のニーズが変わった

——ところで最近、プ女子といわれるプロレス女子という存在がありますが、W-1の会場でも女性ファンが増えてきていますか？

「ウチのW-1に関しては、それはあまり感じないですね。でも、去年か一昨年ぐらいに新日本のG-1クライマックスにお祭

魔したときには、これはもうオレたちがいたときのファンじゃないなと感じましたね。それは欄橋とかが築き上げたお客だから」

——黄色い歓声が飛び交う会場と、プロレスマニアが集まっている会場とはどちらがやりやすいとありますか？

「どうすかねえ、男も女もそこに差別ないんじゃないと思います。女の子にだけウケる技なんてないよね。女の子にだけに感じる痛みとかさ。多分ないような気がするな」

——新日本はプ女子に代表されるライオン観客層をターゲットにしている感じもするのですが、W-1はどのような取り組みを？

「全包围網ですよ、とりあえずは。男も女も。ウチはプサイクな選手ばかりだからな。黒潮、イケメン、二郎というレスラーがいるんだけど、本当はプサイクだからね(笑)。そこがちよっとウケてはいるんだけど」

——W-1にはお客さんの方から応援したくなる選手が多くいて、それがいい方向に結びついていると思うのですが。

「オレが若かった頃のお客さんって、もつと今のファンよりも一生懸命にプロレスを観ていた気がするね。フィニッシュが気に入らなかつたら暴動とか起こっていたから。それだけ本当に一生懸命観ていたんだよね。だから怒りも爆発しちゃったりして。昔の蔵前なんか、オレらが新日本に入つたばつかのときに、火つけやがった悪いファンがいて。オレら

ずつと外に見張りに行かされてね。今のお客さんは多分、ウチの会場に限ってはそこまでのエネルギーはないというか、もつとカジュアルにフランクにプロレスを楽しもうと観に来てくたさる方が多いですね」

——昔の新日本ときにはお客さんを裏切るようなことをして、それがうまい方向に行つたときには盛り上がったのですが。猪木VSビッグ・バン・ベイター戦のときのように(87年12月27日)、間違つてしまつと……。

「そうそう、リングに物がいっぱい飛んできてさ、試合どころじゃなかったよね。でもね、オレが全日本プロレスに行つたときでも、オレが試合に負けたら涙を流して帰るファンもいて。その頃でももつと今よりも重いプロレスだったけど、今は軽い。やる方も観る方も軽い感じになってますよね。いいのか悪いのかはわからないけど。ただ、オレは若いヤツには、基本的にお客さんは感動しないとチケットを買ってくれないよとは教えています。感動する試合じゃなければ」

——武藤選手と高田選手との試合やUインターナショナルとの対抗戦は、ファンも戦つてました。

「その時代はまだ勝負論がありましたよね。今はもう勝負論が薄くなつちやうてくるから」

——ファン同士が喧嘩することもありましたね。

「そうそう、昔は」
——今の時代、暴動が起こるようなプロ



4の字固めは古典的なプロレス技のひとつ。95年10月9日の高田延彦戦で武藤がフィニッシュで使ってから再評価されるようになった技である

総合学院の生徒の中からスターを育てるのが目標

レスは受け入れられないでしょうけど。『そういうプロレスを踏みつぶしてK-1やPRIDEが出現して、それを踏まえ、今のプロレスがある。そういう流れできちやうてるから』

——今後のW-1が目指す方向は？
「ウチ、プロレスの専門学校、プロレス総

合学院をやっているから。人材育成ですね。プロレスラーを作る生産工場。中邑真輔じゃないけどさ、真輔が数億稼ぐようなレスラーになったら、そのうち真輔を目指して総合学院に入ってくる生徒が出てきて、生徒からもWEに入つたりして。もちろんウチの会場でもスターになつてもらいたいけど」

——総合学院へは、やはり武藤選手の名前に惹かれて入られる方が多いと思うの

ここ数年のフィニッシュ技といえばシャイニング・ウィザード。見た目のインパクトと破壊力は抜群。他のレスラーがマネして使うのも当然か!?



女子もいらつしやるとか。

「オレ、今は女子プロレスに興味があつてね。総合学院に入った2人の女の子がいて(才木玲佳、木村花)、その出来具合というのが、男子にはない違った良さを見つけたというか。具体的にコメントしたらいいんだけど。オレたちが教えているから基礎はしっかりしてると思いますよ」

——武藤選手が女子プロレスに関心があるとは意外でした。

「欲を言えば、いずれは女子の団体みたいなものもやっていけたらいいなと思うね。宝塚じゃないけど、女のお客さんが集まる空間にしたいね。スケベ男が見に来るような感じじゃなくて、漠然とそんな夢を持っていますね。男のプロレスはもう見せ過ぎた。いろんな形のプロレスがもうありますよ。女子だったらイチから築き上げられるんじゃないかなと思ったりとかして、漠然とだけど(女子)プロレスをやりたいな」

「今ウチは外人の留学生を定期的に呼んでいるんだよ。ウチで練習して、3週間ぐらいのプログラムのかな。ウチのダークマッチに出させることもしている」

——武藤選手が生徒さんを直接指導されることは……。

「あんまりない。オレは最後の魂を吹き込むだけ(笑)」

——生徒さんには男子だけではなくて

「ゆくゆくはW-1の試合の中で女子のカードが組まれることも?」

「いや、そういう中途半端なことはいらない

で。女子だけのちょっとした綺麗な世界を作ってみたいですね」

——既存の女子プロレスとは違った形ですか?

「うん、うん、そうだね」

——既にデビューされている才木玲佳選手、木村花選手はいレズラーになりそうですよね。雰囲気があるというか、華が感じられます。

「あのふたりのようなレベルの選手をあと10人ぐらい作ればいいだけのことから。今はフリーの選手もいっぱいいるから、合計で20人ぐらいでうまいことやっていると思ってるんだけど」

——武藤選手とは世代が違う若い女子プロレスラーを育成するのは難しくはないですか?

「それはあんまり感じない。やっぱり男のプロレスはもうあらゆることをし尽くして隙間がなさそうだけど、女子はまだ可能性を感じさせるというか」

——若い女子といえば、武藤選手には愛莉さんという、芸能活動をされている娘さんがいらつしやいますね。

「そんな、普通の高校生ですよ。たまに一緒にテレビに出るだけです」

——人前でパフォーマンスをする演者の先輩として武藤選手からアドバイスを娘さんにされることは?

「彼女は小さいときから、会場に来てたんです。女房も取締役に入っていた当時の全日本プロレ

スの後楽園ホール大会とかに。連れてかないと娘の面倒をみれないからさ。だから、物心がついた頃から会場でプロレスを観ていた。まあ、一番のサクラにはなっていたけど(笑)。プロレスを観ていて、エンターテインメントの素晴らしさとかを感じていたんだろ。うなとも思いますが、プロレスはやりたくないようだけど、だからそういうエンターテインメントという世界に行きたがっているのは事実ですね」

——お父さんである武藤選手の影響は大きかった。

「うん、そうですね。それはあると思います。人を喜ばせる商売っていいなあというふうには思っていると思いますよ。先日、BS日テレの『芸能人対抗! 家族のモズナ歌合戦』という番組で、オレと女房と娘が出てきたところですよ」

——何を歌われたのでしょうか?

「2曲歌って、家族全員では『瀬戸の花嫁』を歌いましたよ。もう1曲は、娘がオレに捧げる歌を、クリス・ハートの歌で

す。うまかったよ。かなりうまかったね。演者だったよ」

——武藤選手の演者の血は受け継がれていたのですか?

「完全になりきって歌ってました。そのへんの女の子とはちょっと違うね。歌うというのに臆さない。好きでたまらないみたい」

——お父さんという手本がいますから。

「いや、オレ、そう思ってやらないけど(笑)」

——そういえば最近、武藤選手は蝶野正洋選手との共著『生涯現役という生き方』(KADOKAWA)を出版されましたが、タイトルの通りまだまだ現役で頑張っているという決意の表れなのではないですか? 娘さんや家族のためにも「W-1のことを考えたら、まだ引けなくてね。どこに行ってもW-1の知名度よりもオレの知名度の方があからね。オレ、ヒザが悪いんだけど、いけることまでいくつもりです」



オレ、ヒザが悪いんだけど、いけることまでいくつもりです

宝塚みたいに女性客が集まる女子プロレス団体を作るのが目標

話題のプロレス関連書籍を紹介

百花繚乱!! 読むプロレス

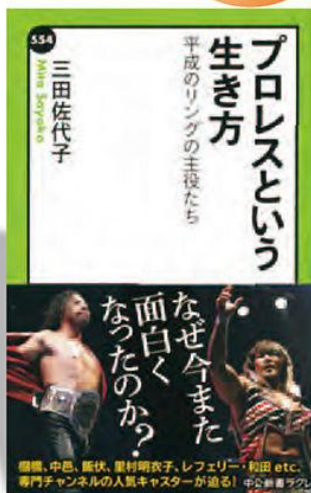
今まさにプロレスブーム真っ盛り。書店でもたくさんのプロレス関連書籍が棚を賑わせている。その魅力を熱く語る骨太な新書から、プロレスファンならニヤリしてしまう漫画まで、注目の書籍を紹介します。

プロレスという生き方

平成のリングの主役たち

人気キャスターが語るプロレスの魅力

三田佐代子
中公新書ラクレ
中央公論新社



プロレス専門チャンネルなどで、ファンにはお馴染みのアナウンサー・三田佐代子の初の著書。海外に羽ばたいた中邑真輔から女子プロ界のレジェンド・里村明衣子、ベテラン和田京平レフェリーまで、レスラーやスタッフらの素顔に迫る。

しんにち!

新日レスラーたちが高校生になったら!?

まつもと剛志(協力/新日本プロレス)
ヤングアニマルコミックス
白泉社



棚橋くんや後藤くんは新日本プロレス高専に通う高校生。そんなとんでもない設定で繰り広げられるプロレス4コマギャグ。「まじかるストロベリィ」のまつもと剛志が描く萌えの新機軸ながら、最も萌えるのは女子マネの永田さんだぜ!

ロリクラ☆ほーると!

ユークス社員が手掛ける萌えプロ!

原作・Chihaya
ファミ通クリアコミックス
KADOKAWA/エンターブレイン



高校のプロレス部を舞台に5人のJKたちが繰り出すドタバタコメディ。作者の二人は『闘魂烈伝』や『エキサイトキングプロレス』の開発で知られるゲームメーカー・ユークスのスタッフでもあり、WWE系のディーブナパロディが見もの。

世界でいちばん強くなりしたい!

アニメ化もされた女子プロレス漫画

原作・ESE
作画・夏木きよひと
泰文堂



国民的アイドルグループから女子プロレスの世界に飛び込んだ萩原さくら。先輩レスラーたちの厳しい攻めに苦悶の表情を浮かべる勇姿がマニアに突き刺さり、アニメ化もされた。作中には実在の女子レスラーである世IV虎(当時)も登場した。

強くてカッコイイ女子は好きですか?

女の子から超人へ! プロレス練習生4コマ

川村一真
星海社コミックス
講談社



女子プロレス団体に入門した元・女子高生の美枝つかさを中心に、悪役志望の清純派、あがり症のイケメン格闘少女といった個性豊かな面々が織り成すプロレス"練習生"4コマ漫画。果たして彼女たちはデビューに漕ぎ着けることはできるのか?

ゴロセウム

超美麗かつ緻密に描かれる格闘絵巻

馬場康誌
シリウスKC
講談社



「平和回路」と呼ばれるブレスレットを装着した外国人部隊に攻め込まれた日本。重火器や刃物の通用しない奴らに有効なのは、肉体を駆使した格闘技だけだった!「空手小公子 小日向海流」の馬場康誌が描く、新たなプロレス活劇。

Round.2

Bomb & Driver

ボム&ドライバー系

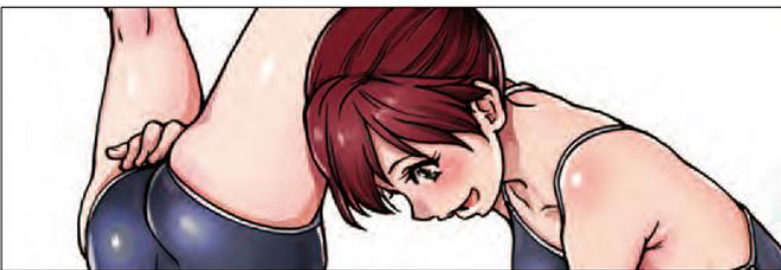
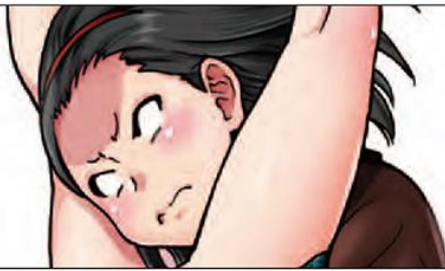
ここではスープレックス以外の投げ技を掲載。近年ではパワーボム&パイルドライバーが次第に過激さを増しつつある一方、顔面砕きのカッター系もブームとなっている。



パワーボム
Power Bomb
龍田 亜弥那



ツームストーンパイルドライバー
Tombstone Piledriver
赤堀 帝子



みちのくドライバーⅡ
Michinoku Driver II
篁 美智



キン肉バスター
Kinniku Buster
嶋中 聡美



ダイヤモンドカッター
Diamond Cutter
日比野 大亜



DDT
DDT
倉科 真琴





ライガーボム

自ら飛び上がり、相手の両腕に自分の両足をフックして尻餅しながら着地、二人分の重量によって破壊力は大幅に増大する。その名の通り、獣神サンダー・ライガーのオリジナルホールドだが、近年のライガー自身はリングの対角線上を走ってから落とすランニング式で用いることが多い。

ペディグリー

ダブルアームスープレックスの形でロックして、相手の顔面をマットに叩き付けるフェイスバスター。同じ体勢でジャンピングボムに移行するとタイガードライバーになるが、ペディグリーの開発者であるトリプルHはダブルアームスープレックスに着想を得たという。



ダメージポイント Damage Point

首



代表的な使い手 A Typical Wrestler

天龍源一郎

通常より高い位置まで抱え上げるアンダーテイカーのラストライド、自然落下式で落とすクビン・ナッシュのジャックナイフなどバリエーションも豊富



師走の翁

Comment



頭の中のイメージと上手く合致しなくて、一番苦労しましたね。マットに叩き付けて乗っかる川田式も描きたかったんですが、一般的なパワーボムとは別物になってしまうので、こういう形になりました。

風雲児 龍田 亜弥那(17)

(たつた・あやな)

福井県出身、公立高校2年生
趣味/ドリンクバー巡り
部活/帰宅部
好きな食べ物/寿司
好みのタイプ/豪快な奴
座右の銘/怖いもの知らず



最後までパワーボムにこだわったミスタープロレス・天龍源一郎

バックドロップ、ブレンバスター、ジャーマンスープレックス。歴史ある数々のフィニッシュホールドと比べると、やや新しいの技という印象があるパワーボムだが、実はその起源は50年近く過去へと遡る。

元祖はバックドロップの代名詞でもある鉄人ルーザーズ。1968年、国際プロレスで豊登相手に放ったソレは急角度で落とす変形バイルドライバーだったが、確実にパワーボムの原型となった技だった。また、アントニオ猪木も全米プロ空手王者のザ・モンスターマンとの異種格闘技戦においてパワーボムを繰り出し、KO勝ちしている。

その後、この技はテリー・ゴディ、天龍源一郎といった代表的な使い手によって輝きを増していく。特に天龍はジャイアント馬場、アントニオ猪木をパワーボムで下し、B1砲からピンフォール勝ちした唯一の日本人レスラーとなった。

天龍は最後までパワーボムにこだわり続け、65歳で迎えた引退試合では28歳のオカダ・カズチカをパワーボムで投げ切った。全盛期の頃と比すれば、決して満足なフォームではなかったかも知れないが、その姿に数多くのプロレスファンが涙し、二つの時代の終焉を噛み締めたのだった。

龍田 亜弥那 × 周防 桐佳

桐佳「亜弥、こないだアタシが言ってた件な。悪いんだけど、もうちょっとアレしてくれないかな」
亜弥那「アレってなんだよ。分かんねえよ」
桐佳「それくらい分かれよ、コラ」
亜弥那「んだと、コラ」
桐佳「借りた金、バイト代が入るまでアレしろっての!」

亜弥那「なんだ、んなことなら気にすんなよ、ダチだろうが!」
桐佳「お、おお……ワルいね」
亜弥那「足りねえならまだ持ってたか?」
桐佳「いや、大丈夫(なんでこんなに男前なんだ、こいつは)」
亜弥那「何をモゴモゴ言ってるんだ、もっと滑舌よく喋れよ」
桐佳「デメェが言うか、この野郎!」

あのBI砲もピンフォールした 天龍源一郎の代名詞

パワーボム

テーズ、ゴディ、天龍
使い手を変えながら
進化し続けた大技

こんなもんじゃねえだろ
おら、立って来いよ!



Tombstone Piledriver

ブラックタイガーの暗闇脳天
テイカーの墓石落とし
首を狩る執行人たちの昏き鎌

天地逆転で釣り上げられ
視界を奪われたまま
突き落とされる恐怖こそ
ズームストーンの神髄

ズームストーン パイルドライバー



パッケージ パイルドライバー

相手の腕と足を固めて
落とす、オースチン式よりも
さらに危険な大技。現在は
WWEに所属するケビン・
オーエンズがインディ
マットで活躍していた頃に
得意としていたが、当然の
ことながら現在は封印状
態にある。



ドリルアホール パイルドライバー

ズームストーンとは相手
の向きが前後逆になる。
胴体をクラッチするのが主
流だが、かつてはタイツを
掴んで脳天から落とすパイル
ドライバーも存在した。
バディ・オースチンはこれで
2人のレスラーの命を奪っ
ている。

また、メキシコでもズームストーンは「マルティネー」の名で禁止技とされており、名悪役アビスモ・ネグロはマルティネーを決めた瞬間に反則負け判定をされる場面が多々見受けられた。ネグロはブレナン兄弟という男性アイドルにマルティネーを仕掛けてヒートを貰ったが、アメリカではアンダーテイカーの弟ケインが、元プロ野球選手のパット・ローズにこの技を喰らわせている。ズームストーンはそれほど衝撃的なフィニッシュホールドなのだ。

一方、海外マットにおいては、アンドレ・ザ・ジャイアントが得意とし、現在はジ・アンダーテイカーのフィニッシュとして定着。スーパードラゴンのイメージが根強い。そもそもWWEでは脳天から相手を落とすパイルドライバー系を禁止技にしているが、その中でも数少ない例外がテイカーのズームストーンなのだ。

アメリカやメキシコでは禁止技に指定
ズームストーンパイルドライバーと聞いて、タイガーマスクと抗争を繰り広げたダイナマイト・キッドや初代ブラックタイガー(マーク・ロコ)を思い出すオールドファンは多いことだろう。彼らはイギリスにルーツを持つが、ズームストーンは、あの「蛇の穴」の異名を持つビル・レイレー・ジムのトレーナーであるビル・ジョイスが開発した技。その後、ズームストーンは、獣神サンダー・ライガーやワイルド・ベガス(クリス・ベノワ)といったジュニア選手たちに脈々と受け継がれていく。

暗黒邪気眼

赤堀帝子・17歳

(あかほり・ていこ)

東京都出身。私立高校2年生
趣味／オリジナルの魔方陣作り、
部活／オカルト部
好きな食べ物／林檎
好みのタイプ／魔王
座右の銘／Rest in peace



師走の翁

Comment

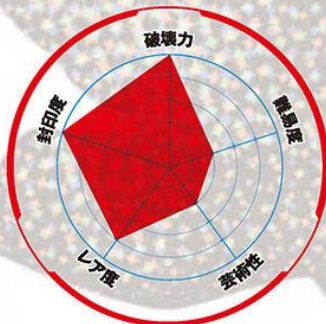


最近はおカダ・カズチカが多用しているツームストーンですが、やはりテイカーの技という印象ですね。白目を剥いているという点で、珍しく女の子にレスラーのキャラクター設定が反映されています。

ダメージポイント 首

代表的な使い手

ダイナマイト・キッド
ジ・アンダーテイカー



凄まじい破壊力を持つツームストーンだが、海外マットでは禁止技に指定されていることも多く、ほとんど見ることができない。

赤堀 帝子

帝子「ツームストーンパイルドライバー、またの名を脳天墓石落とし。常に甘い死の香りを漂わせ、選ばれし者だけがその禁断たる力を振るうことを許される。まさに孤高の魔王たる我に相応しき技よ。」

技の出自が「蛇の穴」というのも洒落たものよの。かつて蛇はアダムとイブを唆し、神の園から追放させた、すべての善なる者共に忌み嫌われる存在。その正体は墮天使サタンであるとも言うではないか。つまり、このツームストーンパイルドライバーが打ち立てた墓標は、神という存在そのものの死を意味するのだ。

それにしても他の面々は楽しそうに掛け合いをしているのに、なぜ我だけが独りで長々と喋っているのか。べ、別に友達がいらないわけではないぞ。そんな哀れみのような視線を我に向けるではないわッ！……ぐずん」

我に仇なす者共よ……
静かな眠りを授けよう……

NOIKEI II

みちのくドライバー II

ボディスラム、ツームストーンパイルドライバー
ジャンピングボムを複合した新たな技

プロレス界の日本人
メジャーリーグ

昨年、野球やサッカーのプロ選手が海外で活躍することは決して珍しくなくなった。プロレスに同じく同様で、現在は中邑真輔、ヒデオ・イタミ、アスカら日本人レスラーたちがアメリカマットで活躍している。

古くはキラ・カニンやザ・グレート・カフキらが全米のプロレスファンを震撼させたが、ある点において、それ以上に海外マットに影響を与えた日本人レスラーたちがいる。フジワアームバーの藤原喜明、アサヒムーンサルトのウルティモ・ドラゴン（ウルティモの本名に由来する）、そして、みちのくドライバーのTAKAみちのくである。自らの名前を冠した彼らの必殺技は世界中で通じる共通言語となり、今も様々な国でく普通に用いられている。

TAKAみちのくはWWE（現WWE）がアティテュード路線で人気を爆発させた1997年に渡米。スーパーヘビー級揃いの同団体において、封印されていたライトヘビー級の復活後の初代王者となるなど活躍した。その後、頭から落とすパイルドライバー系の技はアメリカのメジャー団体では禁止されていき、TAKAも日本へと活動の場を戻すが、みちのくドライバーの名前はしっかりと異国の地に刻まれたのだ。

ちなみにボディスラムから開脚式ツームストーンパイルドライバーに移行するのがみちのくドライバーIIだが、海外では元祖みちのくドライバーとは区別せずに、単に「みちのくドライバー」と呼ばれている。

東北から世界へと飛翔した ニュースタンドードの フィニッシュホールド

ベトナム ドライバーII

佐々木大輔がベトナム遠征時に開発した技。カナディアンバックブリーカーの体勢から相手の首を支点に一気に跳ね上げてフェイスバスターで落とす、リバーズ式のみちのくドライバーII。形としてはスパイシードロップにも近い。



TTD

テンザン・ツームストーン・ドライバーの略。ボディスラムの体勢から膝をつきながら首から落とす天山広吉のオリジナル技。元は尻餅式のリバーズパイルドライバーだったが、あまりに危険過ぎるために現在の形へ。



篁 美智 × 稲田 琴

琴「で、みちのくドライバーIIがすごい技なのは分かったんだけど、ってないよね？」

美智「あるよ！ クロスアーム式のジャンピングボムで……」

琴「それってピラミッドドライバーのこと？」

美智「なんだ、知ってたんだ」

琴「でも、ピラミッドドライバーの元祖は全女時代の堀田祐美子でしょ？」

美智「いや、TAKAの方が早かった！」

琴「そうかな。堀田の方がだいたいデビューも先だし、印象としてはそっちが早かった気がするんだけど……」

美智「はい、この話はヤメヤメ！」

琴「それじゃ話は変わるんだけどさ。昔、みちのくドライバーIIってあったよね？」

美智「全部知ってて聞いているだろ！」

師走の翁

Comment

みちドラは作画作業に取りかかったのが後半の方だったので、特に制服にこだわらなくてもいいかなと思って、スクール水着にしてみました。これも一応JKらしい服装ということで。色々派生技が多いんですが、機会があれば他の技も描いてみたいです。



コスミックガール

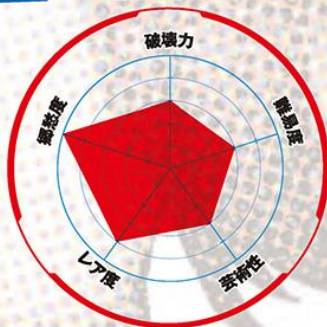
篁 美智 ● 16歳
(たかむら・みち)

千葉県出身、公立高校1年生
趣味／ヘアアレンジ
部活／水泳部
好きな食べ物／ピザ
好みのタイプ／飾らないシンプル系な人
座右の銘／口は災いの元



MITCHELL DRI

落とす角度次第で首から背中にかけてダメージを与えることが可能。軽量の選手に使い手が多いが、相手の首に添えたフックが外れると、途端に超危険技へと早変わり。



ダメージポイント **首**

代表的な使い手 **TAKAみちのく**

みちドラ1って
意外とみんな
知らないんだよね…

人気マンガから 生まれた複合技 またの名を 五所蹂躪絡みが 全身の骨を砕く

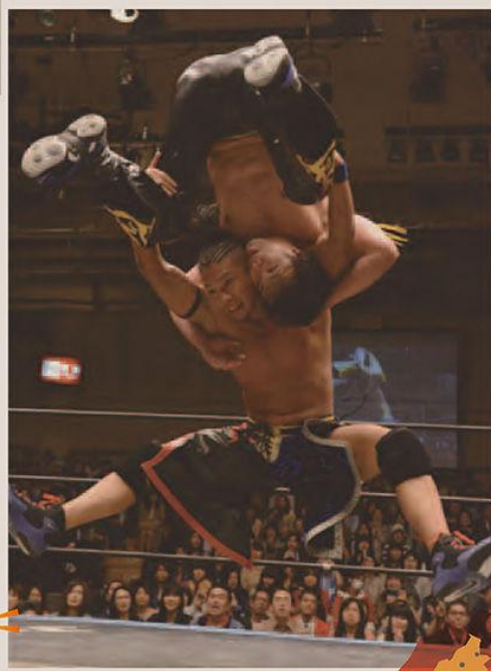
代表的な使い手
モハメド・ヨネ
サモア・ジョー

ダメージポイント
首・背中・股関節

絶対不可能だと思われた殺人技が
現代のマットで復活を遂げた

キン肉 大移動

キン肉バスター
と同型のようなが、
この体勢から派生
するのが彰人のオ
リジナル技である
キン肉大移動だ。
フックした相手の
足を軸にして、スパ
インバスターのよう
に前方に叩き付け
る。予想外の動き
に相手は困惑!



原作者の公認を 受けたレスラーも

ゆでたまご原作の超人プロレス漫画「キン肉マン」に登場するのがキン肉バスターだ。首と左右の膝裏を固めたままで高く飛び上がり、尻餅をついて着地することで、首折り、股裂き、背骨折りの効果が得られるが、この現実離れした技を実際に使いこなすプロレスラーが現れるとは思われていなかった。その後、キン肉バスターをリアルなリングに持ち込む猛者たちが現れる。ゆでたまごにキン肉バスターの使い手として公認を受けたモハメド・ヨネ、超人を名乗るミノワマンなど、原作に大いなるリスペクトを持つ選手たちだ。

ちなみにキン肉バスターより以前に、ほぼ同じ形の技を使っていた選手も存在している。メキシコのエルマテマティコが用いるラ・マテマティコ、そこに着想を得たサムソン冬木のサムソン・ストライカーだ。だがマテマティコ式は関節技であり、サムソン・ストライカーは相手の背中からマットに落とす技であり、落下の衝撃を加えるキン肉バスターとは、やや狙い所が異なる。

なお、海外でもマッスルバスターという名称でアメリカマットなどで使用されることがあるが、原作「キン肉マン」のアニメはアメリカでは放映されておらず、ようやく本場のキン肉バスターが彼らの元に届けられたのは「キン肉マンII世」が制作された2000年代に入ってからであった。

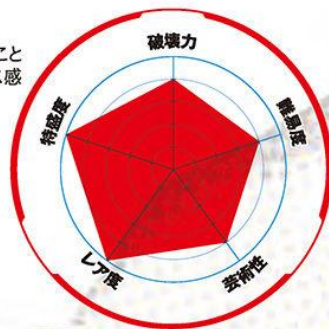
ノーザンライト ボム

ボディスラムで相手を抱え上げて、倒れ込むように横っ飛びし、そのまま脳天からマットに落とす。開発者は北斗晶だが、のちに夫である佐々木健介も愛用するに至った。北斗ボムという名称で呼ばれることも。



どんな時でも
誰が相手でも
絶対あきらめない
これが私の
生きる道

使い手が少ないこともあり、実際に試合で見ること自体が稀。相手を持ち上げるパワーやバランス感覚など様々な技術が要求される



嶋中 聡美 × 黄金崎 未来

聡美「キン肉バスターって危険な技なのよ」
未来「首折り、背骨折り、股裂きの複合技なんて、喰らった方はたまったもんじゃないもんね」
聡美「そういうことじゃなくて」
未来「えーっと……あっ、大股開きにされちゃうのが恥ずかしいとか!」
聡美「それも違う」

未来「えー、わっかんないよ」
聡美「相手を肩口に抱え上げて、そのまま尻餅をついた衝撃でダメージを与えるでしょ。その時二人分の重量が仕掛けてる側の腰やお尻に来るわけよ。だからあんまり連発してると……」
未来「どうなるの?」
聡美「椅子に座れなくなる、お尻が痛くて……」

奇跡のヒロイン
嶋中 聡美 (16歳)
(しまなか・さとみ)

大阪府出身。私立高校1年生
趣味/お笑い鑑賞
部活/ソフトボール部
好きな食べ物/ハンバーガー
好みのタイプ/マッチョタイプ
座右の銘/愛こそ全て



師走の翁 Comment



原作漫画と実際のプロレスで決める瞬間のフォームが違うんですが、そのどちらに行くのか分からない、相手を抱え上げたところをイラストにしました。これとロメロスペシャルについては、格闘ゲームなどではエッチっぽい拷問技として多用されますね(笑)

躍動する鋭い刃は
いかなる強敵も
容赦なく切り刻む



ダイヤモンド ダイヤモンドカッター

ジョニー・エースの
エースクラッシュシャーから
生み出された
顔面砕き



相手を高く抱え上げる必要がないため、近年では使い手が急増。特にスーパーヘビー級が多い海外マットでは一大ブームとなった

ダイヤモンドカッターとスタナー
似て非なる技が生まれた背景

相手の首を肩でフックして落とす。このシンプルながらも破壊力抜群の技を巡っては、常に一つの論争が起こった。すなわち「ダイヤモンドカッターとスタナーはどちらがオリジナル

で、ダイヤモンド・ダラス・ベイジへ伝授する。その後、エースが新たに開発したギロチン・エースクラッシュシャーは相手の首に跨がるように自らの足を引っかけ落

とす。このシンプルながらも破壊力抜群の技を巡っては、常に一つの論争が起こった。すなわち「ダイヤモンドカッターとスタナーはどちらがオリジナル

ダイヤモンドスマイル
日比野 大亜(17歳)

東京都出身。私立高校2年生
趣味／ピラティス
部活／帰宅部
好きな食べ物／オーガニック料理
好みのタイプ／笑顔が可愛い人
座右の銘／幸せなら手を叩こう

(ひびの・だいあ)





スタナー

相手の首を肩口でフックしたまま尻餅をつき、首めがけて着地時の衝撃を与える、ストーンコールド・スティーブ・オースチンの代名詞。仕掛ける側以上に受け身を取る選手の手先さが映える技で、特にザ・ロック、シェイン・マクマホンのバンプは白眉。



ネックブリーカー

ネックブリーカーには多数の仕掛け方があるが、こちらはショルダーネックブリーカー。ダイヤモンドカッターとは相手の身体が逆で、お互いに背中合わせの体勢になり、肩でロックした首に衝撃を与える。

「なのか？」というテーマにおいてである。大きく前方に飛び上がったマットに顔面を叩き付けるダイヤモンドカッターと、その場で尻餅をついて、一気に肩で頭を跳ね上げるスタナー。今となつては似て非なる技ではあるが、本来のダイヤモンドカッターは現在のスタナーに近い技であった。

す技で、これも相手の顔面を砕くことに留意している。対してスタナーの開発者は言わずと知れたストーンコールド・スティーブ・オースチン。抱え上げた相手の喉元をトップロープに打ち付ける、通称スタンガンをいかにスムーズに行なうかという流れで生まれたもの。つまりDDPとオースチンは全く異なるところから、ほぼ同じ形の技に辿り着いてしまったのだ。この二大必殺技の開発秘話は、プロレス界でも有数の「偶然の一致」と言えるだろう。



師走の翁 Comment

最近では必殺技にしているレスラーも多いですが、個人的にはカール・アンダーソンのガンスタンが好きです。スタナーの方を描くという案もあったのですが、スタナーは使い手が少ないので、より一般的な技をということでダイヤモンドカッターになりました。



日比野 大亜 × 赤堀 帝子

大亜「ダイヤモンドカッターって名前がいいわよね。シンプルなんだけど、これまでのプロレス技にはなかった独特の感じがするじゃない？ ○○スペシャルとか××固めみたいにならなきゃいけない、まさに唯一無二の技という雰囲気がある」

帝子「うーむ、単なる工具の名前のようでもあるが……」
大亜「それじゃ帝子ちゃんが格好いいと思う技名って何？」
帝子「サンダーデスドライブーじゃな！」
大亜「あ、そっちなね……」

ダメージポイント 首・顔

代表的な使い手
ジョニー・エース
ダイヤモンド・ダラス・ペイジ

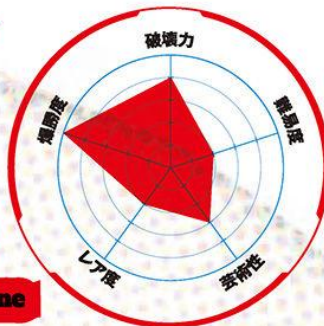
角度が違うだけでも
です」
目を覚ましてくださー

スイングDDT

コーナーポスト上から相手の首を捕らえて、横回転を加えながら落下する高角度のDDT。開発者であるスperl・デルフィンがスイングDDTを仕掛ける前に必ず相手の顔面に張り手を一発入れるのがお約束で、ここからデルフィン・クラッチに繋ぐのが定番のフィニッシュムーブだった。エル・サムライはスイング式リバースDDTを開発。



DDT



サンダー・ザボー、ジェイク・ロバーツ、天龍源一郎…
一世を風靡した脳天砕きのオリジナルは一体誰なのか!?

一大会で2度3度と目にすることも珍しくなくなったDDT。リバース、スイング、ダブルアームなど派生技のバリエーションも非常に豊富だ

ダメージポイント **首**

代表的な使い手 **ジェイク・ロバーツ**
橋本真也

ニック・ボックブリンケル、アントニオ猪木、初代タイガーマスクらが得意としていたフロントネックチャンスリーの元祖は1930年代から活躍し、日本プロレスにも来日したハンガリー出身のサンダー・ザボー。その後、70年代になってからジェイク・ロバーツがアレンジしてDDTに昇華したが、日本のファンにとってはDDTは天龍源一郎

が原型になっているという。ニック・ボックブリンケル、アントニオ猪木、初代タイガーマスクらが得意としていたフロントネックチャンスリーの元祖は1930年代から活躍し、日本プロレスにも来日したハンガリー出身のサンダー・ザボー。その後、70年代になってからジェイク・ロバーツがアレンジしてDDTに昇華したが、日本のファンにとってはDDTは天龍源一郎

意外と知られていない
DDTの正式ネーミング
「DDTは何の略称でしょうか?」というプロレスクイズはありがちではあるが、その正答率は驚くほどに低い。正解は「ジクロロ・ジフェニル・トリクロロエタン」で、かつて存在した殺虫剤DDTの名前に由来する。DDTは環境汚染物質として使用が禁止されており、その危険性からプロレス技へとネーミングが転用された。

が80年代に入ってから使用し始めたオリジナル技というイメージも根強い。日本人レスラーとしてDDTを初披露した天龍がプロレスマスコミに対して「DDTはデンジャラス・ドライバー・テンリウウの略」という発言を残したことに起因するが、あくまで本人は冗談のつもりだったのが、これが広く人口に膾炙してしまう。また大仁田厚が同じ技をDDO(デンジャラス・ドライバー・オオニタ)として使用したことも誤解に拍車をかける原因となったようだ。

師走の翁

Comment



使い手は多いですけど、ロック様が試合の中盤でDDTを決める場面が印象的です。スイングDDTなどバリエーションも豊富ですが、ドラゴングートの選手は凄いい動きを見せますよね



倉科 真琴×七氏 直弥

直弥「ねえねえ、ちょっと聞きたいことがあるんだけど」

真琴「ん？ アナタ、この辺りでは見ない顔ですね」

直弥「まあいいからいいから」

真琴「ふむ……。で、質問は何です？」

直弥「垂直落下式DDTと垂直落下式ブレーンバスター

の違いについて」

真琴「ああ、よく言われるんですよ、それ。なんでみんな
分かんないんでしょうね。一目瞭然じゃないですか。足の
ステップが違うんですよ」

直弥「え、ほぼ一緒じゃん？」

真琴「指の
別の技なん
直弥「め、
い！」

破壊なくして創造はなし！ 頂上に立てる時は来たり

破壊王女

倉科 真琴(17)

(くらしな・まこと)

岐阜県出身。公立高校2年生

趣味/映画鑑賞

部活/料理研究会

好きな食べ物/焼き鳥

好みのタイプ/無邪気な人

座右の銘/七転び八起き



エメラルド・
プロウジョン
illustrated by みのもけんじ



みのもけんじ

インタビュー Interview

BI砲とロード・ウォリアーズの対決など、次々とドリームカードを実現させて日本中のキッズたちを興奮させたプロレス漫画のバイブル『プロレス・スターウォーズ』。その荒唐無稽で破天荒な物語の裏側とは？

text by Minami.K

みのもけんじ



①1979年②バラエティ・アレイ③宮崎県延岡市④月刊フレッシュジャンプ、少年ジャンプ、ゴルフダイジェスト⑤馬場さんの全日本プロレス、NOAH⑥ブルーザー・ブロディ、小橋建太⑦ドロップキック⑧なし⑨お酒⑩@minomokenji

⑪漫画家デビュー年⑫デビュー作タイトル⑬出身地⑭主な掲載誌⑮好きな団体⑯好きなプロレスラー⑰好きなプロレス技⑱タイトル歴⑲趣味、特技⑳Twitterアカウント

プロレス好きが高じて 編集長直々に大披露！

「みのも先生はどんな少年時代を過ごされていたんですか？」

「小学生の頃から手塚治虫や永島慎二の漫画が好きで、もちろんプロレスも好きだったよ。力道山が刺されたのがオレが小学3年生くらいで、そうこうしているうちに猪木が出てきたんだ。当時、地元宮崎では東京プロレスなんかは知られてなかったから「誰だろう、この猪木というの」と思ってたね」

「みのも先生のプロレス漫画における代表作と言えば、やはり1984〜1987年にフレッシュジャンプで連載されていた『プロレス・スターウォーズ』（以下、プロスタ）ですが、この作品が生まれた発端とは？」

「オレが住み込みでビッグ錠先生のアシスタントをしている時に、何度かフレッシュジャンプ編集長の中野和雄さんが原稿を取りに来たんだよ。それで話しているうちにプロレス好きだということが伝わったんだよね。その後、江口寿史先生の手伝いに行っている時に「今度、テリー・ファンクの引退漫画を描いてみない？」と言われて、それがプロレス漫画を最初に描いたキッカケ。まずテリーに会わせてくれるというか

ら、最悪、描けなくてボツになってしまったかなと思って（笑）」

「中野さんは作品もほとんどご覧になつていないのに、プロレス好きというだけで、みのも先生にオファーしたんですか？」

「そう。それも何かの縁でやつたよ。しかし、まず選手の顔を似せなくちゃいけないというのが大変だね。『プロスタ』も天龍や藤波、鶴田といった日本人選手は特徴が少ないから、すごく描きづらかったな」

「こうして読み切り『SAYONARA TERRY』が掲載になりました。」

「その評判が割と良く、『プロレス物やろよ』という雰囲気になって、それで原さんの『プロレス太平洋戦争』を漫画化することを提案したんだ」

「原康史と桜井康夫さん（元・東京スポーツ記者）が月刊ゴングで連載していた架空小説『プロレス太平洋戦争』ですね。」

「ただ、担当編集者に見せると、ビンス・マクマホンだ、ボブ・ガイゲルだとネタがマンアック過ぎる。どこの子供が分かるんだという話になってね。それでもとりあえず編集長の中野さんに見せてみると、そしたら中野さんは「いいじゃないか。来月からやるよ」とアッサリと話がまとまった（笑）」

実は見切り発車だった ロード・ウォリアーズ

「実質、みのも先生が作画だけではなく、ストーリーも手掛けていたとか？」

「元々の原作だと猪木が高見山にケンカを売るといった話になっていくんだけど、第1巻の途中からはもうオレのオリジナルだね。好きなレスラーを勝手に引っ張ってきて、やりたい試合を組むという（笑）」

「既に日本人同士の抗争が人気を集め始めていた時期ですが、あえて日本人vs外国人というプロレス黎明期的な構図を描いた意図は？」

「どんなに好き勝手に描いていいと言われても、馬場と猪木を戦わせて勝ち負けを付けるというところまでは描けなかったんだな」

「『プロスタ』で多大なインパクトを残したロード・ウォリアーズですが、連載当時は来日前ですよ？」

「そうだね。その時は馬場と猪木の相手を誰にするかが問題で、そこでウォリアーズを描くことにした。当時、レザーベストを着た暴走族スタイルの写真しかなかったんだけど」

「まだロクに動いている姿も見えないのにですか？」

「最初にウォリアーズを描いた時は 写真一枚しか資料がなくて……（笑）」

「それで次第に『プロスタ』でウォリアーズの順番が近付いてくるんだけど、まだ何の資料もない。来月号ではいいよB-1砲との勝負を描かなきゃ行けないという時に、海外のプロレスを紹介するテレビ番組『世界のプロレス』で初めてウォリアーズ特集が組まれて、ようやくそこで「あ、こりゃスゲーな」と思ったんだよね」

「完全に見切り発車だったんですね。」

「だからギリギリまで待ってウォリアーズがバツとしなかったら、巨大組織に消されたことになって、次の挑戦者を出せばいいやと安易に考えていて……」

「ちなみに次の挑戦者候補は？」

「いや、何も考えてない（笑）。結果的にウォリアーズが話題になって、漫画にも反響があつて人気が発売した頃に、全日本プロレスの『エキサイティング・ウォーズ』シリーズで初来日した（1985年3月9日、全日本プロレス両国国技館でのインターナショナルタッグ選手権試合）。色んなものが上手く噛み合ったんだな。ただ相手が鶴田と天龍という大型選手だったせいで、ウォリアーズがちよっと小さく見えてね。ただ2度目の来日時には身体が倍くらいに大きくなってたよ」

「ビンスを実際に戦わせなかったのが プロスタ唯一の心残りだね」

続々と登場する怪奇派
その内情は人材不足!?

——ウォリアーズに関しては「まだ見ぬ強豪」が上手くハマった感じでしたが、その後、ジャイアント・キマラ、ミッシング・リンクなどが登場します。

「当時はもう登場させられる外国人レスラーがキワモノのベントレスラーくらいしか残ってなかったんだよ」

——他に正統派の外国人レスラーもいたかと思うんですが？

「そこでトミー・リッチやバリー・ウインダムを出してもダメだろう。だから演出的にも、馬場の背中に噛み付くキマラの顔であったり、ミッシング・リンクの登場シーンを見開きで書いてみたり、そういうラインバクト勝負に出てたね」

——ただ、ミッシング・リンクのエピソードでは、単なる怪奇派であることに留まらず、その素顔であるデューイ・ロバートソンが東京オリンピックを目指していたことに触れるなど、かなりコアな見方をされています。

「テーマとしてプロレスを描いてはいたけれど、色んなものにインスパイアされた部分があって、ミッシング・リンクのベイントが落ちる場面は、スターウォーズでダースベイダーの素顔が明らかにな

るシーンをダブらせたりしてたんだよね(笑)。今になって思うと、プロレスだけに留まらず、色んなネタを入れたからこそ面白がってもらえたのかもね」

——内容はかなりマニアックな要素も含まれている一方、作中では純真な子供たちが馬場や猪木のピンチに涙を流すシーンが印象的でした。ここにもこだわりが？

「よく聞かれるんだけど、フレッシュジャンプのメインの読者層が小学校の高学年なんだよ。それで意識して大人の観客は描かなくなっちゃったわけ」

——そこにマニアックなネタを放り込んでいたのも凄いなんですけどね(笑)。第3戦では、ジム・クロケット Jr. 率いる恐竜軍団(ティンゴ・ウォリアー、パンパン・ビガロなど)が、UWFや輪島と戦います。

「もうちょっと続けば、ステイキング、レックスルガー、グレート・ムタが出てきたんじゃないかな。ムタは日本側につくのか、アメリカ側につくのか、そこにカブキが絡んできたり、使い出があつて面白かつたと思うけどね」

21世紀のプロスタは
新日がWWE殴り込み

——最後は恐竜軍団との抗争中、バタバタと最終回を迎えましたが？

「まあ、人気も真ん中辺りまで落ちてきたし、そろそろ辞めようかという話になって、恐竜軍団のエピソードを続けても、ステロイドの話なんかになっていくし、それはもういいんじゃないかと。それでUWFブームということもあつて、次に異種格闘技をテーマにした「おれが強気」が始まったんだ。上手いかなかったけど、プロスタで一つだけ悔やんでいるのが、ビンス・マクマホン・ジュニアを巨大化させて戦わせなかったこと」

——それはもう最近のビンスそのものです(笑)

「身体を鍛えていて、レスラーくらいデカくて戦える背広組という発想がオレの中になかったのが悔しいよ。そこまで描けたら「プロスタ」は完璧だった」

——10年を経て現実が漫画に追いついてきたんですね。

「ビンスはレススルマニアにシンディ・ローパーを呼んだりして、色んな人から「こんなことをしたらプロレスが終わってしまう」と叩かれたけど、結局は

彼がアメリカのプロレスの転換期を作ったんだな」

——プロスタ終了後、格闘技をテーマにした漫画「おれが強気」「獅子の時代」「ひかるーチャチャチャ!!」、そして野球漫画「ぼくたちのプレイボール」を経て、その後、ゴルフダイジェストで「天才伝説」シリーズが長期連載となりました。この転機は？

「ジャンプでの連載が振るわなくて自信がなかった頃に、中野さんを通して、ゴルフダイジェストの編集から「外国人の顔が描けて、スケールの大きい漫画を描ける人を探している」という声がかかったんだ。それで坂田信弘さんを原作に7〜8年続いたんだよ」

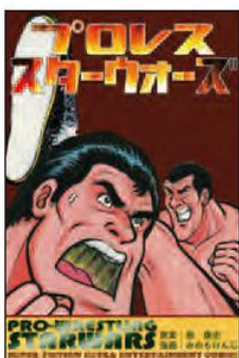
——近年では「プロスタ」Tシャツがハードコアチョコレートから発売になり、「サイト」みのもけんじのプロレスで哭け!!」を監修されています。現在もプロレスはご覧になっていますか？

「ずっとプロレスは観てたけどね。最近だとZERO-1の選手たちは確かな実力を持っているから打って出て欲しいね」

——21世紀の「プロスタ」を描くとしたら、どういった内容になると思われますか？

「やっぱり「プロスタ」は誰が一番強い

というテーマ以上に、興行戦争という軸があったじゃない。だからそういうところには外せないかなと。今度は逆に新日を中心に日本の団体が結束してWWEに挑んでいくとかね。木谷オーナーがビンスと戦ったり、TAAJIRIや葛西純も面白いし、変なところからマッスル坂井がチョッカイを出してみたりと、キヤラクターは今のプロレスの方が面白いかも知れないな。まあ絶対に描かせてくれないだろうけど(苦笑)」



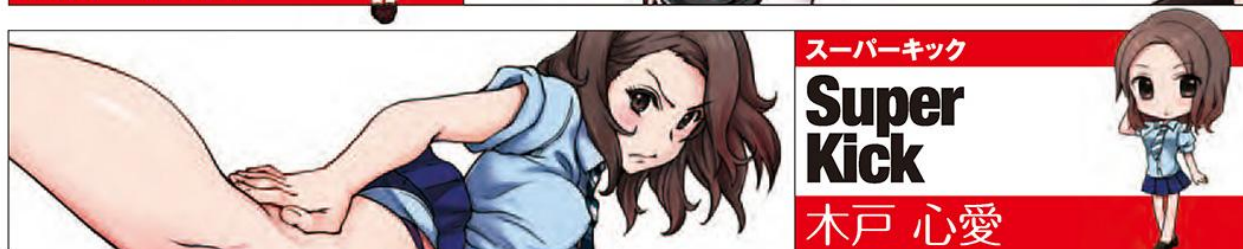
集英社ジャンプコミックス
「プロレス・スターウォーズ」全11巻
電子書籍でも配信中
<http://itunes.apple.com/jp/app/id500933173>
©みのもけんじ

Round.3

Strike

打撃系

パンチやキック、ラリアット、頭突きに肘打ち、膝蹴り、さらには全身をぶちかますタックルまで、プロレスの打撃技は何でもあり。鍛え上げられた肉体が相手を叩きのめす!





サンマルチノを下した 首折り事件の真相は：

ラリアットと言えば、不沈艦スタ
ン・ハンセンの代名詞であるが、その伝
説は1976年4月26日のマジソン・ス
クエアガーデンから始まった。当時ま
だ二介の中堅選手に過ぎなかったハンセ
ンだが、WWF世界ヘビー級王者で
あったブルーノ・サンマルチノと対戦。得
意のウエスタン・ラリアットでサンマル
チノの首の骨を折ってしまった。これで
一躍ハンセンは自らの名を売ったが、その
真相はボディスラムをかけ損ない、首
から落としてしまったことが原因で
あった。

結果的にこの事件の後、ハンセンは
戦いの場を日本に移し、さらなるブレ
イクを果たすことになる。そもそも水
平に伸ばした腕を相手の喉元に叩き
付けるというラリアットの分かりやす
さは、カウボーイスタイ
ルのスタン・ハンセンには
非常にマッチしており、
そのあまりのインパクト
の強さゆえに、なかなか
彼を超えるラリアットの
使い手は現れなかった。全
日本プロレスでハンセンと
死闘を繰り広げた小橋建
太、直接指導を受けた小島
聡などが継承者と言えるだ
ろうが、やはりハンセンの衝撃
は特別なものであった。
近年では、オカダ・カズチカが
背後から掴んだ相手の腕を引き
込みながら決めるショートレンジ式
ラリアットIIレインメーカーを開発し、
新世代のラリアットの使い手として名
乗りをあげた。果たしてハンセン以上
のラリアットの使い手は今後現れるの
だろうか？

LARIAT

ラリアット

若きハンセンをトップに
のしあげた必殺技

Foreigner wrestler who took pride in
his considerable strength and celebrity

左腕から放たれる一撃必殺！
まさにフレッキーの壊れたダンスカー



串刺し ラリアット

コーナーポストにもた
れかかった相手に対し
て放つラリアット。衝撃
を逃がすことができない
ため、すべてのダメージ
が首に集約される。ただ
し、避けられるとコーナ
ーに自爆してしまい、反撃
されてしまう諸刃の剣。

師走の翁

Comment



もちろんハンセンのイメージです
が、最近よく見られる、喰らった
側が一回転する場面も取り入れ
ました。あえて受け側にも注目し
て欲しいです。たぶん全イラスト
の中でも特にヒドイやられっぷり
なので(笑)



どけどけ
どけーいっ!
邪魔する奴は
吹き飛ばすぞ



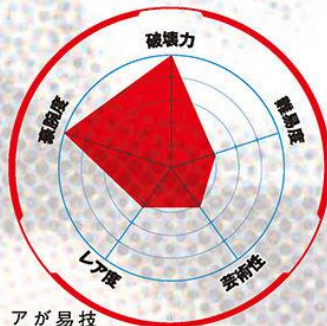
(にしだ・あつこ)

暴走カウガール
西田 敦子・18歳

京都府出身。公立高校3年生
趣味/トレーニング
部活/陸上部
好きな食べ物/スパゲティとコーラ
好みのタイプ/メガネ男子
座右の銘/少年よ、大志を抱け

ダメージポイント Damageful
首

代表的な使い手 A Typical Wrestler
スタン・ハンセン
小橋建太



技の仕組み自体はシンプルなので、難易度と芸術性は低めの採点になったが、そのシンプルな力強さこそがラリアット本来の魅力とも言える。

西田 敦子 × 小河 成美

成美「ハンセンってラリアットの前に、サポーターをグイッてやるじゃないですか。あれ、カッコいいですよねぇ」
敦子「ああ、でもウエスタンラリアットのポイントって、交通事故みたいな突然の衝撃だと思うんだよね。そこんところがサポーターの前振り付きだと違うっつーか。不意をついて放たれ

るのが魅力っつーか」
成美「えーっ!? あれがいいんじゃないですか。様式美ってやつですよ!」
敦子「いやいや、違うって!」
成美「先輩聞いてくださいよ。まず……」
敦子「あー、うるせー!(ブンッ)」
成美「のあっ!」



スーパーマンパンチ

SUPERMAN PUNCH

単なる繋ぎ技に過ぎない
ジャンピングパンチが一躍
フィニッシャーに

一足飛びに距離を詰めて
ノックアウトを狙う!

The Miss
雨宮 莉真 (16)

(あまみや・りま)

鹿児島県出身、公立高校1年生

趣味/道場破り

部活/ボクシング部

好きな食べ物/バナナ

好みのタイプ/ロマンチックな人

座右の銘/信じる者は救われる

雨宮 莉真 × 国生 綺羅々

綺羅々「拳を握らない掌底や、手首と前腕の間で殴打するペイダーハンマーはOKなのよね。それじゃ両手を組んで上から振り下ろすスレッジハンマーはどうなの?」

莉真「あれは拳骨の部分じゃないから大丈夫っしょ」

綺羅々「あと、天龍源一郎の……」

莉真「おお、グーパンチね。あの無骨な感じが格好いいんだよね〜。天龍さんのパンチは反則とか、そういう小さい次元じゃないんだよ」

綺羅々「いえ、そうじゃなくて。前から疑問だったんだけど、グーパンチって言うけど、パンチがグーなのは当たり前のことじゃない?」

莉真「ぐっ!?!」

綺羅々「グーじゃないパンチはあるの? チョキ?」

莉真「チョキで殴ったら指が折れるだろ」

綺羅々「それじゃパー?」

莉真「それも一緒だって!……いや、でも指を揃えて相手の喉元の柔らかいところを狙えば、意外と使えるような気がする。新必殺技・パーパンチの完成だ!」

綺羅々「それって地獄突きなんじゃないかしら」

プロレスでは禁止されているパンチだが:

ありとあらゆる攻撃が有効とされているプロレスだが、その中でも握り拳での殴打は禁止技となっている。だが、その一方で「5カウント以内の反則」はルール上では認められているため、実質的にはパンチングも容認されていると言えなくもない。

若手時代の獣神サンダー・ライガーと船木誠勝が骨法から取り入れ、特に第2次UWFでは大いに活用されたのが掌底(掌打とも)だ。拳を握るのではなく、手の平の下の部分で叩き付けるため、これも反則にはならない。

非常に曖昧な立場にあるため、プロレスにおけるパンチは決してフィニッシュホールドにはなり得なかった。ディック・マードックのヘッドロックパンチ、ザ・グレート・カブキのアップバーカットなどは試合を組み立てる繋ぎ技であり、アントニオ猪木やテリー・ファンクのナックルバートは激情を表現する一種のアピールにも近い。そんな中で、パンチの新たな可能性を見せたのが、このスーパーマンパンチだ。相手に向かってジャンプしながら放つパンチで、主に総合格闘技において用いられていたがプロレスにも取り入れられた。代表的な使い手はWWEのロマン・レイנס。総合格闘技では奇襲技であるスーパーマンパンチだが、レイנסは予告バ

フォーマンス付きで放つ。観客へ見せることを重視したプロレスならではのアクションであると言えるだろう。



アッパーカット

下方からかち上げるようにして、顎めがけて拳を当てるボクシングのテクニック。もう一方の手で相手の頭を捕らえて放つことも。同様のムーブを肘で行なう場合はエルボースマッシュと呼ばれる、主に英国出身のレスラーが用いることが多い。

ナックルパート



大きく弓を引くように拳を振りかぶってから放つ大振りなナックルパンチ。アントニオ猪木の得意技の一つだが、これも厳密には反則技である。意図的に相手の額を割って、流血に持ち込むことも可能で、時に鉄拳制裁という名でも呼ばれた。

ダメージポイント
顔面

代表的な使い手
ロマン・レインズ

あたしの拳で眠れっ！



師走の翁
Comment



日本のプロレスでは決してフィニッシュホールドになり得ないであろうパンチというシンプルな技が必殺技になる。そこがいかにアメリカ的ですね。観る側に非常にプロレス脳が求められる技だと思います。

フォーム自体はフライングフォアアーム、いわゆるジャンピングエルボーとも似ているが、相手に当てる部位が明確に異なる。

肘の打ち込み方によって 名称が異なるエルボー攻撃

プロレスにおける最もポピュラーな打撃技がエルボー、すなわち肘打ちだ。膝と並んで人体の中では特に硬い部位であり、ほとんどの格闘技では頭部への肘打ちは禁止されている。例外としてタイの国技・ムエタイがあるが、それゆえにムエタイを立ち技最強の格闘技と呼ぶ向きもあるほどだ。

プロレスのエルボーは非常にバリエーションが豊富で、打ち込み方によって名称が異なる。正面に向かって放つエルボーバット、下からカチ上げるエルボースマッシュ、上から落とすエルボースタンプが基本系。三沢光晴はダッシュから決めるランニングエルボー、回転式のローリングエルボー、左右のワンツーエルボー、場外へ放つエルボースイス、シールドなど豊富な肘技を誇った。

さらにダウンしている相手に向かって落とすのは、エルボードロップと呼ばれるが、これも使い手によって様々なアレンジが加えられ、独自の技になっている。

古くはジョニー・バレンタインやアブドーラ・ザ・ブッチャーがフィニッシュホールドとして使用していた毒針エルボーがあるが、武藤敬司はシンプルなエルボードロップにダイナミックな動きを盛り込んだフラッシングエルボーを開発。その他にも側転からのスペースローリングエルボーなど、オリジナリティある動きでファンを沸かせた。

ダウンしている相手の上で見栄を切って、リング上を二往復してから放つザ・ロックのピープルスエルボーは「スポーツエンターテインメント業界で最もシビれる技」と呼ばれるが、これも武藤のフラッシングエルボーを元としている。

クイーンマッドネス 大家 絵里 (おおいえ・えり) (18)

山梨県出身。公立高校3年生
趣味／映画鑑賞
部活／野球部(マネージャー)
好きな食べ物／和食も洋食も好き
好みのタイプ／人付き合いが上手い人
座右の銘／威風堂々



師走の翁 Comment



エルボーは打撃技としてのエルボーバットなどバリエーションも豊富ですが、ここは武藤敬司のフラッシングエルボーです。空中で足をバタつかせているのを、どうやって絵にするのが難しかったですね。

大家 絵里×江洲 百合奈

絵里「エルボーの名手として名前を挙げるとすれば、ランディ・サベージは外せないよね」

百合奈「ああ、日米レスリングサミットでの天龍との試合は凄かったもんね」

絵里「あれは天龍の日本的で骨太なスタイルと、ショーマンながらも試合巧者なサベージのスタイルがうまく噛み合った奇跡的な試合だったわよね」

百合奈「それにチョっカイをかける女子マネージャーのシェリーも可愛くてねえ。サベージと言えば、清純派のミス・エリザベス、派手な悪女のシェリー・マーテル、金髪美女のゴージャス・ジョージと女子マネが何人もいたじゃない。やっぱり私はサベージの横に寄り添って試合を見守るエリザベスが可愛くてねえ。絵里ちゃんは誰が一番好きだった？」

絵里「いや、私は女の子にはあんまり興味ないかな……」

瀕死の相手の首筋に深々と突き刺さる毒針

BOWDROP エルボードロップ

ダイビング
エルボー



スプリング
ボードエルボー

コーナーポストからのエルボーには正面飛びと背面飛びがあるが、前者のランディ・サベージと、後者の天龍源一郎は、1990年に東京ドームで名勝負を繰り広げた。

倒立してロープに倒れ込んだ反動を利用して背面から飛んでくるスプリングボードエルボーは、近年生まれたエルボーの新しいバリエーションの一つだ。

落差を利用して放つ
首狩り式の肘落とし

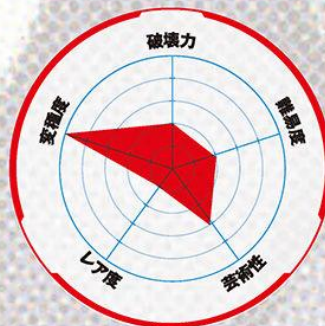


ダメージポイント Damage Point

首、胸など

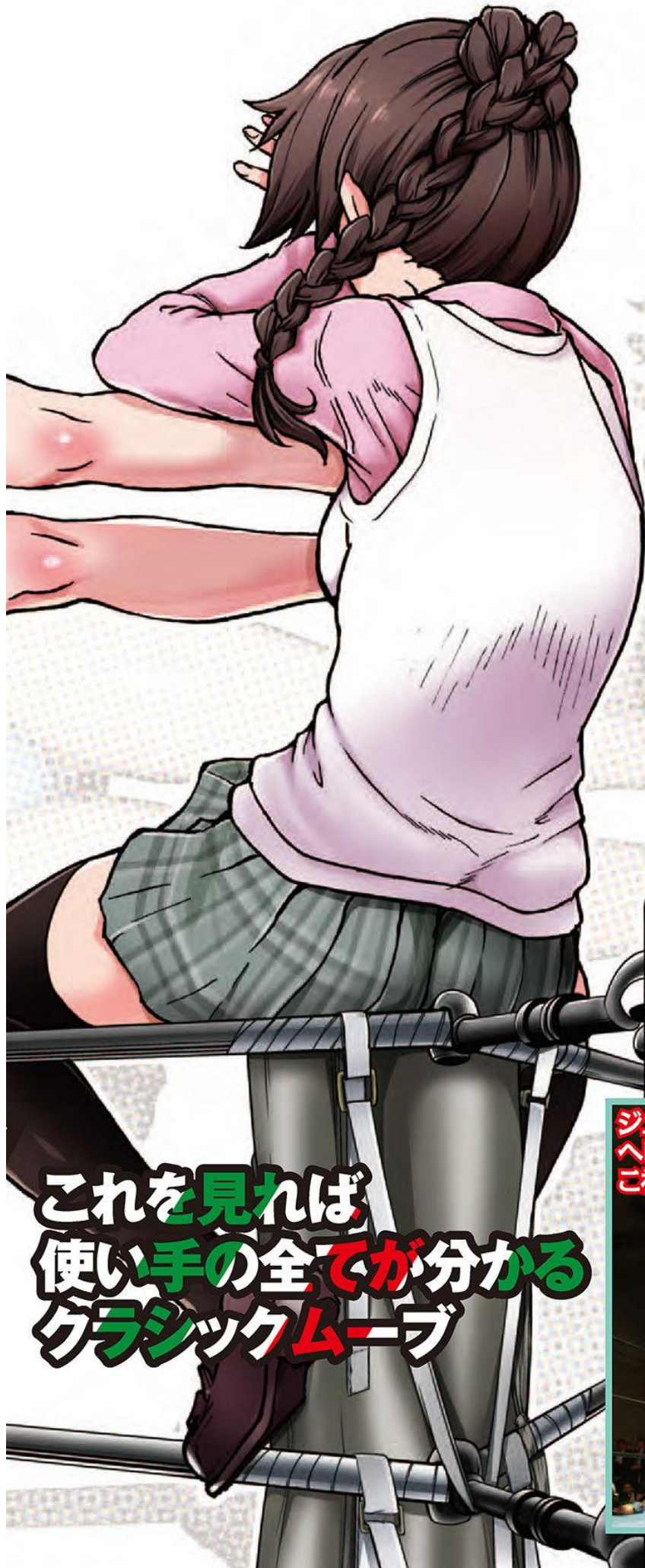
代表的な使い手 A Typical Wrestler

アブドーラ・ザ・ブッチャー
ランディ・サベージ



現在のプロレス界において、普通のエルボードロップ単体ではなかなかフィニッシュにはならないが、そこから生み出された派生技は豊富。





これを見れば
使い手の全てが分かる
クラシックムーブ



ミサイルキック

抜群の跳躍力で知られるアントニオ・ロッカが開発したコーナーポストから放つドロップキック。片足で蹴る場合はライダーキックと呼ばれるが、これはもちろん仮面ライダーに由来するもので、海外では用いない呼称だ。



ジョン・ウー

相手を突き飛ばすように下から放つ、SUWAの正面飛びドロップキック。『男たちの挽歌』『レッドクリフ』で知られる映画監督ジョン・ウーのワイヤーアクションのように相手が吹き飛ぶところから命名された。

師走の翁

Comment

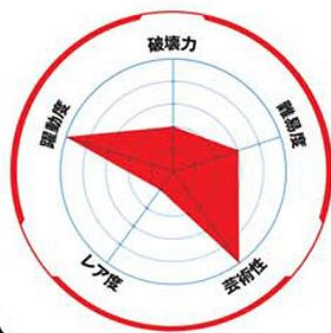


プロレスの漫画やゲームに限らず、普通の漫画の中などでも描かれることが多いので、あえて普通に立っている相手へのドロップキックは避けました。コーナーに座っている相手へ仕掛けるオカダ・カズチカ式です。

ジュニア戦士は華やかに
ヘビー級は迫力満点に!
これぞプロレスの基本技



ドロップキックはプロレスラーならば誰もが使うオーソドックスな技ではあるが、それゆえに名手とそれ以外の美しさには露骨に差が出てしまう。



正面飛び、横っ飛び、一回転など
使い手の数だけフォームがある!?

プロレスの興行を観ていれば、必ずお目にかかるのがドロップキックだ。プロレスを知らない人間であっても、その名前を聞いたことがあるほどメジャーな技だが、元々はラグビー用語で、ボールを地面にバウンドさせてから蹴るプレイのことを指す。

その起源は1930年代にアメリカ東部で活躍したジョー・サボルディマで遡るが、広く名手として知られたのは、ペドロ・モラレス、アントニオ・ロッカ、スウィート・ダディ・シキら60年代に活躍したレスラーたち。

大まかな分類では、横っ飛びで相手にキックを決めた後で前受け身を取るスタイルと、仰向けに飛んで後ろ受け身をスタイルの二つに分けられる。自爆した場合のダメージが大きいめか、現在では横っ飛び式が主流となっているが、その中でも三沢光晴やダグ・フーナスはキックした後に空中で

一回転するスタイルで知られ、使い手ごとに微妙に

フォームが異なっている。

基本的には相手の胸元を狙って放たれるが、跳躍力のある

選手は相手の顔面を的確に打ち抜く。

現在ナンバーワン級のドロップキックの名手と言われるオカダ・カズチカに至っては、

コーナーポストに座った相手

にまで決めてしまうのだから驚きた。

非常に華やかな技ではあるが、かつての全日本女子プロレスの前座試合においては、エルボーやキックなど限られた技しか使用してはならないという暗黙の了解があり、ドロップキックを連発しての押さえ込みで勝負を決するのが定番パターンの一つであった。

フライングウィッチ
(さくらい・ちかこ)
桜井 千佳子
16歳



愛知県出身。公立高校1年生
趣味/貯金
部活/陸上部
好きな食べ物/カレーライス
好みのタイプ/お金持ち
座右の銘/特にないです

ドロップキック

桜井千佳子×カ石 桃華

桃華「ドロップキックってボディスラムや逆エビ固めなんかと並んで、新人レスラーがまず真っ先にやる技だね。だから何となく簡単にできそうに見えるけど、よくよく考えてみたら、あんな高いところからマットに落ちるわけで、結構怖いと思うのよね。それも自分から飛び上がるわけじゃん。結局ドロップキックって相手へ与えるダメージ以上に、仕掛ける側がキチンと受け身を取れるのか、そこまでレスラーとしてのトレーニングを積んだかの証明だと思うんだ。チカちゃん、どう思う?」

千佳子「え、特にありません」

代表的な使い手 A Typical Wrestler

ペドロ・モラレス
オカダ・カズチカ

ダメージポイント Damage Point

顔・胸など



東洋の神秘カブキが用いた
トラースキックが今では
海外マットの人気技へ！

SUPER KICK

スーパーキック

テキサスマットで
大いにブレイク！

現在はスーパーキックというネーミングが広く浸透しているが、元々はザ・グレート・カブキが得意としていたトラースキック。押し込むという意味のTHRUSTが冠されており、初期はトラースキックとも呼ばれていた。横向きの構えから顔面を目標に蹴り上げるフォームは空手の足刀蹴りに近い。

さて、この日本生まれのオリジナルな技が、一体いつの間にスーパーキックなる海外の流行技になったのか。その真相は、カブキと同時期にテキサス州ダラスで活動していたクリス・アダムスがまんまとバクツてしまったせいだと言われている。アダムスは蹴りを放つ際に手の平で太ももをバチンと打って、まるで蹴りの音のように見せるという、後世まで末永く残るテクニクを開発。新日本プロレスなどにも来日し、初代タイガーマスクと戦ったが、日本のファンにとってはあまりインパクトを残すこともなく姿を消したレスラーであった。この他に、ハル園田、谷津嘉章、ケン

さあ、始めようか！
甘く奏でるミュージック

師走の翁
Comment



伝統的なトラースキックではなく、近年のスイート・チン・ミュージックのイメージです。特に注目して欲しいのは、この自分の太ももを叩いている右手ですね。プロレスファンならばニヤリしてしまうのでは？

ダメージポイント
顔面・首

代表的な使い手
ザ・グレート・カブキ
ショーン・マイケルズ

ドー・ナガサキら、ダラス地区で活躍する日本人レスラーはこそぞってトラースキック、スーパーキックを用いていた。その後、スーパーキックはさらに新しい名前をもって大ブレイクを果たす。ご存知WWEのスーパースター、ショーン・マイケルズの必殺技スウィート・チン・ミュージックである。マイケルズは技の前に大きく足踏みを行い、まるで走り幅跳びや高飛びの選手が拍手を要求するように、会場の熱狂を誘うアピール付きで放つ。ちなみにマイケルズの出身地はテキサス州サンアントニオであり、やはりトラースキック、スーパーキックは、テキサスと縁が深い技のようだ。

フォームを真似るだけなら簡単だが、的確に相手の顎を打ち抜いてこそスーパーキック。ジャストミートさせれば破壊力も間違いだ



木戸 心愛 × 鉄川 美友

心愛「本来の技名はトラスキック。正確に発音するなら、トゥラストゥキックね」

美友「と、とらす…?」

心愛「英語がうまく発音できない日本人ならではのネーミングとして、オースイスーパーブックスってのもあるわ。本来は豪州式原爆固め、つまりオージーパーブックスだったけど、なぜかオースイになっちゃったってわけ」

美友「お、おーすい?」

心愛「それとニールキックも本当は、ホイールキック(回転蹴り)か、ヒールキック(カカト蹴り)が語源らしいわよ」

美友「に、日本語で頼む」

東京都出身。公立高校2年生
趣味/ギター
部活/軽音部
好きな食べ物/チリコンカン
好みのタイプ/モリヤイケメンでしゃ
座右の銘/NO MUSIC, NO LIFE



失恋症候群 **木戸 心愛** 17歳
(きど・ここあ)



延髄斬り

相手の首筋を狙って放つジャンピングハイキック。アントニオ猪木がモハメド・アリとの格闘技世界一決定戦で多用したローキックをヒントに開発したという。的確に延髄直撃させれば、相手は脳震盪状態に陥る



カウンターキック

一直線に向かってくる相手に対して、高々と掲げた足の裏をぶつける。ジャイアント馬場は16文キックの名称でフィニッシュホールドとしてた。海外ではビッグブーツとも呼ばれ、大柄な選手が好んで使用する。

もつと鍛えて
出直して来い！



(うらしま・あおい)

清く正しく遅しく 浦島 蒼依(16)

東京都出身。私立高校1年生
趣味／ボランティア活動
部活／風紀委員会
好きな食べ物／プロテイン
好みのタイプ／嫌いな人はいない
座右の銘／切磋琢磨

師走の翁

Comment



プロレスの膝蹴りにも色々あるんですが、今回は蒼魔刀です。ほんの気持ち程度ではありますが、仕掛けている側の女の子の前髪をHARASHIMAっぽくしてみました(笑)



蒼く静かに輝く刃、人ならざる魔を祓う

プロレス界の膝蹴りブームの嚆矢となった技とは？

日本の格闘技において膝蹴りを定着させた第一人者と言えば、60〜70年代にキックボクシングブームを巻き起こした、キックの鬼・沢村忠だろう。空手からキックボクシングに転向した沢村はムエタイ王国・タイでの修行中に真空飛び膝蹴りを開発したという。

一方、プロレス界ではジャンボ鶴田がジャンピングニーバットを得意としたが、決めた後の「オー」というアピールの朴訥ぶりもあってか、フィニッシュとしては定着しなかった。その後、長らくプロレスラーの膝蹴りに脚光が当たったことはなかったが、偶発的に新たな技が発明される。2001年1月28日に太陽ヶ丘戦で武藤敬司が披露したシャイニングウイザードである。片膝を突いた相手の、その膝を踏み台にして決める飛び膝蹴りは、誰も想像すらしなかった斬新さゆえに熱狂をもって迎えられたが、武藤いわく「試合の流れの中で偶然生まれた技」だったという。

その後、膝蹴りはひとつの鉱脈として、様々な新技が開発されていく。中邑真輔のボマイエ(現・キンシャサ)、ヒデオ・イタミとKENTAのgo 2 sleep、そしてHARASHIMAの蒼魔刀だ。

蒼魔刀は尻餅をついている相手に走り込んで両膝を叩き込むという非常に危険な大技。爽やかな笑顔でファンを魅了しつつ、リング上では躊躇なくエゲツない攻撃を仕掛ける。その

二面性こそがHARASHIMAの真骨頂だ。



ダメージポイント **Damage Point**

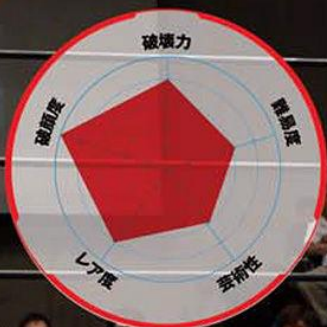
顔面

代表的な使い手 **A Typical User**

HARASHIMA

Soumatou

エプロンからトップロープに飛び乗って放つスワンダイブ式の蒼魔刀も存在する。その破壊力は計り知れない



顔面に両膝を叩き込む
狂気に満ちた危険技

蒼魔刀

ニーバット

いわゆる飛び膝蹴り。相手の顔面に膝を打ち付ける。ジャンボ鶴田の得意技で、その後、秋山準へと受け継がれた。プロレスにおける元祖はキラー・カール・クラップ。



下から突き上げる膝蹴り。主に顔面や腹部を狙う。総合格闘技ではクリンチ状態から不意をついて放たれたニーリフトでKO決着する場面も見られる。高山善廣の得意技。

ニーリフト



浦島 蒼依 × 月詠 虎

虎「しかし、蒼魔刀というのも大仰な名前ですね」

蒼依「どうだ、カッコいいだろう？」

虎「まあいいんじゃないですか。それにしても膝蹴りには独特の技名が多いんですね。シャイニングウィザード、go 2 sleep」

蒼依「ブサイクへの膝蹴りとかな」

虎「キチンシンクなんて単なる台所の流し台ですよ」

蒼依「膝蹴りじゃないけど、リアットの別名のクローズラインというのは

何なんだろうな。日本語だと洗濯ヒモじゃないか」

虎「スライス・ブレッドNO2も食パンですね」

蒼依「あれは人類が発明したもので、食パンの次に素晴らしいものという意味らしいぞ」

虎「なんでそんなどうでもいいことは知ってるんですか」

蒼依「なんでかって？ それはな、ちゃんと勉強してるからだ！」

虎「いや、それはテストには出ないでしょう」

相手の仕掛ける攻撃に
カウンターで決めれば
ダメージは倍以上に!

SP スピアー

一瞬でも隙を見せれば
敵将の土手っ腹を貫いて
首級を挙げる長槍

ヘッドバット

相撲の立合いも一種のタックル合戦だが、そこには頭突き要素も併せ持っている。正面から意地をぶつけ合う姿に客席は大いに沸き立つ。プロレスラーとしては、ボボ・ブラジルや大木金太郎が得意としていた。

フロントネックロック

スピアータックルの返し技として、腹部目がけて飛び込んできた相手の首を脇でキャッチして、そのまま頸動脈を締め上げるフロントネックロックがある。うまく掴まえば一気にフィニッシュまで持って行ける。

平成の世に甦った 殺人タックル伝説

アメリカンフットボール出身のレスラーが得意とするスピアーと呼ばれるタックルだが、これは本来アメフトにおいては禁止されているスピアリング(故意にヘルメットでタックルをすること)に由来している。

スピアーの使い手と言えば、WCWでデビュー以来、173連勝を誇ったゴールドバグで、彼もアトラクタ・ファルコンズに所属するアメフト選手だった。

スピアーはアマレスにおけるタックルとは異なる技術体系の技で、アマレスタックルがテイクダウンを奪うタックルで、相手の下半身を掴まえてグラウンドで有利なポジションに移行するのが目的なのに対して、腹部にダメージを与える打撃技となっている。

近年、スピアーをフィニッシュホールドとして広めたのがゴールドバグであることに異を唱えるプロレスファンはいないだろうが、プロレスの試合でのタックルの起源は60年以上前に遡る。プロフットボール殿堂にも選ばれた、タックル王レオ・ノメリーの殺人タックルである。

1950年にアメフトからプロレスに転向したノメリーは、当時936連勝を達成中だったテーズの記録を反則勝ちながらも止めるなど活躍。さらにアメリカ遠征中の力道山が数回戦の試合の中で数少ない敗北を喫した相手であった(レオ・ノメリー、タム・ライス、フレッド・アトキンスの3名には勝てなかったと言われている)

黄金崎 未来×嶋中 聡美

未来「日本だとスピアーってアマレス出身の選手がやってるイメージがあるよね。中西学とか杉浦貴とかさ」

聡美「そもそも日本にアメフト出身のプロレスラーっていたっけ?」

未来「んー、大森隆男とか中牧昭二とか? ラグビーの方がまだ数多いイメージあるね。グレート草津に阿修羅・原でしょ」

聡美「古いな! 最近でも田中将斗とか近藤修司とかいるでしょ!」

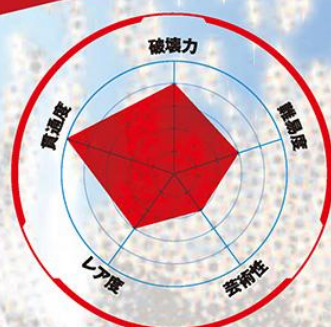
未来「KENSOとか」

聡美「あ、うーん、KENSOなあ……」

殺人タックル
スピアールとは、
ななは、
打撃技

正義の鉄槌 黄金崎 未来 (16歳) (こがねぎ・みく)

愛知県出身。公立高校1年生
趣味／雑誌の鑑賞
部活／フットサル部
好きな食べ物／Tボーンステーキ
好みのタイプ／よく食べる人
座右の銘／点滴岩を穿つ



テイクダウンを奪うアマレスタックルではなく、打撃技としてのスピーアタックルには、一瞬でリングの対角線を駆け抜けるスピードと、相手を吹き飛ばすパワーが求められる。

師走の翁

Comment



最初は勢い重視でスピーアを仕掛けている背中側からのイラストでしたが、女の子の顔が見えないので今の構図になりました。日本よりもアメリカの方がフィニッシュとして多用されていますね。

ダメージポイント Damage Point

腹

代表的な使い手 A Typical Wrestler

ゴールドバーク

WAR
スペシャル
illustrated by さかなこうじ



『俺のプロレスネタ、誰も食いつかないんだが。』

さかなこうじ

インタビュー

Interview

激動の1993年を舞台に、熱狂的なプロレスファンの中学生・虎山仁と、謎の美少女・東雲たま子を中心に繰り広げられるプロレスファンコメディ『俺のプロレスネタ、誰も食いつかないんだが。』創作秘話！

text by Minami.K

さかなこうじ

①2012年②鬼さんこちら③滋賀県④くらげパンチ⑤何でも好きです。最近よく見るのはWWE⑥天龍源一郎⑦カンヌキ式ヘッドバット⑧普通自動車免許⑨プロレス観戦⑩@osushi_survival



①漫画家デビュー年②デビュー作タイトル③出身地④主な掲載誌⑤好きな団体⑥好きなプロレスラー⑦好きなプロレス技⑧タイトル歴⑨趣味、特技⑩Twitterアカウント

天龍源一郎の存在が俺プロの物語を決めた

「さかな先生が漫画家として影響を受けたのはどなたでしょうか？」

「それはやっぱり高橋留美子先生ですよ。絵を見れば一目瞭然でしょうけど。90年代の少年サンデーが好きで、ゆづきまさみ先生や椎名高志先生も好きでしたね」

「確かに『俺プロ』からは90年代サンデーのドタバタっぽさが感じられますね。」

「意図的に絵作りを古めにしてるところはあります。プロレスというテーマ自体がちよっと取っ付きにくい部分もあるのでも、絵柄を『ミカル』に見せよう」と

「プロレスにハマったキッカケは？」

「昔から父が格闘技好きだったんですが、私はあまり興味が持てなかったんです。そんな時、学生時代に偶然テレビでジュニアヘビー級のアクロバティックな試合を見て、衝撃を受けたんです。その後、レンタルショップに行ってプロレスビデオを漁ったり、学校帰りに図書館で週刊ゴングを読んだりしながら次第にハマっていった感じですね」

「作中のたま子のようにお父さんの影響が強かったのかなと思ったんですが。」

「父は格闘技、特にK-1が好きでプロレスには批判的でした笑」

「最近のプロレスはご覧になってますか？」

「よく観ているのは、DDT、大日本、新日本ですね。私は出身が関西なんですけど、この連載が始まる時に新日の両国国技館（2014年10月13日）に誘って頂いたんです。棚橋弘至がオカダ・カズチカから

「WGPを取り戻して『ただいま！』とマイクアピールした時の。実はそれが初めて観た新日のビッグマッチでした」

「先生の生涯のベストレスラーと言えは？」

「うーん。すぐには答えられませんが、今はやっぱり天龍さんが、どのフシにおいても凄いなと思いますね」

「主人公の虎も熱狂的な天龍ファンですね。」

「この作品もまず90年代を舞台にしようと思ったのが、長州力、天龍源一郎、三銃士といった、今の読者も知っているプロレスラーが多かったことも理由のひとつなんです。その中で天龍源一郎という選手は全日出身で、新日に上がり、WARを旗揚げし、FMWにも参戦する。どの団体においても大きな存在ですね。そこで、この漫画は天龍さんをメインに描かずにはいけないなと。連載終了と同時に引退されましたけど、この連載を続けていくことで私自身がどんどん天龍さんにハマっていき、共に同じ時間を歩めたのは運命的だと思いましたね」

プロレス史における93年というキーワード

「企画自体は編集主導だったとか？」

「編集さんから『何かに猛烈にハマってい

「天龍さんの引退と連載終了が重なったのは運命を感じました」

なっています。

「連載開始当初は単行本1巻分で終わるかと思っていたので、ここから先は自分でも意外な展開でした。FMW大仁田信者で顧問の犬童先生も最初は1話限りのゲストのつもりだったんです。色んなタイプのファンが描けて2巻は楽しかったですね」

「作中ではプロレスファンたちは、観るのが好きなシンクロー型、無心に愛情を注ぐビリーバー型、自分もレスラーを目指すドリーム型など様々なタイプに分類されます。先生はご自身を誰に近いタイプだと思われますか？」

「私は試合のデータはあまり覚えていないし、楽しく観られればそれでいいというシンクロー型ですね。人間味あふれる選手がぶつかり合う、感情的な試合が好きなんです。長州対天龍や、最近だと新日の柴田勝頼と後藤洋次郎の試合は良かった！」

「石井智宏とかお好きでしょ？」

「大好きです！ マイケル・エルガンもいいですね」

「いわゆるU系と呼ばれるスタイルは？」

「実は苦手でした。でもリングスでのヴォルク・ハンとアンドレイ・コピロフの試合を見て、凄いな、知恵の輪みたいだなと思うようになって、そこから次第に魅力に気付いていったんです」

「天龍のチョップ、川田のキック 痛みが伝わる技が好きです」

たま子が初公開した
バーニングハンマー!?

—本ムックのテーマは「萌えとプロレス」ですが、『俺プロ』でもセーラー服のたま子が実際にプロレス技を仕掛けます。

「プロレスファンであることを隠していた彼女が核心に触れられそうになる場面、最も危険な技をやらせようと思つてバーニングハンマーを描いたんです。ところがバーニングハンマーが実際に初公開されたのが98年で、作中の設定だとまだ存在しない技だったんですよ。それで慌ててタイガードライバー91に描き直したことがありました(笑)」

—作中のプロレス描写はリアアットやニードロップなど打撃技が中心で、実際に真似できそうなものが多い中、このタイガードライバー91は群を抜いて危険ですよな? (笑)

「ここはストーリー的に大事な場面でしたから、とにかく一番エグい技にしよ」と

—プロレス技は絵にするのが大変だったと思いますが?

「連続カットで描かないと伝わらない複雑な技は避けて、まず「コマで伝わる技を選ぶのを重視しました。それとたま子に飛び技は使わせないというのも

ありましたね。彼女はハンセンやプロディといったパワーファイターが好きだし、彼女がプロレスを観ていたのは3歳の頃、年代で言うと79年前後なので、華やかなジュニアヘビーの技は避けました」

—その他にこだわった点では?

「技に対することではありませんが、物語の終盤にメンバーがプロレス観戦を計画する場面、全女とNOWと剛軍団の名前が出てくるんですけど、こういった場面では実際にこの時期に関東などの団体が興行を行っていたか調べています。マニア的な視点で見ている方も多いでしょうから」

—ちなみに先生のお好きな技は?

「痛みや重みが伝わる技ですね。天龍源一郎の水平チョップ。川田利明のキチンシンク。石川修司のカンヌキ式ヘッドバットは両腕をロックして逃げられなくしてヘッドバットを決めるのがエグくて好きです」

—今回のイラストではWARスペシャルを描いて頂きました。

「作品の中心に天龍さんがいましたし、絵としての見せやすさで選びました。ルチャリブレのジャベ、レイネーラ(人工衛星式背骨折り)も考えたんですけど」
—またマニアックな技が出てきましたね(笑)

四天王プロレスを描く
予定だった幻の第三部

—ご自分の中にあつたテーマは全て描ききった感じですか?

「実は3巻分の連載期間があれば、四天王プロレスをテーマにしたエピソードを描くつもりでした。でも、そうすると物語がやや暗くなりそうだし、明確な答えも出ないテーマなので、今となっては2巻でまとめたのが良かったのかな」と

—どういった内容だったんでしょう?

「1巻ではプロレスファンであることを隠していたたま子がカミングアウトし、2巻では自分とは反対の思考を持つファンとも最後は友達になるじゃないですか。何のしがらみもなくプロレスを観られるようになるけれど、彼女は変わってしまうんじゃないかと。四天王プロレスで過激さを追いつめた93年のプロレスファンのように」

—それも93年ならではのテーマですね。

「たま子ももっとプロレスが観たいと思いつつ、どこか最初の純粋さが薄れていく。そこでプロレスの本質とは何だろう、という話になっていくんです。過激さを求めることが正解なのか。でも、それを不正解だと言ってしまうと、命を削つ

て戦っているプロレスラーを否定することになる」

—だいぶシリアスな展開ですね。

「それに答えは出せないのでからね。全日本やノアで獲得したファンだって本物ですし、その一方で三沢さんのことも考えると……」

—四天王プロレス編は幻に終わりましたが、最終回では虎がプロレスへの興味を失ったかのような素振りを見せました。

「これもプロレスファンの持つテーマの一つだと思うんですよ。自分もこの時期、同じような状態でプロレスを観られなくなっていて、情性で観ているような感覚になってたんです。次の連載の準備もあるからプロレスのことを忘れて、頭を一度空っぽにしなきゃいけなくて」

—徳光康之先生の『最狂超プロレスファン烈伝』も90年代前半を舞台にプロレスファンを描いていますが、その影響というのはありますか?

「実は『俺プロ』1巻の構想がまとまった頃に編集さんに薦められて初めて読んだんです。終盤で同じくプロレスを卒業するというテーマを描かれていて、私も同じ気持ちだったので、徳光先生には心刺されましたね」

—あの作品も世間の偏見や論争、プロレスファンとは何かをテーマにしています。

「そうですね。決してフォロワーというわけではなかったんですが、偶然にも私が同じようなテーマを描いていたことで、名前を並べて頂いて、『俺プロ』を知ってもらう機会が得られたのはありがたいですね」

「がたいですね」

—『俺プロ』も烈伝『同様に、書き下ろしの続刊が出る可能性はあるんでしょうか?」

「本編は綺麗に終わっちゃったんですけど、同人誌では番外編を描こうかと思つてます。具体的な時期はまだ分からないんですが」

—それでは次の連載の内容は?

「これまでと全く違うジャンルなので、資料を当たつての下調べが大変ですね。実は第1話のネームに3ヶ月以上かかっていて難航しています」

—新連載、期待しております!



新潮社パンチコミックス
「俺のプロレスネタ、
誰も食いつかないんだ。」
全2巻
©さかなこうじ

Round.4 Submission Quick

サブミッション&丸め込み系

テコの原理を活かして関節を極めるサブミッション、相手の隙を突いて丸め込むクイック。
一瞬で試合を終わらせてしまうこともあるグラウンドの攻防からは目が離せない。



スリーパーホールド

Sleeper Hold



風祭 あゆむ

サソリ固め

The Sharp shooter



周防 桐佳



クロスヒールホールド

Cross Heel Hold



藩 比狼美

スモールパッケージホールド

Small Package Hold



小河 成美



フェイスロック

よく混同されがちだが、フェイスロックは腕で相手の頬骨を締め上げる拷問技。三沢光晴が得意としていた他、UWFでは腕関節を極めるチキンウィングとの複合技なども見られた。まれに観客から「落とせ」コールが起こることがあるが、頸動脈を絞めるスリーパーと違って、フェイスロックでは失神KOは起こり得ない。



しっかりとスリーパーホールドを決めたまま、さらに両足で相手の胸をクラッチすることで脱出を許さない。古くから存在する技ではあったが、総合格闘技でもしばしば見られ、90年代に入ってから一気に広まったと言われている。



胸締めスリーパー

名手は通常のスリーパーと
チョークを使い分ける



スリーパーホールド

SLEEPERHOLD

一瞬で深い眠りへと誘う帝王の裸絞め

プロレスのベーシックな技スリーパー
総合格闘技の世界を席巻したチョーク

プロレスの基本技のひとつであるスリーパーホールド。両腕で相手の首の左右にある頸動脈を絞め上げて血流を止め、まさに眠るように落としてしまう技だ。AWAの帝王と呼ばれたバニング・ガニア、そのガニアからAWA世界ヘビー級王座を奪取したニック・ボックウインクルら試合巧者たちが得意とした。

よく勘違いされているが、相手の気道を絞めて窒息させるのはチョークスリーパーであり、全くの別物。こちらは晩年のアントニオが得意としたが、あの天龍源二郎さえも絞め落としており、魔性のスリーパーと呼ばれた。チョークスリーパーは反則技だが、ナックルアローと並んで、猪木の激情を表現する技として多用され、近年ではチョークを得意とする選手も非常に増えてきた。

またスリーパーホールドは総合格闘技のリングでも活用されているが、特にグレイシー柔術はチョークスリーパーを武器に脚光を浴びた。まず93年にホイス・グレイシーが第1回UFCを制覇。次いで兄のヒクソン・グレイシーが95年のバリ・トゥード・ジャパンに出場し、日本人レスラー、格闘家たちを次々とチョークで下していく。テイクダウンを奪い、マウントポジションからの打撃、それを嫌った相手が背中を向けた瞬間に首筋に絡み付く。あまりに効率化された技術体系に、日本のプロレス・格闘技ファンは震えた。まさに黒船襲来だったのだ。

余談ながら、カール・ゴッチはチョークスリーパーのことを「最も速やかに人を殺せる技」と称したという。



風祭 あゆむ × 藩 比狼美

あゆむ「柔道の裸絞めもプロレスのスリーパーホールドと同じ原理なんだけど、よく稽古や試合でオチちゃう人っているのね。で、あれってオチる瞬間は物凄く気持ちいいんだって」

比狼美「はあ」

あゆむ「ふわふわした夢心地で、オチてる間は本当にお花畑に行ってる夢を見ることもあるって言うよ。つーことでさ」

比狼美「ギクッ」

あゆむ「試しにちょっと受けてみない？」

比狼美「え、はい……」

あゆむ「それじゃ、よっと！」

比狼美「うぐぐ。お願いですから、あんまり無理しないで下さいね」

あゆむ「大丈夫大丈夫。で、この話には続きがあるんだけど、絞め落とされた瞬間、下半身が緩むせいか、中には失禁しちゃう人もいるんだってさ」

比狼美「えっ、ちょ！」

あゆむ「それじゃ絞めようー！」

比狼美「助けてー！」

クラス一の悪女 風祭 あゆむ

(かざまつり・あゆむ) (17)

神奈川県出身。私立高校2年生

趣味/ゲーム

部活/合唱部

好きな食べ物/唐揚げ

好みのタイプ/ストイック

座右の銘/明日は明日の風が吹く



ほら、頑張れ！
オチちゃうぞー

師走の翁

Comment



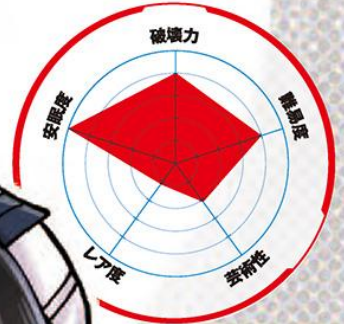
アントニオ猪木が馳浩を落としたスリーパーも参考にしました。右手の添え方、アゴで押さえ込む感じも猪木式で。僕は格闘技ファンでもあるので、スリーパーホールドには一種のこだわりがあります。

ダメージポイント Damage Point

頸動脈

代表的な使い手 A Typical Wrestler

バーン・ガニア
鈴木みのる



晩年のアントニオ猪木が得意としていたチョークスリーパーなら破壊力は文句なしの満点だが、これはもちろん反則技だ。



テキサスクローバー ホールド

仰向けに寝ている相手の足を4の字固めのように腕で固めてステップオーバーする、逆エビ固めとの複合技。身体の反りはサンリ固めよりも鋭くなるが、大変な腕の力を必要とするため、使い手は決して多くない。



サンリ固めと同じ形で足をフックした後、脇でホールドするのではなく股に挟み込む。木村健吾のオリジナルホールド。破壊力こそあったが、今ひとつ見栄えが良くなかったせいか、稲妻レッグラリアートほどは定着しなかった。



トライアングル スコピオン

サンリ固め

The Sharpshooter

危ない事件の匂いを漂わせる蠍の毒

革命天使

(すおう・きりか)

山口県出身・公立高校2年生
趣味／旅行
部活／帰宅部
好きな食べ物／ごま油おにぎり
好みのタイプ／リーダーシップのある人
座右の銘／Go For Broke

周防桐佳(17)

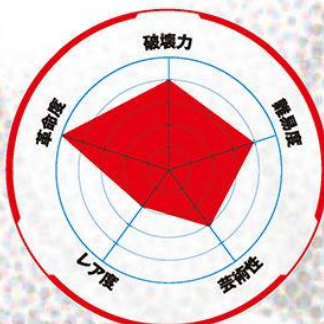


ダメージポイント Damage Point

腰、膝

代表的な使い手 A Typical Wrestler

長州力



両足をしっかりと極めて深く腰を落とす。リキリアートと並んで、長州力を一躍スター選手へと伸ば上げた二枚看板だ。

サンリ固めも、シャープシューターもプロレス界の事件の裏にサンリの影アリ？

サンリ固めと言えは長州力の代名詞だが、藤波辰巳(現・辰蔵)との抗争においては、藤波が逆に長州に対してサンリ固めを仕掛けて「他の選手の得意技を使ってはならない」という暗黙のルールを破ってみせた。

不思議とサンリ固めには事件性が伴っている。海外ではカナダ出身のブレット・ハートがシャープシューターの名前で使用していたが、この技もこの事件に深く関わることになる。97年、当時所属していたWWFから契約を解除されて退団を控えていたブレットは、団体サイドからベルト移動を強いられるが、地元カナダ・モントリオールでの試合であることから、これを拒否する。挑戦者に敗れることなく自ら王座を返上するものがブレットの意志だったが、その思惑は裏切られる。対戦相手であったショーン・マイケルズが旋回りの逆シャープシューターをブレットに仕掛けた瞬間、まだギブアップの意思表示もしていないのに強制的にゴングが鳴らされ、ブレットは王座を取り上げられてしまったのだ。いまでも語り継がれるアメリカンプロレスの暗部、モントリオール事件である。

またアメリカの大手団体WCWで活躍したステイニングもサンリ固めの名手で、スコピオン・デスロックの名で得意技にしていた。WCWはWWFとの視聴率競争に敗れ、やがて消滅してしまうのだが、団体最後の興行でメインイベントを務め、リック・フレアー相手に勝利を決めたのはステイニングのスコピオン・デスロックであった。

周防 桐佳 × 龍田 亜弥那

亜弥那「しかし、背中を反り返らせたポーズからサソリ固めて名付けたのは大したもんだよな」

桐佳「そうだろうさ」

亜弥那「それに比べて逆エビ固めてのはヘンだろ。しかも英語だとボストン・クラブって、そりゃもうエビじゃなくてカニじゃねえか！」

桐佳「なあ、ちょっと疑問をアレしていいか？」

亜弥那「あん？」

桐佳「掟破りの逆サソリ固めてあんだろ。あれさ、逆エビ固めを得意なやつに反撃した場合は……」

亜弥那「掟破りの逆・逆エビ。いや、むしろひっくり返ってエビ固めに戻るのか？」

桐佳「な？ さっぱり意味が分かんねえよな」

師走の翁 Comment



ブレット・ハートなども使いますが、もちろんイラストのベースは長州力です。両者の足が複雑に絡み合っている上に、捻りを加えて責めているので、サソリ固めはイラストにするのが難しいんですよ。

両膝を固めたまま
腰と足首まで破壊！

アタシはいつでも
先頭を歩くんだ
邪魔すんな！





複雑怪奇なサブミッションで相手を
追いつめる流麗たるグラウンド技術

日本のプロレスにヒールホールドが持ち込まれたのは意外にも古く、70年代にまで遡る。新日がブラジル遠征をした際に挑戦状を叩き付け、その後、なぜか新日の練習生になつてしまったララジリアン柔術のイワン・ゴメスが藤原喜明に伝えたものだという。

ただ、当時のプロレスファンにとってヒールホールドどころかアキレス腱固めですら浸透しておらず、関節技の有用性に皆が気付いたのは第1次UWFになつてからだった。ロープワークを行わず、相手の技を受けない、UWFという全く新しいプロレス。その後、迷走の果てに一度は夢も潰れたかに思われたが、第2次UWF旗揚げで本格的な人気に火が点く。

そこでポピュラーになつたのがヒールホールドだ。力カト固めとは言いつつ、実際には力カトをひねることで相手の膝関節にダメージを与える技だが、あまりに容易に相手の関節を破壊してしまうため、今ではほとんどの格闘技において禁止技に指定されている。

かくして今となつては幻となつてしまったヒールホールドだが、さらにレアな存在になつたのが、このクロスヒールホールドだ。リングスに来日したロシアのサンボチャンピオン、ヴォルク・ハンの得意技で、軍隊格闘技コマンドサンボの流れを汲むテクニック。ハンはこの他にも首極め腕ひしなど難解なサブミッションでリングスマットを席巻。同じくロシア出身のアンドレイ・コビョロフとの寝技の攻防は、お互いの手の内を読み合いながら優位な体勢に引き込む、まるで詰め将棋のような試合であった。

厳寒のロシアで生み育てられた 軍隊格闘技コマンドサンボの真骨頂

人間には決して鍛えられない
部位を締め上げるテクニック



アキレス腱固め

サンビストのビクトル古賀が国際プロレスに持ち込んだアキレス腱固め。その後、第1次UWFで多用されるようになった。お互いにアキレス腱固めを仕掛け合う我慢比べのような光景もよく見られる。

師走の翁 Comment



リングスファンだったので友達や弟にかけまわりましたねえ。「どこが痛いかわからない」なんて言う奴には、散々悲鳴をあげさせましたよ(笑)。イラストは足の絡み合う部分を見せるため、あえて生足にしました。

ダメージポイント
膝

代表的な使い手
ヴォルク・ハン

アングルホールド

総合格闘技の世界からWWE(当時)に転身したケン・シャムロックや、元アマレス金メダリストのカート・アングルなど、海外でも使用された。



脇固め

“関節技の鬼”藤原喜明が得意としており、海外では「フジワラアームバー」という名称で知られる。バックを取られたところにカウンターの極めることも。



藩 比狼美 × 風祭 あゆむ

あゆむ「足関節ってよく分かんない」

比狼美「それじゃ実際に試してみましょう。まずは腰に近い方から順番に……えいっ!」

あゆむ「痛い痛い痛い!」

比狼美「レッグスプレッド、股裂きです。次に膝十字固め。よっ!」

あゆむ「取れる、足が取れる!」

比狼美「で、アキレス腱固め。それからアングル

ホールド、これは足首を極めてます」

あゆむ「ぎゃあああああ!」

比狼美「で、最後にヒールホールド。カカトではなく膝にダメージが行きます。あと関節技のカテゴリからは外れますがレッグロック。これは膝裏の腱を断ち切ります。あとオマケにトーホールドもやっときますね」

あゆむ「あんた、本当は性格悪いだろ……」

北の牝狼

藩 比狼美 (はん・ひろみ)

北海道出身、公立高校2年生

趣味 / パズル

部活 / 奇術部

好きな食べ物 / サーモン

好みのタイプ / 寡黙な人

座右の銘 / 逆境こそが人格を作る



今は禁止技なんですからね
一度捕まったら脱出は不可能!変幻自在のサブミッション!

アングル
CrossHeelHold



すでに現役は退いているが、初来日した当時はとにかく何から何まで規格外で、驚きを持って迎えられたハンのサブミッション。

ウエイトの差も
残りの体力も関係なし
問答無用で試合終了!



Small Package Hold

首 固 め

ほんの一瞬の隙を突いて
ピンフォール勝ちを奪う
丸め込み技の美学

よく混同されがちな小包固めと
首固めだが実際は全くの別物!

相手に着実に攻撃を加えて、もう立てないであろうところまで痛めつけてから覆い被さり、レフェリーがマットを3つ叩く。これがプロレスにおける通常のピンフォール勝ちだが、相手にダメージを与えなくても、勝利を得ることは可能である。

これが他の格闘技にはない、プロレスの面白さの一つであるが二方向的に攻撃を加えられてボロボロの満身創痍であっても、不意打ちであらうが最後に上手く丸め込んでしまえば、それは立派な勝ちなのだ。

フロントネックロックの体勢で相手の首をガブリ、柔道の帯び取り返しのように後ろに引き込んで、相手の足を自らの足で固める。これがベーシックな丸め込み技、首固めである。海外ではスモールパッケージホルドと呼ばれることから、その直訳で小包固めと言われることもあるが、本来の小包固めは、仰向けになつたところを狙って、足を取りに来た相手を空中でクルリと前方回転させて、そのまま押さえる技だ。

各選手のオリジナルの丸め込み技については、外道の外道クラッチ、スベル・デルフィン、デルフィンクラッチ、ミスター・雁之助の雁之助クラッチなど、なぜか自らの名前を冠して命名されることが多いが、これは恐らく木戸修のキド・クラッチの存在が大きかったものだと思う。

独自のグラウンド技術が発展したメキシコでは、カサドーラ、ウラカン・ラナ、ラ・マヒストラルといった丸め込み技が開発された。いずれも現在では世界各国で使用されている。





静かなる優等生 小河 成美 (17歳) (おがわ・なるみ)



茨城県出身。公立高校2年生。
趣味／ダーツ
部活／クリケット部
好きな食べ物／馬刺し
好みのタイプ／男気のある人
座右の銘／小敵と見て侮る勿れ



この技自体で相手にダメージを与えることはできないが、場合によってはどんなに破壊力の高い技よりも効果を発揮する。

代表的な使い手 A Typical Wrestler

棚橋弘至
丸藤正道

ダメージポイント Damage Point

なし

小河 成美 × 西田 敦子

敦子「なーなー、まだ十分に体力が残ってるし戦えるのに、ちょっと不意打ちで3つ入っただけで負けて変じゃない？ お互いにぶつかり合って、全部絞り出して、それで立てなくなるまで頑張るのが戦いなんじゃないの？」

成美「でも、どんなに元気でも手足を縛られて身動きを取れなくなったら、もうおしまいですよ？ 身体を自由を奪われるのは死ぬことと同じですよ？ 本当にトドメを刺されないと分からないですか？」

敦子「ちょ、怖いよ。あたしが悪かったよ！」

パワーだけが強さじゃないって分かってもらえませんでしたか？



回転エビ固め

肩車状態になるように飛び乗り、そのまま一気に前転して丸め込み、両腕で足を抱える。左写真のように相手の腕の自由が利かなくするのがポイント。背後から足で相手の胴をキャッチし、後方回転するエビ固めもある。



逆さ押さえ込み

互いに背中合わせの状態、相手の腕をクラッチしたまま前方に倒れ込み、自分の背中の上に相手を逆さ吊りにする。藤波辰爾や西村修などの得意とするムーブ。海外ではバックスライドの名称で用いられる。



師走の翁 Comment

以前Twitterにあげていたプロレス落書きでも描いたんですが、リメイクではなく完全に描き直しました。リアルな形で描くと女の子の顔が隠れてしまうので、腕の位置が本来とはやや違うところにあります。

ウエスタン
ラリアート
illustrated by 徳光康之





①1987年②いきなりバックドロップ犬③大阪府吹田市④月刊少年マガジン、週刊少年チャンピオン⑤新日本プロレス、UWF、リングス⑥スタン・ハンセン、前田日明⑦ウエスタン・リアート⑧川原正敏先生オーナー球団「アーメダ」内・打撃部門8冠王(2年連続)⑨内角球打ち⑩@dk97f3

①漫画家デビュー年②デビュー作タイトル③出身地④主な掲載誌⑤好きな団体⑥好きなプロレスラー⑦好きなプロレス技⑧タイトル歴⑨趣味、特技⑩Twitterアカウント

徳光康之

インタビュー

Interview

プロレスファンがただただ己のプロレス愛をぶつけ合うという、マニアック過ぎるプロレス漫画『最狂超プロレスファン烈伝』。かつてファンを騒然とさせた問題の第4巻が生まれた裏側には意外な真実があった!?

text by Minami.K

当初はワキ役だったバックドロップ犬

「そもそも先生が漫画家の道を志したきっかけとは？」

「物心ついた時には、漫画家、阪神タイガースの選手、怪獣映画を作る人になりました。漫画を描くのが最高の生き方なんだと思ったのは、藤子不二雄A先生の『まんが道』の影響ですね」

佐賀大学アニメーション研究会出身とお聞きしました。

「アニメに原英(くら)☆りっさ」という先輩がいたんですけど、彼が「ぶーるぐえとわす」という同人誌をやっていたんですね。そこで僕は初めて同人誌というものを、制作を手伝わされたりしてました。その本の最終ページに「みんな、早く原稿を持って来いよ」という編集長からのメッセージが掲載されていて、それを僕にも言っているんだと思っちゃった。それで、実際に8ページくらいの『宇宙スラッパ・スタハン』というギャグ漫画を載せてもらったんです。その後、同人誌のメンバーで出版社に投稿してみようということになって、少年サンデーに持ち込んだ。友人の長谷川哲也がサンデーで最終選考の直前まで行っていたことも刺激になってね。で、投稿した『下校最強タッグ』という作品は最終選

考まで行ったんだけど、それが逆にブレッシャーになって描けなくなっちゃった(苦笑)。ところが原さんが同人誌を東京のサークルに委託したところ、それが描ける漫画家を探していた月刊マガジンの編集者の目にとまったんです。めぼしいメンバーたちに声をかけていたんですが、僕にも電話がかかってきて、「編集部に遊びに来ませんか」と。最初は原さんの仕組みがイタズラだと思ってたんだけど、月マガと名刺が送られて来たので実際に会いに行くことにしました」

「ここで月マガの編集者と初対面ですね。」

「ところが本当に遊びに行くだけのつもりだったのが、当日、何も原稿の準備がない。どうしようと思った時に、ずっと書き溜めていたアイデア帳があったので、それを見せたんです。そんな中に下校最強タッグの続編のアイデアがあった。プロレスだけがアイデンティティだった男が恋人と下校している途中、犬にバックドロップかけられて負けるんです。それでどうやって犬に勝つか苦悶するという漫画。編集者がその主人公ではなく、バックドロップ犬の方に興味を持って、そこから『いきなりバックドロップ犬』でのデビューに繋がるんです」

幼稚園で馬場と猪木のどちらが強い語る!?

それが商業デビュー作ですね。

「その掲載作がそれなりに人気もあった。トントン拍子で連載まで行っちゃった。当時は『ぼのぼの』『ナメケモノ』が見てた」といった動物ギャグのブームでもあったからだと思います」

ただ『バックドロップ犬』の連載自体は1年ほどで終わり、徳光先生の代表作である『最狂超プロレスファン烈伝』(以下、烈伝)に繋がっていきます。

「次回作のアイデアとして『キックくんサブリミションくん』というギャグ格闘技漫画を考えた。その敵役として変なプロレスラーを次々と作るマッドサイエンティストを設定したんだけど、また編集者が『敵の方がキャラがいい。科学者なんてヒネッタ設定じゃなくて高校生が大学生にできないか?』と言ってきたんです。さらに当時はプロレスも多団体時代に突入して、たくさんあるプロレスを全部見てるんだしたら、それに絡めて何か作れないか?』と。そう言われた瞬間、頭の中に『バートン』『烈伝』の第1話が広がってきた」

「またもやワキ役から!」

「でも自分はハンセンファンだけど、前田日明のファンでもあるからキャラク

ターをどうしよう。そうだ、二人に分けちゃおう。そんな感じでどんどんアイデアが膨らんで、打ち合わせ後にどうやって編集者と別れたのかも覚えてないくらい。どんどんアイデアが溢れてきて零れそうになるのをメモに取りながら慌てて帰って、2日ほどで最初の2話までのネームは完成してましたね」

第1話冒頭、佐賀から東京に出てきた鬼敷宙道のエピソードは先生の体験を元にされているのでしょうか?

「リアリティあるところは自分の実体験ですね。実際に佐賀スポーツセンターでバイトしてましたから」

元タブプロレスにハマったきっかけは?

「幼稚園の頃に親たアニメの『タイガーマスク』ですね。漫画版は絵が違っていてショックを受けましたが(笑)。実際のプロレスはB-1砲もギリギリ観てるんですが、その頃は『デイズニール』というテレビ番組と週替わりで『日本プロレス中継』を放送していて、デイズニールの方が好きだったんです。それでも幼稚園では、その頃から馬場と猪木、どっちが強い話してましたね(笑)」

先生は新日と全日、どちら派?

「新日派でした。その後、偶然見た全日本中継が世界タッグにハンセンが乱入する回で、そこからは全日も観てました」

「4巻の時はお騒がせしてしまい、本当に申し訳ありませんでした」

『最狂超プロレスファン烈伝』の ルーツは『1・2の三四郎』です

『烈伝』最終回にあの
漫画家が激怒した理由

―世間からの偏見、各団体のマニア同士の抗争劇を描いていますが、プロレス界全体の流れを追うのは大変だったのでは？

「平気です!! 楽しくて楽しくて僕自身、一番プロレスを見ていた時期ですから。FMW旗揚げでの大仁田厚と青柳政司の抗争はメチャクチャ面白かったし、それをつづぎに後楽園で観たのは幸運でした。リングスもメガバトルーナメント全試合を観るために全国全会場に行きました」

―91年を舞台にしていますが、プロレス界にも色んなことがありましたね。

「あの頃は特に面白かったですよ。前田と大仁田がいて、新日と全日以外の団体が存在するのもアリだと思わせたのはデカかった」

―連載が進むごとに内容はマニアックになっていきます。

「ファンレターやネットの書き込みで声を聞くと、プロレスファンはリアルタイムでの時事ネタを多く取り扱っている2巻が好きみたいですね。ただ、漫画家としては2巻の漫画としての出来はどうなんだろうと思ってしまっているのはあります。もう一点、事件が起きて、それを消化して、漫画として読者に見せるのは一ヶ月後で、その時には旬を過ぎてますから。そこも辛か

ったですね。逆に今初めて『烈伝』を読む人たちにとっては、過去の歴史書として面白がってもらえるかも!!と期待してます」

―プロレスを知らない編集者や読者の反応は？

「辞めさせるという手紙は一番多かったみたいですよ。編集者も誌面のムダだという考え方をする人もいたでしょうし、それがメジャー出版社なんだろうが、そこであえて『烈伝』をやるからこそ面白かったんです。週刊プロレスで描けばいいという声もあったけど、プロレス漫画をプロレス雑誌の中で描いても面白くないでしょう。僕は『1・2の三四郎』でも柔道の試合でプロレス技が炸裂するシーンが好きなんです。もう一つ言うと、『三四郎』の中でラグビーの試合中、観客が唐突にプロレスの雑談をする場面があるんですけど、あれが『烈伝』のルーツだと思っています。小林まこと先生にその事をお伝えしたら「アイディアがなくて場つまぎだったんだよね」と言われましたが(笑)」

―そういつしながら月刊マガジンの単行本は全3巻で終了しました。

「3巻に掲載されている力道山編は連載終了後に描いた単行本描き下ろしで、確か長州ファンのキャラクターが出てくる回で編集部から最後通告があったんだと思います」

―最終回は、全プロレス団体が東京ドームで対抗戦を行なうことになるも、日本で戦争が始まってしまおうという内容

でした。

「その話の筋は第2話の後には既にできてたんです。連載中はこの最終回があるから途中で何があっても大丈夫と思ってましたね。で連載終了後に竜崎遼児先生から会いたいという話を頂きまして、聞くと「変なプロレスファンだったら殴ろうと思ってた」と(笑)」

―危機一髪(笑)

「特に最終回が素晴らしいと褒められて舞い上がって、竜崎先生にもあの最終回は2話の後に思いついてたんですよと自慢したら怒鳴られました。なぜあれを3話目に描かないんだ。あんな素晴らしい話を打ち切りが決まってから雑誌に載せて、毎号アンケートの真剣勝負なのに良いネタを温存するのは間違ってる」と。これがメジャーな作家の考え方なんだ、自分は素人だと思ひ知らされました」

ファン卒業を描く4巻
言えなかった真相は…

―99年からまだだらけより単行本が復刻され、書き下ろしの第4巻も発売になりました。外人派ハンセンファンの西等里熱人が先生の分身であり、やがてプロレスを卒業して消滅していくという衝撃的な内容は7年ぶりの復活に喜んだファンを動揺させました。

「僕はそこまでのことを描いたつもりは一切なかったんですよ。まだだらけの編集者

は2巻のような内容を望まれていたと思うんですけど、3巻に掲載した力道山編の評判も良かったので、リアルタイムで何かを追いかけるのではなく、力道山編の構成のものを4巻全ページでやるって。3巻ではプロレスがなくなってしまうんです。4巻では作者がプロレスに飽きてしまった時、残されたキャラクターはどうなってしまうのか……という仕掛けのつもりだったんですが、プロレスファンの読者には、僕が本当にファンを辞めたと思わせてしまった」

―あくまで漫画的ストーリーだったんですね。

「3巻ラストから繋がるもので、漫画の形としてしっかりしたものを書きたい。そうするとああいう形になったんです」

―先生自身からプロレス愛が引いていたわけではない？

「グレイシー柔術に次々とプロレスラーが破れるのはショックでしたけど、校庭の活躍は見えていたから。ただ校庭は柔術の技術で相手に勝っているの、そこはプロレス技で結果を出して欲しいと思っていました。その思いが4巻には出ていますし、ある意味でリアルタイムのネタではあるんです。当時は単純にビックリさせたかっただけなんですけど、もうそんなことを言える雰囲気でもなくなってしまうって(笑)」

―ただ、プロレスファンにはショックinggでしたが、4巻はタイムスリップというSF、序盤の伏線の回収、メタ展開など、漫画的にはスバ抜けて面白いと思うんですよ。

「最近になってそういう文脈で語って下さる方も出てきましたけど、あの頃は評価

されませんでしたね(笑)」

―ファンも『烈伝』ショックを消化するのに時間がかかったんでしょうね。

「それは本当だね、あそこまでショックを与えるつもりはなかったの、この場を借りて申し訳ない。アンケートハガキが50通くらい来てたんですが、作品を褒めていたのは一通だけで、あとは罵倒と、連載当時に力になれなくてすまなかったと謝ってくださる方、さらには僕の心と身体を心配してくれる方もいらっしゃいました。今になって思うと、罵倒のハガキも僕のことを思ってくれてたんですよ。最近Kindleで電子書籍を配信していますが、それに対して、読者の方が「おかえり」と言ってくださるんです。デリも大仁田も戻って来たり、プロレスラーに引退はないんだから、徳光さんもシレッと戻ってくれば拍手で迎えますよというお手紙も頂きました。本当に、ありがたいです!!

いま『烈伝』5巻の準備を進めていますので、お待ち下さい」



『最狂超プロレスファン烈伝』全4巻+4.5巻
©徳光康之 電子書籍の購入はブログより
<http://ameblo.jp/ameid20151109/>

Round.5

Aerial Attack

飛び技系

コーナーポストやトップロープを利用して、リングの内外を縦横無尽、自由自在、四方八方に翔る空中殺法。
非常に華やかな飛び技だが、その破壊力は他の技に決して劣らない。



フランケンシュタイナー

**Franken
steiner**



稲田 琴

ダイビングボディアタック

**Diving
Body
Attack**



烏丸 えみる



ムーンサルトプレス

**Moon
sault
Press**



月詠 虎

Franken Steiner

フランケンシュタイナー

雪崩式フランケンシュタイナー



コーナーポストに座らせた相手に向かって仕掛けるフランケンシュタイナー。相手の勢いを利用する通常のフランケンとは違い、高さをダメージに変える。ジュニアのレジェンド、獣神サンダー・ライガーが開発したが、天龍源一郎、佐々木健介らヘビー級の選手が使用することもある。

稲田 琴×笹 美智

琴「スコット・スタイナーと言えば、フランケンシュタイナーの開発者であるのに加えて、あの超危険技SSD（スタイナーズ・スクリュー・ドライバー）だよね。プレッパスターで抱え上げて、そのままパースパイルドライバーで落とすっていう（笑）」

美智「いや、全然笑えないって！ 兄リクの無茶苦茶なスープレックスも怖かったけど、スコットはまた怖さが別レベルだよ」

琴「やっぱり長男長女よりも末っ子の方がワガママだしさあ」

美智「……そういう問題なの？」



兄弟タッグ・スタイナーズの弟スコットが開発したアクロバティックな空中技

ヘッドシヤースやウラカンランなど、ジャンプして相手の頭を両足で挟み込んでから投げる、もしくは丸め込む技は複数存在するが、いずれも軽量の選手が得意としていることが多い。

ところが、同系統の大技フランケンシュタイナーを開発したのがスーパーヘビー級のスコット・スタイナーだと聞けば、最近のプロレスファンはさぞ驚くに違いない。アマレス出身で兄リクと共にタッグチームで活躍していたスコットだが、1991年にフランケンシュタイナーを初披露した際のその衝撃は凄まじいものであった。

現在、フランケンシュタイナーの使い手は数多いが、一般的に逆転車のような体勢で肩に乗ってから、相手の首を太ももでしっかりと挟み込んでから放り投げるスタイルが主流。しかしスコットの場合はロープに掛って返って来た相手の首をキャッチするなり、全く間をあげずに連心力でもって高速でマットに叩き付ける。相手は瞬天から突き刺さるように垂直に落とされてしまうため、非常に危険な技なのだ。日本では武蔵敬司や藤田和之が得意とし、共にフランケンシュタイナーからの跳びしぎ十字固めへの連携も用いた。

90年代終盤に、スーパーヘビー・ヒリ・グラハムをオマージュしたようなマッチョスタイルのビル・スラーに転向して以降、スコットはフランケンシュタイナーを封印してしまっただが、近年ではごくまれに雪崩式での使用などが見受けられる。

元祖フランケン
超デンジャラス技

モンスター級の 大技に 観客席からは恐怖の 悲鳴が響き渡る

バッド・ガリー
稲田 琴

●16歳 (いなだ・こと)

石川県出身。県立高校1年生
趣味/最近は筋トレ
部活/レスリング部
好きな食べ物/ドーナツ
好みのタイプ/ガチムチ系
座右の銘/ビタミン・トレーニング
神へのお祈り



師走の翁
Comment



ジャンプして両足で相手の首をキャッチして身体を反らすところがフランケンシュタイナーの見せ場ですが、それでは痛みが伝わらないので、インパクトの瞬間を選びました。フランケンシュタイナーって連続性が大切なので、一枚で見せるには難しいですね。

ウラカン・ラナのようにクルリと丸め込むのではなく、あくまで頭から垂直に落とすのがスコット式の元祖フランケンシュタイナー。

ダメージポイント
首

代表的な使い手
スコット・スタイナー
武藤敬司

DIVING BODY ATTACK

ダイビングボディアタック

リングに横たわった
ままでの相手には
迫力満点のボディプレス



会場内に響き渡るスカイハイの旋律 仮面貴族ブームを巻き起こした空中殺法



トペ・スイシーダ

リング内から場外の相手に向かって頭から飛んでいく。スペイン語でトペは頭、スイシーダは自殺の意味。前方回転を加えて背中から当たる場合はトペ・コンヒーロという技になるが、これは回転式トペという意味。



セントーン

ダウンしている相手にジャンプして背中から落下する。日本での初公開はベロ・アグアヨ。非常にシンプルな技ながら、ヒロ斎藤やディック東郷のセントーンは滞空時間や姿勢が美しく、まさに名手と呼ぶにふさわしい。

華麗な滞空姿勢で
場内を沸かせる！

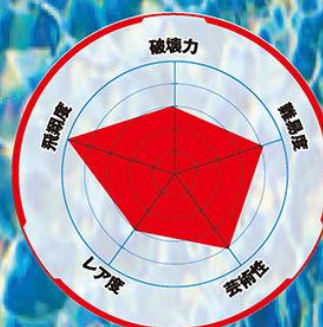
1971年2月、日本プロレスに注目の外国人レスラーたちが来日する。一人はスパイロス・アリオン。ヨーロッパで活躍する強豪と言われているが、その戦いぶりは期待外れに終わる。だが、二番手のはずだったもう一人こそが本命だった。その人こそ「悪魔仮面」のニックネームで呼ばれたメキシコの英雄、ミル・マスカラスである。

当時はザ・デストロイヤーなどの影響もあり、覆面ヒールと思われるいたマスカラスだったが、その華麗なフライングスタイルは爆発的な人気を呼び、いつの間にか「悪魔仮面」は「仮面貴族」と呼ばれるようになる。

マスカラスは現在まで連なる空中殺法の祖となった人物であり、コイナーポストから両腕を大きく広げて飛ぶダイビングボディアタックは二世を風靡。マスカラスの弟ドス・カラスや、リッキー・スティムボードも得意技として用いた。

烏丸えみる

えみる「正義の味方ってよ、なんでいつもこいつも顔を隠すんだろうな。バットマンとかスパイダーマンとか、あとタイガーマスクもか。昔のことなんで知らねえけど、鞍馬天狗とか赤影つーのもいたんだろ？ あとフライ・トルメンタとかさ。いや、別にアタシはオタクじゃねえよ。いいことしてるつもりなら堂々としてりゃいいのにさ、顔を見せられないっつーのは、なんか後ろめたいことでもあるんじゃないの？ アタシがマスクをしている理由？ そんなもん、どうでもいいだろ。深い意味なんてねえよ……うるせえな、花粉症だよ」



マスカラスはリング上をダッシュしてから放つボディアタックも得意としていたが、やはりリットロープからの一撃にはインパクトの面で敵わない。

覆面の悪魔
(からすま・えみる)
烏丸えみる
(17歳)

奈良県出身。私立高校2年生
趣味／教えない
部活／帰宅部
好きな食べ物／コーラ
好みのタイプ／特になし
座右の銘／天より高く



師走の翁

Comment



両手を大きく広げて飛ぶ
フォームは仮面貴族ミル・
マスカラスのイメージで
すね。女の子がマスクを
つけているのは、そこから
のアイデアです。おかげ
でヤンキー風になってし
まったんですが……。

アタシの血中が
毒にまみれてる
からさっさと
殺して

もしもにやめよう
としないで

ダメージポイント

DamagePoint

胴

代表的な使い手

A Typical User

ミル・マスカラス
リッキー・スティムボード

華麗なる天才
月詠 虎(18)

(つくよみ・とら)

山口県出身。私立高校3年生
趣味／読書
部活／射撃部
好きな食べ物／甘いもの
好みのタイプ／ストイックな人
座右の銘／虎視眈々

美しく舞い降りて
凄惨なまでに叩き潰す

MoonSault

虎から天才へと 受け継がれた 妙技・月面水爆

Press

捻りを加えて回転を増して続々と進化を続けるボディプレス

体操競技で言われるムーンサルトは後方二回宙返り一回ひねりのことだが、プロレスのムーンサルトプレスはコーナーポストからリングに向けての後方宙返り。その元祖は初代タイガーマスクだが（実際はジョージ高野の方が早かったという説も）、タイガーのそれは厳密には完全な後方宙返りではなく、やや斜めに飛んでおり、ラウンディングボディプレス、旋回式ボディプレスと呼ばれていた。

その後、ムーンサルトプレスという名前を定着させたのは新日時代の武藤敬司。同時期に全日では小橋健太（当時）がムーンサルトプレスを得意にしていたが、両者のフォームは速さのある武藤と、高さのある小橋といった風に異なるものになっていた。

華麗な空中殺法というイメージのあるムーンサルトだが、スーパーヘビー級のバンバン・ビガロ、ビッグバン・ベイダー、ヘッドハンターAなども使い、そのインパクトたるや他に比肩するものがない驚きであった。

なお現在では、リコシェが空中で2回転するムーンサルト、その名もダブルローテーション・ムーンサルトプレスを決めるなど、さらなる進化を遂げている。

ダメージポイント DamagePoint

胴

代表的な使い手 A Typical Wrestler

武藤敬司
小橋建太



高度と遠心力を組み合わせ
てダメージを倍加させている
が、自爆した時に負うダメージ
も決して小さくはない。ハイ
リスクな技だ。

思わず息を飲む空中姿勢
プロレスが生んだ芸術品

スカイツィスタープレス



捻りを加えた伸身ムーンサルト。学生
時代、新体操部に所属していたチャパ
リータASARIは全日本女子プロレスへ入
門する前にすでに完成させており、入門
テストで初披露してみせた。

月詠 虎×浦島 蒼依

蒼依「コーナーポストから飛ぶってのは、プロレスなら
ではの必殺技というカンジでイイな!」

虎「確かにそうなんですが、厳密にはコーナーポストに
登る行為自体が反則行為なんですよ」

蒼依「えっ、なんだそれ、初耳だぞ!」

虎「正しくはコーナーポストやロープなど、自分の肉体
以外を攻撃に使うことが反則とされていると言うべき
でしょう」

蒼依「ああ、ロープに足を引っかけるズルいエビ固め
みたいなもんか」

虎「ええ。そうは言っても、反則負けになるのは5カウ
ントを数えられた時なので、その前に飛んでしまえばいい
んです」

蒼依「それじゃモタモタしたら反則負けになるかもな
……って、そんな選手はいないか!」

虎「ところがコーナーポストに登ってペナルティを受け
た選手もいるんです。89年5月、第2次UWFでボブ
バックランドと対戦した船木優治(現・誠勝)はミサイ
ルキックを放って反則負けの裁定が下がっていますし、
96年にUインターに参戦した折原昌夫も桜庭和志に
ミサイルキックをやっています。その時は減点止まりでし
たが」

蒼依「うーん、今や信じられない話だなあ」

師走の翁

Comment



低い軌道でスピードのある武藤敬司のムーンサルト
プレスをイメージしています。これ以上、難しい空中殺
法は絵になりづらいんですよ。カード・アングルの絶対
に当たらないムーンサルトも好きです(笑)

プロレスと萌えに親和性はあるのか？

現役声優がプロレスラーになった理由

内気で人見知りだった女の子がプロ声優に…

声優としてはキャリア16年目の清水選手ですが、声優を志したきっかけは？

「私、元々すごく引つ込み思案の恥ずかしがり屋で、対人恐怖症とまでは行かないんですが、知らない人と話すのがすごく怖かったです。コンビニで店員さんから「お箸をお付けしますか？」と聞かれても、目も合わせられないほど内気で……。それで役者さんの勉強を、それ

も声優さんの勉強をすれば、知らない人ともハキハキ喋れるようになるんじゃないか、なのでまず2年間くらい声優の勉強をして、それからなりたいたいのを目指そうと思ったんです。月曜から土曜、朝から夕方までみっちりレッスンがある専門学校に入っただけですけど、学校生活は楽しかったですね。私の通っていた学校はダンスのレッスンがたくさんあったりして、色んな授業を身につけて行くのが楽しくて、あれもこれもと色々吸収していたら、いつの間にか声優になっていた……という感じですね」

好奇心旺盛で色々なことに挑戦されているので、なんだか意外ですね。

「若い頃は仕事の後に飲み会に参加しても、隣に座った人と喋ることもできなくて、ずっと居酒屋のごはんを食べてましたね(笑)」

しかし声優業も10年以上で、そこからプロレスラーになるとするのは常軌を逸していると言いますか……。

「ふふ」

最初にアイスリボンのプロレスサークルを経験されたと聞きましたが？

「その前だと武藤敬司さんがゴールドジムで開催されていた武藤塾というセミナーに参加したことがあります。武藤さんのファンイベントを兼ねてのもので、それは全然プロレス業界入りのきっかけというわけではないんですが」

そしてプロレスサークルへ？

プロレスサークルの無料体験教室に参加したのは、リングの上ってどんな感じなんだろう、どんな光景が見えるんだろうって思って、うーん、畑は違えど人前に立つ職業の者として興味があったんですかね」

その時もプロレスラーになるつもりではなかったんですね。

「そうですね。プロレスラーさんがしている運動ってどんな感じかな。あの身体ってどうやって作られているんだろうって、それくらいの気持ちでした」

元々プロレスはご覧になってました？

「ファン歴というとなんかに長くないんですが、好きになったら猪突猛進型なので密度は濃かったです。うっすらとした最初の記憶を辿ると、子供の頃にテレビで観た全日本女子プロレスさんかな。私、ポイントをしているレスラーさんが好きなんです。それは井上京子さんの影響なのではないかと」

男子の方ではいかがですか？

「グレート・ムタさんが好きで全日本プロレスさんに興味を持ちました。ムタさんは私の中で殿堂入りしているのですが、観ていてスカッとしたのは近藤修司さん(現・W)。それまではムキムキの男性に全く興味がなかったんですよ。「筋肉やだ」くらいのことと思ってたのに、観ているうちに近藤さんのパワーファイターっぷりに感激しました！」



常に模索し続けた自分なりのプロレス

プロレスが好きすぎて観るだけでは飽き足らずデビューしてしまったんですが、そこまでハマったきっかけはというと……。ある日友人がDDTプロレスさんの経営する居酒屋・エビスコ酒場に

現ですか(笑)

真後ろに立つ相手選手の頭を掴んでブツこ抜いて投げちゃう姿が本当にすごくて、角栓が取れた、大きなカブが抜けた時みたいで気持ちいいと！

どういう表

現ですか

(笑)

清水

AI SHIMIZU

愛

アイスリボン認定
第23代トライアングルリボン王者

Profile

1981年3月26日生まれ。
東京都出身。2001年声
優デビュー、2013年プロ
レスデビュー。得意技／釣
りガール式ばくだん固め、ト
リブフリューゲル

プロレスライオンデビュー

「そこで大家健さん(現・ガンバレ☆プロレス代表)の自らの退団を賭けた、石井慧介さんとの一騎打ちを観戦したね。」

「2013年2月の新木場大会です」

「あれを親に行っただけです」

「あれを親に行っただけです。お肉料理があまりに美味しくて衝撃を受けて、それからほぼ毎日のように通ってたんですけど、店内にたくさんポスターが貼ってあるのを見て「これだけ馳走になっているのにまだ試合を観たことがないのは失礼なんじゃないか?」そう思って、それでDDT系列のユニオンプロレスさんを親に行っただけです」

私をキツカケに プロレスに興味を



「次第にプロレスの魅力に取り憑かれていった。」

「その年の12月に九州の社会人プロレス団体(がむし)らプロレスさんから10周年記念イベントへの出演依頼をいただき、前田さん(前田)に頂きまして、代表の矢野さんにも以前から良くして頂いていたし、北九州なら美味しいおでんが食べられるし、絶対行きます!」

「それはあくまで声優としてのオファー?」

「だってと思います。でも、リングのあるところでのイベントだと思って、勝手に「リングデビューします!!」と告知しちゃったんですよ(笑)。せつかなので何かできないかなと思っていたら、エビスコ酒場と同じくDDT経営のスポーツバー・ドロップキックさんで当時店長をされてた柿本大地さんや、高木三四郎さん(DDTプロレス代表)や、いろんな方がご協力下さって、

あれよあれよとプロレスをする支度が整っていったんですよ」

「周囲の縁もあるんですが、それで実際にデビューまで漕ぎ着けるのは凄いですね。」

「デビューの日は緊張し過ぎて必死だったんで、試合のことはあんまり思い出せないんですけど、写真を見返すとお腹がぶよぶよで、どうしてお腹を出すコスチュームにしたんだろうと……」

「戦限りではなく、その後も東京愚連隊興行などで、何度かプロレス参戦を続けられました。」

「世間の目としては、奇を衒ってるとか、誰かにやらされてるんじゃないかと、声優だけじゃ稼げないんじゃないかと、言われることもありましたけど、実際は自分が好きで始めたことなので、夢中になってプロレスの試合をしてました。ただ、急ごしらえでデビューしてしまっ

たので、まだまだ満足に試合ができるような身体ではなくて、そんな時に菊ヶ口選手が「ちゃんとするなら高木さんのところでお世話になったら?」と言っただけで、

「そして2014年7月からはDDTグループの女子団体・東京女子プロレスへ主戦場を移します。2013年旗揚げと団体としても新しく、キャリアの浅い選手が多かったのですが、その中では業師的なポジションで、非常に高い評価を集めました。試合のたびに新たなことに挑戦しようとしている姿勢が伺えたのですが?」

「うーん、常に新しいことを見せることがテーマというつもりはなく、模索していたんだと思います。自分の体型やキャラクターにはどんな闘いが合っているのか、一番有効なのか。やってみてダメだったらオミットしよう、合っていたら使い続けよう。そんなことを考えていましたね。相手を倒すには何が必要なのか、その相手によって考えるんです。例えば私はどちらかというと力持ちなんですけど、重畳級のミウラアカネ選手相手に果たしてどこまで通用するのか。どんなに筋肉やウエイトがあっても、関節は鍛えられないはずだから関節技で行こう。軽量の滝川あずさ選手は投げられるのは容易いけれど、そのぶん素早いからどうやって掴まえるか。蹴り技が得意な山下さん(山下実優選手)は脚を殺しに行こうといった風に」

「うーん、常に新しいことを見せることがテーマというつもりはなく、模索していたんだと思います。自分の体型やキャラクターにはどんな闘いが合っているのか、一番有効なのか。やってみてダメだったらオミットしよう、合っていたら使い続けよう。そんなことを考えていましたね。相手を倒すには何が必要なのか、その相手によって考えるんです。例えば私はどちらかというと力持ちなんですけど、重畳級のミウラアカネ選手相手に果たしてどこまで通用するのか。どんなに筋肉やウエイトがあっても、関節は鍛えられないはずだから関節技で行こう。軽量の滝川あずさ選手は投げられるのは容易いけれど、そのぶん素早いからどうやって掴まえるか。蹴り技が得意な山下さん(山下実優選手)は脚を殺しに行こうといった風に」



萌え好きはプロレスに 絶対にハマるはず!

——特にこだわっている技や動きなどは?

「あのう……こちらの本にインタビューを載せていただけるってお話を頂いた時、というか、師走の翁先生のイラスト集がこの世に生まれることが本当に嬉しくて、もしかして私の中身がオジさんなのかも知れないですけど、可愛い女の子好きだし、女の子が苦しんでる姿って可愛いそうとは思いつつもやっぱりちょっとと見たいじゃないですか。だからちよっぱり恥ずかしい形に極めたいなという願望はあるんですね。そう思うと、ロメロススペシャルは積極的にかけていきたいなと」

——本書の企画が「萌え×プロレス」ということで、まさに清水選手そのもののようなコンセプトです。東京女子プロレ

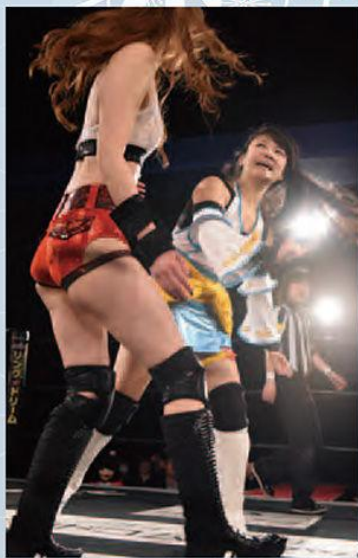
忍者服と巫女服をモチーフにしたコスチューム。いずれもと水色が中心のカラーリング。レスラーにとっては色も大事な要素の一つ



女の子が苦しむ姿って イイですよ(笑)

ス初参戦時には「みなさん可愛くて、色んなキャラクターがいて、まるで美少女ゲームのように属性が分かれているので、攻略方法を変えていかなきゃなとワクワクしています」という名コメントを残されました。女子プロレスと萌えて親和性はあると思いますか?

「あります(即答)これは女子と限定せず男子も含めてプロレスと萌えカルチャーというのはとても親和性が高いと思います。例えばコミックマーケットはお金を出す客の方が偉い」ということではなく、一人一人全ての人が参加者として、みんなでイベントを作り上げていきましようという確固たる理念、意志があるじゃないですか。みんなが参加者だというのは、プロレスのお客さんも同じで、自分から積極的に楽しもうという姿勢ですよ。一方的にリングから楽しみが与えられるのを踏ん返り返って



ただ待つんじゃないで、みんなで一緒に楽しい空間を作り上げようって前のめりの姿勢なんです。みんなで手拍子とかするし、選手のピンチには声援を送るし、一人一人が試合を積極的に楽しんでいく感じが、自分がこれまで関わってきたアニメ・ラジオ・ゲーム業界のステイジイベントと近いんです。だから萌え産業、アキバ産業のユーザーさんにとってプロレス会場は居心地がいいと思いますよ」

——今、初めてプロレスに触れる若いファンも増えています。声優・清水愛からプロレスを知ったファンも多いのでは?

「だとしたら嬉しいですね! 私は二つの世界の架け橋になりたいんです。溪流釣りとサバイバルゲームの時も同じことを思ったんですけど、ア



ニメやゲームとプロレスも似てると思います。片方好きならもう片方もきつと楽しめるよって! 最初は私目当てで来て、その後、別の選手のファンになるとかでもいいんです。それはそれで。寂しくはありませんけど、でもそれが私の役割だと思っているので」

——釣りやサバゲーの話が出ましたが、これらも清水選手の趣味ということで、プロレス技の名前にもなってますね。

「私は釣りが好きなので、フィッシャーマンズスープレックスを釣りガール式ばくだん固めという名前を付けて使っています。それと、スイングDDTはトリプフリーゲル(フックケウルフ社のジェット戦闘機)という名前ですね」

——試合コスチュームも軍服、巫女、忍者と、それぞれコンセプトがハッキリしていて、試合中の決めポーズも軍服なら敬礼、忍者なら印を結ぶと変えています。演技者としてのこだわり?

「コスプレも好きなので、せっかくなので、

なら分かります。モチーフがあるのがいいですね。逆を返すと、本当は引ッ込み思案なので、まささらな自分であるのが照れくさくて、ただ派手なコスチュームを着るよりも、そこに一枚キャラクターというフィルターがある方が動きやすいというのはあります。そう、ガラスの仮面なんです」

——今回は試合コスチュームだけではなく私服撮影も行なわせて頂きました。私服も可愛い系ですね。

「ありがとございます。私オタクだから、女の子にはこういう服を着て欲しいなというものを自分に着せている感じですよ」

——自分を客観視して着せ替え人形にしているんですね。

「声優として役柄を演じている時も、この子がこんな風に喋ったら可愛いな、こんな態度とられたらたまらないだろうな、と好みを反映させてます。自分自身の欲望を昇華させているのかも?」

声優？プロレスラー？ 清水愛の今後の行く末

「昨今ではガンバレ☆プロレスに参戦し、男子選手とも激しい試合を展開しています。」

「東京女子さんを卒業して、ステップアップを図る以上、私の戦う場所はここしかないと思っています。自分のことなので恐縮ですが、プロレスが好きで客席で夢中になっていた人間がトレーニングを積んで、その団体さんで試合をさせていただくようになるというのはなんといいか、夢があるなと思います。」

「しかも今、清水選手のファンだという方々が初めてガンプロを観に来たりしているわけじゃないですか。」

「やっぱり恩返ししたいですよ。プロレスを知ることが豊かになって、救われたと思うし、ほんとプロレスが義務教育になったらいいなと思います。もっともっと。」

「たくさんの人にプロレスの魅力を知ってほしい。だから声優がプロレスをやっているって聞いて『はあ？』二丁どんなもんか見てやるうか？でいいんです。絶対に楽しませますし、良い試合がたくさんあります。その中で一人でも『プロレス面白いわ！』となってくれたらすごく幸せなこと。声優スライム清水愛をキッカにプロレスに興味を持ってもらえたら光栄です。」

「ただ、声優でありながらレスラーとしても活動する以上、試合中の怪我が声優活動などに影響を及ぼすこともあるのではないかと思います。かなりの覚悟が必要です。声優ファンの中には心配もあるのでは？」

「絶対に怪我をしないぞという覚悟でやってきたんですが、今回、男子選手との試合で負傷しまして……。予想以上にスピードも威力も違って、本当に勉強になりましたね。顔面へのキックを2発連続でもらっちゃったんですが、あとちょっとスレてたら歯が折れたかも知れない、脳にダメージが行ってたかも知れない、そう思うとこの程度で済んで良かったなと思います。今後は特に口周りには気をつけたいですね。」

「私、3年弱プロレスをやってきましたが、今回ベルトを獲得したニュースを見て、初めて自分のことを知って下さった方もいて、ありがたいな、意義があったなと思いますね。」

「プロレスラー清水愛の、今後の展望について教えてください。」

「正直、デビューした年齢的にも遅いですが、ベルトに触ることができると思っています。ベルトを巻いた以上はそれにふさわしいレスラーになりたいです。ベルト自体の格を上げたいです。」

「でも、声優でありながらプロレスラーだからこそ世間に知ってもらえるチャンスもあるのが強みでもありますし、そこに訴えかけていくのが私の役目だと思っています。」

「2016年に入ってから、かつて所属していた声優ユニット、パスデルが再結成。声優、プロレス以外にも、舞台に出演し、サバイバルゲームや釣りを趣味にし、DJデビューもされました。他にやりたいことはありますか？」

「可愛い女の子を産んで、可愛い服を着せたいです(笑)」

「最近ではアイスリボンに参戦し、トライアングルリボン王座(3WAYマッチ王座)に初挑戦で初戴冠という快挙を成し遂げ、ネットニュースなどでも大きな話題になりました。」

「おっと、それは大仕事ですね(笑)。しかし」

「自分でもどうなるか、よく分からないです(笑)」

プロレスを義務 メジャースポーツ 教育に にします！

モチーフはムタ選手 オーバーマスクの



撮影4日前にトライアングルリボン王座を戴冠し、新王者として登場。撮影現場にベルトを持参してくれました





birthday:
October 30
height:
170cm

illustration by Hal
©SUCCESS Corp. ©でいしろう

Spider
スパイダー菊池
Kikuchi

「本当はガチムチなキャラを増やしたいです(笑)」(でいしろう)

元々は男子プロレスの企画だったリングドリーム
——『リングドリーム』(以下、リングドリ)が生まれた背景とは？
でいしろう「コンプRPGのカード企画ですね。元々は男子プロレス物でしたが、当時の編集長がおっぱい好きで(笑)「女子プロレスにしない？」という話になったんです」
——掲載誌の休刊で初期『リングドリ』は1995年頃に終了しますが、2012年12月にPCブラウザ



として復活します。当時と比較して意図的に描き方を変えた部分はありますか？
で「昔と今ではファンのプロレスの見方が変わりましたからね。試合そのものを全力でやるのは変わっていませんがお客様に見せるエンターテインメントであるという部分は昔より色濃く描くようにしています」
—— 作中のレスラーたちはロリ系から、ガチムチ肉体派までバリエーション豊富です。
で「以前からの僕の考えなんです。格闘ゲームで女性キャラが人気があるのはその他のキャラが

燃えと萌えがリンクする!! 女子プロレス大戦

RING★DREAM

1993年にカードゲームとして生まれた『リングドリーム』は女子プロレスをテーマにしたコンテンツにおける先駆者だ。2012年にはPCブラウザとして復活し、再び人気を集めている。その制作舞台裏とは？

松田秀夫

(リングドリームプロデューサー)

でいしろう

(リングドリーム原作者)



株式会社サクセスに入社後、2013年に『リングドリーム 女子プロレス大戦』プロデューサーに就任。声優アイドルユニット、backdropsの総合プロデューサーも務める。



ゲーム会社ウルフチームを経て、1993年にスタジオ実験室を立ち上げ、同年に『リングドリーム』を発表。現在は株式会社サクセスに所属。Twitter: @orange_jelly

開発者インタビュー

ムサイ男性ばかりだからですよ。個人的には『リングドリ』でもガチムチなキャラばかりを描きたいんですが……」
松田P「それでは商売にならないので(笑)」
—— ユーザーのプロレスファン率というのは、どれくらいだと思いますか？
松「ゲーム好き、プロレス好きというのとは普通に共存し得ますが、僕の場合は、美少女が好きでユーザーの方が多い気がしますね。全体の母数が多いですから」
で「ただ、絶対にプロレスという要素は外してはダメなんです。そ

れその他にたくさんある美少女ゲームよりも秀でている部分なので」
—— キャラの話で言うと、多数のイラストレーターさんが原画を担当されています。
で「最初はそれぞれのイラストレーターさんの絵柄が離れ過ぎないように合わせよう、世界観を統一しようとしたところもあるんです。ただ、みなさん個性が強いので(笑)」
—— セクシャルな要素の強いキャラは少ない気がしますが？
松「そういつた表現に対して行き過ぎないようにしています。変にセクシャルなアピールにこだわるとは、綺麗な女の子、鍛えられた女の子がプロレスをするという魅せ方ですね」
で「ちょっとエロっぽい方が売れることもあるんですけど、大きいパイを狙うよりも、狭いジャンルでオンラインワンを目指すのが僕のモットーですから」



「待ってくれているユーザーは絶対に裏切れないですよ」(松田P)

に行ったんです。サービスが止まっているなら、直接、生のイベントを行なってユーザーの要望を聞こうと(笑)

「ユーザーとの目線の近さの最たるものとしてプロレス団体とのコラボ企画がスタートし、実際にプロレス興行まで開催されました。

松「これまでイベントにユーザーを呼びまくっていたのでオフラインイベントに来ることに抵抗が少なかったんだと思います。主催興行をやるにあたって、僕とていしう先生はユーザーに本当のプロレスを見せてあげたかったんです。生で観ることで『リンドリ』への愛着度も上がるでしょうし、先生のシナリオのイメージも共有しやすくなりますから」

「プロレス初観戦というユーザーも多かったようですね。」

松「7〜8割くらいはそうでしょうね」

「興行から原作へとフィードバックされた点などはありますか？」

松「DDTさんの自由なプロレスが、僕の今の古いプロレス観を壊してくれた部分はありますね。最近のプロレスは、フィクションの世界を軽く超えてきますから」

「今後、リングドリームはどうなっていくのでしょうか？」

松「プロデューサーとしては、今のPCブラウザは会社から止められるまでは続けていくつもりです。ただ仮にPCブラウザ自体がなくなっても、でいしう先生が物語を作っていく環境は整えてあげたいと思います。これまで務めてきたのは、先生のアーティスト性を守る、クリエイティブに集中さ

実際に後楽園ホールでプロレス興行も開催！

「2012年の『リンドリ』スタート時にはトラブルが相次いだとか？」

松「途中から私が現場に入ったんですが、バグだらけの緊急メンテナンスの嵐でした。サービスを運営しながら、修正とアップデートを繰り返して結局まともに形になるのに2年くらいかかりましたね」

「その間もサービスは止めずに？」

松「一番最初にサービスインしてからの1ヶ月、その半分以上はメンテナンスで止まっていたんですけど、再開してもユーザー数は減っていなかったんです。その数字を見た時に、ユーザーさんが待っていてくれるんだから決してサービスを止めてはいけなと思うたんです」

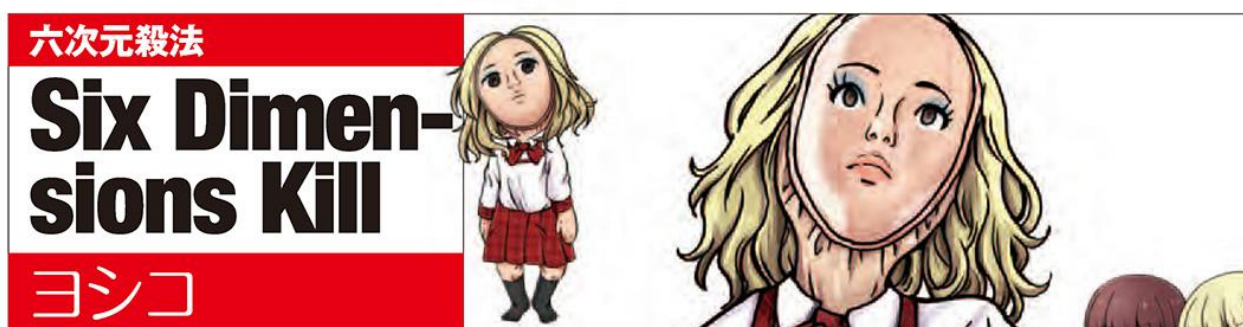
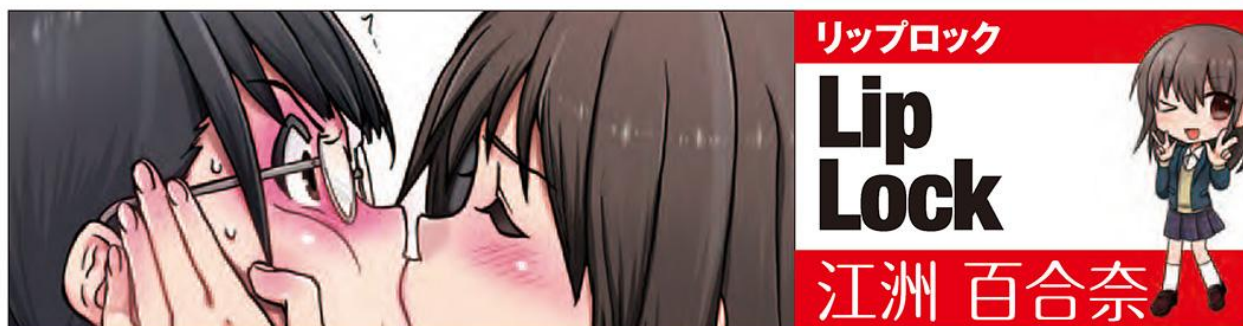


Round.6

Others

その他

常に進化を続けるプロレス技はここまで来てしまった! とにかくインパクト重視の特殊技の数々。
中にはパワーボムやラリアット以上に喰らいたくないミョーな技も!?





じわじわとにじり寄る尻
そのまま肉に包まれば
戦意喪失は間違いなし！

ヒップ ブツビュ

Foreigner wrestler who took pride in
his considerable strength and celebrity



相手を窒息させる技ではあるが、むしろ精神的なダメージの方が大きい。どんなに肉体を鍛えたプロレスラーでも受けたくない技。

力石 桃華 × 桜井 千佳子

千佳子「こういう技を使うのってどうなんでしょうか？」

桃華「どういう技？」

千佳子「ですから、あのお尻です」

桃華「ヒップアタックは効かないなんてこと言う人もいるけどさ、どーんと身体ごとブツかってくるわけじゃん。しかも背中向けて見えてないから、どこに当たるかも分かんないし、結構怖くない？」

千佳子「恥ずかしいんですか？」

桃華「なんで？」

千佳子「……なんでもないです！」

桃華「わっはっは」



ヒップアタック

越中詩郎の代名詞。尾てい骨を相手の顔面にぶつける。見た目以上の破壊力を持った技。トップロープからのダイビング式などもある。近年では田口隆祐が愛用しているが、男子以上に女子の使い手が多い。

他の格闘技では
絶対ありえない？
尻を使った攻撃

パンチやキックはもちろん、他の格闘技では禁止されていることも多い肘、膝、さらに頭突き攻撃まで何でもアリのプロレス。そんな中でも「際ユニークなのが尻攻撃だ。恐らくプロレス以外で尻を使った技というのは存在しないと思われるが、それすらも有効な技になっってしまう。

その元祖はレスリング出身で国際プロレスで活躍したサンダー杉山の雷電ドロップだろう。ダウンした相手の腹に尻餅をつくように落下する技で、非常にコミカルな印象ながらも、重量のある選手が使えば大変なダメージを与えることが可能だ。

体重230kgを超えるアンドレ・ザ・ジャイアントも同様の技を使ったが、とても冗談では済まされない恐ろしい殺人技であった。またアンドレはコーナーストに押し込んだ相手に向かって尻を押し込むヒップブッシュも得意とした。

アンドレのヒップブッシュは腹部を狙う技だったが、この時、対戦相手が尻餅をついて座っていると、ちょうど顔面に尻がヒットする位置になる。これを得意としたのが、WWEで活躍したファトゥスだ。プロレス界を代表するサモア系一族、アノアイ・ファミリー出身で、様々なキャラクターを演じたのち、力士ギミックのその名も「リキシ」に変身。自慢の尻を相手の顔面に押し付けるスティンクフェイスで人気を博した。

多数のスーパーstarがスティンクフェイスの被害に遭ったが、なんとWWE会長のビン・スマクマホンもその一人。雇い主の顔面を自らの尻に埋める、そんな無茶がまかり通るのもプロレスの醍醐味なのかも!?

巨尻自慢

(りきし、ももか)

カ石桃華(17歳)

熊本県出身。私立高校2年生
趣味／エクササイズ
部活／ダンス部

好きな食べ物／鍋物
好みのタイプ／明るい人
座右の銘／人の通る時は譲れ



JKのスティンクフェイスなら
むしろみんな受けてみたい!?

師走の翁
Comment



越中詩郎や田口隆祐などヒップアタックの使い手は多いんですが、リキシのスティンクフェイスです。リキシのスーパーキックを喰らった後、コーナー際で座り込むというパンプは人生で一度は受けてみたいです。

ダメージポイント
顔面

代表的な使い手
リキシ

悪役レスラーが得意とする股間への一撃だがバリエーションは豊富

試合のルールに関しては大らかな印象のあるプロレスだが、もちろん反則とされている攻撃は多数存在する。目潰し、噛み付き、髪の毛を引っ張るといった行為はNG。そして相手の股間への攻撃も禁止されている。

古くは1954年の力道山と木村政彦の日本プロレス選手権試合においても「木村が股間蹴りの反則を犯してきたので制裁を加えた」という趣旨のコメントを力道山サイドが出しており（現在では異論もある）、古くから急所攻撃は、試合の結末に大きな影響を及ぼす卑劣な行為とされている。

主にヒールレスラーが得意にしており、バックを取られたところから後ろ蹴りで股間に攻撃を見舞う場面がよく見られるが、一瞬で試合の主導権を握り、時にはそこから丸め込みで勝利を掠め取る。場内のファンからはブーイングが飛ぶが、その罵声こそが悪党にとっては勲章なのだ。

アドリアン・アドニス急所攻撃をプロレス技として昇華し、正面から相手を抱え上げて膝に股間を打ち付けるマンハッタンドロップを開発。日本でも蝶野正洋が得意とした。

昨今では、男子レスラーと女子レスラーの試合も珍しくなくなつたが、体力的に劣る女子選手が急所への発から反撃に転じる場面も定番のシーン。男性ファンは思わず身震いし、女性ファンは拍手喝采するのが必定だ。



超必殺技発動! これでも喰らえ

吉田 透流 × 日比野 大亜

大亜「急所攻撃ってミックスドマッチでは定番よね」

透流「あー、女が男の股間を蹴り上げて悶絶するんだけど、男が逆に仕返しても女は平気ってヤツね」

大亜「実際にやられてみたら結構イタいんだけど……」

透流「そりゃそうだよ。女の子だって股間は急所だもん。身体の外側にナニが飛び出してる男ほどじゃないけどね」

大亜「でも天龍源一郎や藤原喜明とも戦った女子プロレスラー神取忍が急所攻撃をされた時の反応は……」

透流「ああ、やけに痛そうだったよね。まあ、あの人はミスター女子プロレス、女の中の男だから。ちょっと身体の作りが違うのかも知れない（笑）」

大亜「でも、本当に私もイタかったのよ」

透流「大亜ちゃん、さっきからやけに繰り返してるけど、もしかして本当は男の子なんじゃないの？」

師走の翁

Comment



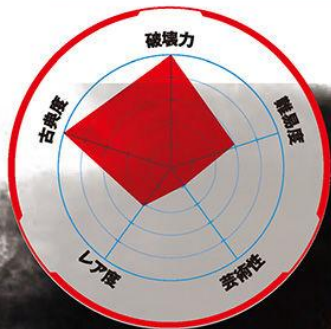
急所攻撃はプロレスにおいて重要だと思ったのでセレクトしました。背後へのキック、ストンピング、ヘッドバット、マンハッタンドロップなど色んな構図を検討し、結局はこの形に。

ダメージポイント Damage Point

股間

代表的な使い手 A Typical Wrestler

蝶野 正洋



急所攻撃自体は古くから存在するが、レフェリーにバレないように巧妙な手口がどんどん開発されて、それなりの進化を遂げている。

レフェリーの目を盗んで急所蹴り
怯んだ相手を丸め込んで形勢逆転

プロレスでは様々なアイテムが凶器として用いられる。代表的なものとしては、パイプ椅子、バット、竹刀、フォーク、ハシゴなどが挙げられるが、中にはチェーンソー、ホッチキス、ギター、自転車、消化器、花火、ボウリングの玉なども使われる。また口から火を噴くのも一種の凶器攻撃だ。

凶器攻撃



サミング

いわゆる目潰し攻撃だが、もちろん全力で目を突くのではなく、指先でチョコンと軽めにタッチして機先を制する。使い方によっては非常に危険な技になり得るのだが、コミカルな場面で用いられ、笑いが起こることも多い。



崇高なる落第生
吉田 透流(17)

(よしだ・とおる)

東京都出身・公立高校1年生

趣味/読書

部活/陸上部

好きな食べ物/おもち

好きなタイプ/豪放磊落

座右の銘/一発逆転

プロレス界に現れた ニューヒーロー!?

古くよりゲイ、オカマといったセクシャリティを前面に押し出したレスラーは数多い。70〜80年代にかけて活躍したアドリアン・アドニスは一時期ゲイミックスに変身しているが、「アドニス」とはギリシャ神話に登場する美青年の名前で、日本では1952年に同名の会員制ゲイ雑誌が創刊されている。

オカマキャラの豊富さで言えば、メキシコマットは特に顕著。これまでもピンビネーラ、カサンドロ、マキシモ・セクシーといったルチャドルたちがリングを賑わせているが、カサンドロは引退後には同性愛者の権利を守る運動家として活動している。

なお、ドクトル・ルチャこと元週刊ゴング編集長・清水勉によると、メキシコのオカマレスラーの元祖は、恐らく50年代に活躍したディジー・ガルデニア・デビスだという。

日本でも、DRAGON GATEのヨースケ♡サンタマリアがオネエキャラとして人気を集めるが、いずれも華やかなコスチュームに派手なメイクのドラッグクイーン風で過剰なまでの女性性を纏う中、ひととき異彩を放っているのが男色ディーノだ。

白くてもっちりとした肉付きで、妙なリアリティを伴ったプロボーション。甲高い声で騒ぎ立てるのではなく、どこかねっとりとした振る舞い。それはこれまでの派手さばかりをアピールする多くのオカマキャラとは全く異なるアプローチであり、一種のエボククメイキングであった。



男色ドライバー

自らのパンツの中に相手の頭部を突っ込んでから放つジャンピングバイルドライバー。相手の股間を握るゴッチ式、顔面を股間に押し付けるズームストーン式も存在するが、いずれも首と同時に相手のメンタルへもダメージを与える。



男色ナイトメア

おもむろにタイツをずり下ろし、仰向けに横たわっている相手の顔面の上でスクワットを繰り返す。その視界には悪夢のような光景が広がる。タッグマッチの際にパートナーがカットに入ると、顔面に腰を下ろしかねないため、迂闊に手出しできない恐ろしい技。



禁じられた遊び 江洲 百合奈(17)

(えす・ゆりな)

広島県出身。私立高校1年生

趣味／ハンティング

部活／あらゆる女子部を出禁状態

好きな食べ物／女の子なら誰でも

好みのタイプ／女の子なら誰でも

座右の銘／始めは処女の如く、後は脱兎の如し

師走の翁 Comment

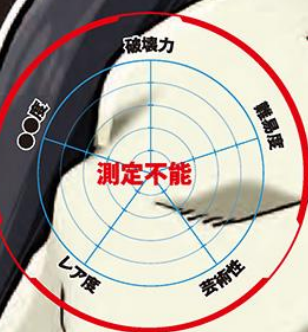


男色技のどれかをイラスト化しようかと考えた時、身体全体を見せる技は他にたくさん描いたので、あえて顔にズームしたリップロックを。このイラストの意味が分からないという方は「男色殺法」で検索してみてください。

これもプロレス技!? 場内を混乱に陥れる ルール無用の男色殺法

さあ、力を抜いて…
あの娘にキスと白百合を

リップ・ロゼム



ダメージポイント Damage Point
唇・精神

代表的な使い手 A Typical Wrestler
男色ディーノ

江洲 百合奈 × 大家 絵里

絵里「……ひ、ひどい」
百合奈「ごちそうさまでした♥」

ヨシコ×石田 汀

ヨシコ「……………」
汀「えっ、ウチがコイツと喋るんか!?!」
ヨシコ「……………」
汀「……………」
ヨシコ「……………」
汀「いや、ええから何か喋れや! なんでこういう時に限って玲のアネキはおらんのか。ああ、そんじゃ仕方ねえけ、とりあえず適当に喋るわ。おめえ、でえれえ痩せとるが、ちゃんとメン食いやるんか?」
ヨシコ「……………」
汀「お、おう。そうけ。よう見たらおめえも金髪じゃな。オランダ出身? しかし名前がヨシコっちゃうのは、なんかおかしくないか?」
ヨシコ「……………」
汀「はは、ウチが悪かったわ」
ヨシコ「……………」
汀「……………」
ヨシコ「……………」
汀「うおい! ちばけとったら、おえんで!」
ヨシコ「……………」
汀「なあ、ウチもう帰ってもええじゃろ?」

あなたの愛DOLL



ヨシコ
(不明)

オランダ出身。
インターナショナルスクール1年生
趣味/不明
部活/不明
好きな食べ物/不明
好みのタイプ/不明
座右の銘/不明

これ、普通に技かけられるより
キツイわな……………

ヨシヒコ
デストロイ



試合巧者はホウキとでもプロレスができるという言葉が現実のものに!?

名レスラーニック・ボックウィンクルの言葉に「相手がワルツを踊れば私もワルツを踊り、シルバを踊れば私もシルバを踊る」というものがある。相手のスタイルに合わせて試合を組み立てるという意味合いだがこれはアントニオ猪木の「相手の力を9引き出して10の力で勝つ」という風車の理論も同様



六次元殺法



六道輪廻



コーナーポスト上の相手に正面から組み付くと、そのままムーンサルトのように後方回転してマットに叩き付ける大技。

輪廻転生



2回転式コルパタからウラカン・ラナに繋ぐコンビネーション。縦と横の回転で平衡感覚を狂わせてから、一気に丸め込む。

前方回転式パイルドライバー、いわゆるカナディアン・デストロイと同型。これを8連続で決めた場合は「ヨシヒコ・デストロイ・インフィニティ」となるが、力量に優れた相手以外には封印しているレアな技。

ダメージポイント 首など

代表的な使い手 ヨシヒコ



破壊力、難易度など全てが高いレベルにあると思われるが、詳細なデータは不明のため、ここでは「測定不能」とした。

師走の翁 Comment



最強のレスラーの一人、ヨシヒコですね。これもどうやってイラストにするべきか、かなり悩みましたね。彩色担当のにやすさんは、この線画が届いた瞬間、たぶん頭の上に「？」が浮かんでたんじゃないかと(笑)



地球の重力を無視した
驚愕のスーパーホールド!

で、つまりプロレスの本質とは一方的に相手を叩き潰すのではなく、いかに相手の良さを引き出しつつ勝利するかという点にある。

これが上手いレスラーのことを評して「ホウキ相手でもプロレスができる」などと言うが、リック・フレアーなどはまさにこの代表格であった。

ここまでの話はさておき、六次元殺法とは、DDTに所属するヨシヒコのアクロバティックで人間離れしたフアイトスタイルの総称である。普段はまるで人間形であるかのように脱力しているがいざとなると力強い投げ技を見舞い、どんなに高い場所からでも恐れることなくダイブする。2009年には後楽園ホールでのメインイベントで、当時DDTのチャンピオンだった飯伏幸太とベルトを賭けて争い、会場中を熱狂させた。

ヨシヒコと相対するプロレスラーには、鍛え上げた肉体や磨いたグラウンドの技術以上に、自身のプロレス頭でいかにして観客の感情を揺さぶるかが求められる。それはニック・ボッククウィンクルが語ったプロレス論にも繋がるものなのかも知れない。

ちなみにヨシヒコの試合映像を見たリック・フレアーは絶賛のコメントを残したと言われている。やはり本物は本物を知ると。

高々と抱え上げて顔面を砕く 合体式ダイヤモンドカッター

ほなら、これで終わりじゃ
ぶっ壊すでえ!



石田姉妹
石田 玲 (17)

(いしだ・れい)

岡山県出身。私立高校2年生
趣味/日曜大工
部活/経営同好会
好きな食べ物/ロコモコ
好みのタイプ/物静かな人
座右の銘/一網打尽

Wブレン
バスター

二人の力を合わせて 一気に抱え上げる

二人の力を合わせることで、ウエイトのある相手でも容易に抱え上げることができるが、時にはそれを繰り返すパワーファイターも。垂直落下式は呼吸を合わせるのが難しいため、基本的に放物線を描いて背中から落とすブレンバスターが使用される。

格闘技においては「対」が基本となるが、ごく普通にチーム戦が行なわれているのもプロレスの特徴の一つ。ここで言うチームとは、柔道の団体戦のようなものではなく、複数の選手が同時に試合に出場するタッグマッチのことである。

二人掛かりでの攻撃の事をツープラトンと呼び、これは厳密には反則行為とされているが、もはや日常茶飯事に行なわれている。特にタッグマッチの歴史において、プロレスファンに衝撃を与えたツープラトンと言えば、肩車した相手にフライングクラリアットを決めるロード・ウォリアーズのダブルインパクト、マンハッタンコンビ(アドリアン・アドニス&ボブ・オートン・ジュニア)のハイジャックバイルドライバー、長州力率いる維新軍の合体攻撃などが印象深い。

現在も非常に趣向を凝らしたツープラトンが続々と生まれているが、ここではシンプルながらもインパクト大の技を紹介しよう。

ECWからWWEに移籍して2000年前後に大ブレイクした、ババレイ&ディーボンのタッドロー! ポーイズは、ハードコアマッチ(反則規定ナシで凶器の使用などが許されている試合形式)のスペシャリスト。特に相手をテーブルに叩き付けて破壊した方が勝ちとなるテーブルマッチでは他の追従を許さぬ強さだったが、彼らの代名詞となるツープラトンがこの3Dで、200kg級のビッグショーすら下したプロレス最高峰のツープラトンの一つだ。

相手もろともテーブル破壊!
ハードコアマッチの名タッグが見せるツープラトンの最高峰



石田 玲×石田 汀

玲「おお、ひょんなげな顔して何しよんな？」
汀「えれえ妙なヤツに付き合わされてな……アネキはどこ行っとったんじゃ？」
玲「いや、ウチの机がな、わやなってしまうたで、新しい机をもらいに行くところよ」
汀「まあ何しよんなら……」
玲「絡んできたやつをこう、机にブン投げてやったら割れてしもた」
汀「あんなあ……そういうおもれーことは、ウチも呼ばんとおえんやろ！」
玲「おめえも血の気が多いやつちゃんあ……」
汀「そりゃアネキ譲りや」



ダメージポイント **DamagePoint**
顔面・首

代表的な使い手 **A Typical Wrestler**
ダッドリーボーイズ

シンプルに見えるが、二人のタイミングを合わせなければ破壊力は格段に下がってしまう。タッグ屋のダッドリーズならではの技。

師走の翁

Comment



ツープラトンとは色々あるんですが、僕が特に好きな技ということで3Dを採用させて頂きました。黒メガネだったり、パンツが迷彩柄だったり、片方が色黒だったり、あちこちに小ネタを忍ばせてみました。

石田姉妹
石田 汀 (16)

(いしだ・みぎわ)

岡山県出身。私立高校1年生

趣味/日曜礼拝

部活/軽音同好会

好きな食べ物/魚料理

好みのタイプ/賑やかな人

座右の銘/協心戮力



二人同時に仕掛けるドロップキック。通常は技を受けた相手が後ろにダウンして受け身を取ることで衝撃を逃がすが、左右や前後から仕掛けると力の逃げ道がなくなるため、破壊力が増す。特に身軽なジュニアヘビー級の選手などが用いることが多い。

左右からサンドイッチ攻撃!



WDドロップキック



あずみ
(スターダム)

美女揃いのスターダムの次代を牽引する超新星たち
2年間の練習期間を経て、11歳でデビューしたキッズファイター。13歳になった現在は大人顔負けのマイクアピールで会場を沸かせる。



渡辺 桃
(スターダム)

2014年に得意のソフトボールのイメージでデビューし、中学3年生の新鋭と呼ばれた彼女も今では高校生。多彩なキックを得意とする。



小橋 マリカ
(東京女子プロレス)

DDTグループ最年少！
21世紀生まれのアイドル



桃野 美桜
(Marvelous)



長与千種の遺伝子を受け継ぐ！



優華
(アイスリボン)



今、注目すべき



リアルJC・JK世代の女子プロレスラーたち

女子高生がプロレスするのは決して絵空事ではない。各女子プロ団体で活躍するJC・JK世代の新鋭たちの戦いぶりをお見せします！



柊 くるみ
(アイスリボン)



10歳でデビューしてキャリア7年目。いまだ成長期という恐るべき高校生レスラー。多数のタイトル歴を持ち、更なる飛躍が期待される。

個性豊かな選手たちが揃ったアイスリボン
十代のレスラーたちも続々と成長中！



アイスリボン主催の女子プロレスサークル出身。一時期、学業専念のために欠場していたが、高校を退学してプロレスの道を歩む。

弓 李
(アイスリボン)

練習生時代に体型が細かったことから「きゅうり」のリングネームを命名されるが、次第に力強さが伴い出し、2016年には王座戴冠！



師走の翁

Shiwasu no okina

1997年、ヒット出版
『COMIC阿咩』にてデ
ビュー。キャリア20年を迎え
るベテラン美少女漫画家。コ
アなプロレスファンとしても
知られる。
Twitter@siwasunookina

何気ない落書きから 生まれたJKプロレス

本書の発端は、先生がTwitterにアップしていた「JKにかけてもらいたいプロレス技」という落書きなんですね。

「JKリフレがお客さんにプロレス技をかけるサービスを行なって摘発される事件が起こった時に、冗談で描いたものが割と話題になったんです(笑)」
先生がプロレスにハマったキッカケは？
「子供の頃に全日が駅前広場でプロレスをやったのを観た記憶があるんですが、親が転勤族で場所を覚えてないんです



「JKにかけてもらいたいプロレス技」シリーズでは男女の絡みだったが、本書ではJK同士に変更された。



よ。その後、新日や全日は観ていたんですが、やがて第2次UWFを経てリングス派に。それで格闘技好きになって、だからこそ逆にプロレスに関してはバリバリのエンタメ路線も楽しめるようになったんです。アシスタントがWWFのビデオを貸してくれた影響もありました」

先生は作品にもプロレスネタを描いていますよね。近年では『ピスはめ!』でかなり濃いプロレス描写がありました。

「本当に悪ノリが過ぎると言うか、主人公のコスチュームをRVDにしたリ、なぜか敵役がビッグショードだった(笑)」

そんな悪ノリを受けて、今回の企画に至るのですが、掲載する技セレクションからご協力をお願いしました。

「マニアクになり過ぎないようにバラ



漫画『ピスはめ!』より。主人公がヒロインたちを巡ってリングに立つ。これ以前にも『シャイニング娘。』シリーズなどでプロレス描写が見られる。©ヒット出版社



ンスを見ながら決めましたが、一枚絵で説明がしやすい技というのも大事な要素でした」

他に苦労した点はありませんか？

「同じように相手を抱え上げるフラインバスターとフィッシャーマンをどうやっ

て描き分けるか。また、技のどの瞬間を切り取るのか、そこには悩みました」
表紙に関してはいかがでしょうか。
「コブラツイストを描いたんですけど、一般的な両腕をロックする形ではなく、ジャンボ鶴田式の拷問コブラです。ちょっと基本型からはズラしてみたのがポイントです」

多数の女の子の描き分けという点では？

「基本の制服はセーラー服とブレザーしかないんですが、ボレロを着ていたリ、ワンピース型だったといった部分で差をつけました。あまり奇抜なデザインや色になり過ぎると、普通の女の

にやすけ (彩色・デフォルメ キャライラスト担当)

師走の翁先生の美しい原稿データを前に毎回どうい色にしようか、どこにハイライトを入れようかなど、試行錯誤を繰り返しながら、とても楽しく塗らせて頂きました。

プロレス関係の仕事をするにあたり、資料を頂いたり自分で調べたりする機会が多々あったのですが、カッコいい技や面白い技も他にたくさんあったのに、編集さんから送られてきた参考画像のヨシヒコと目があつた瞬間、全て持って行かれてしまいました。プロレスって、奥が深いんですね…。

プロレス好きの方は勿論、この本で初めてプロレスに触れた方にも、楽しんで頂けたらと思います。ありがとうございました。



Twitter@farby_forever
Pixiv <http://www.pixiv.net/member.php?id=300306>

子がプロレスをやるというコンセプトからズレてしまっているので、そこはやり過ぎないようにしましたね」
お気に入りのイラストは？
「3Dです。自分が描きたかったという方向が感じられて、構図的にもパッチリ描けたという自信がありますね。また、この技が全体の中でも最後に描いたもので、作業に時間をかけられたのも良かったんじゃないかな」
本当にお疲れ様でした！

SAKURA MOOK 56

師走の翁 JKプロレスイラストレーションズ 技画 -GIGA-

2016年10月5日 初版発行

発行人／笠倉伸夫

編集人／小谷昭好

イラスト

師走の翁

彩色・デフォルメキャライラスト

にやすけ

ゲストイラスト

みのもけんじ、徳光康之、さかなこうじ

企画・編集

南和成(ジップス・ファクトリー)

撮影

シン上田、荻窪番長

デザイン

Office1000.corp

取材・写真協力

アース・スターエンターテインメント、KADOKAWA、GENスポーツエンターテインメント、講談社、斎藤雅治、サクセス、新潮社、スターダム、中央公論新社、DDTプロレスリング、ネオプラス、白泉社、ヒット出版社、MarvelCompany(五十音順)

編集協力

スパロウ、まるよ

(敬称略)

発行所／株式会社笠倉出版社

〒110-8625 東京都台東区東上野2-8-7 笠倉ビル

TEL 0120-984-164(代)

郵便振替00130-9-75686

印刷・製本／三共グラフィック株式会社

乱丁・落丁本はお取り替え致します。

本書の内容の全部または一部を無断で掲載・転載することを禁じます。

Printed in Japan

ISBN978-4-7730-5763-8

©KASAKURA Publishing 2016

GOBRAVANT

A.K.A. abdominal stretch

技 -GIGA- 画

Shiwasu no okina

× JK ×

ProWrestling

